

蓮田市障がい者福祉に関する アンケート調査結果報告書

令和5年8月
蓮田市

目次

第1部 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査対象者及び回収結果	1
3. 調査方法と実施期間	1
4. 分析・表示について	1
第2部 調査結果	5
1. 障害者手帳所持者へのアンケート調査結果	5
1 あなたとご家族のことについて	5
2 住まいや暮らしについて	10
3 日常生活について	16
4 健康と医療について	23
5 障がいに対する理解について	25
6 情報や相談について	29
7 就労状況について	33
8 災害時の対応について	41
9 障がい福祉サービスについて	46
10 障がい児福祉について	48
11 蓮田市の障がい者施策等について	53
2. その他の市民へのアンケート調査結果	59
1 あなたとご家族のことについて	59
2 障がいへの関心について	62
3 障がいへの理解について	65
4 障がいの周知啓発について	71
5 社会参加・ボランティアについて	73
6 障がいのある方の人権について	75
7 福祉のまちづくりについて	78

第1部 調査概要

第 1 部 調査概要

1. 調査の目的

「蓮田市障がい者基本計画」及び「蓮田市障がい福祉計画」の基礎資料とするため、各種調査を実施しました。

本調査は、蓮田市の障がい者等に対して、障がい者の現状、障がい福祉サービス等の利用状況、周知度及び今後の利用意向、現状での問題点や課題事項等を把握し、障がい者施策の推進と障がい者基本計画及び障がい福祉計画策定のため、基礎資料とすることを目的として実施しています。

2. 調査対象者及び回収結果

調査区分	対象	配布数	回収件数	有効回収件数	有効回収率
①障害者手帳等所持者への調査	障害者手帳等を所持している方	2,600	1,526	1525	58.7%
②その他の市民への調査	蓮田市在住の 18 歳以上の市民	1,000	440	440	44.0%

3. 調査方法と実施期間

調査方法：郵送配布、郵送回収

実施期間：令和 5 年 6 月 23 日～令和 5 年 7 月 31 日

4. 分析・表示について

- 1) 比率は、小数点以下第 2 位を四捨五入しています。このため比率が 0.05 未満の場合には 0.0 と表記しています。また、合計が 100.0%とならないこともあります。
- 2) 複数回答の項目については、原則として、その項目に対しての有効回答者の数を基数とし、比率算出を行っています。このため、比率計が 100%を超えることがあります。
- 3) グラフ中の(n=〇〇)という表記は、その項目の有効回答者数で、比率算出の基礎となります。
- 4) 障がい別のクロス集計において、「全体」とは、調査対象者全員を意味します。また、「重複(3障がい)」は、複数の障害者手帳をお持ちの方、「難病その他」は医療受給者証のみをお持ちの方を意味します。
- 5) 障がい別のクロス集計については、不明者(無回答者)は集計していません。このため障がい別の回答者数の合計は、全体の回答者数と一致しません。

第 2 部 調查結果

第2部 調査結果

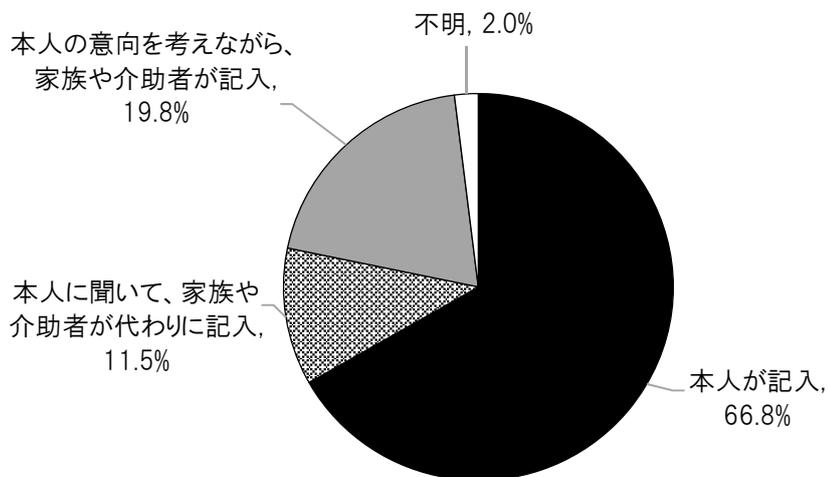
1. 障害者手帳所持者へのアンケート調査結果

1 あなたとご家族のことについて

問1 この調査票はどなたが記入されましたか。(〇印は1つ)

記入者については、「本人が記入」が66.8%、「本人に聞いて、家族や介助者が代わりに記入」が11.5%、「本人の意向を考えながら、家族や介助者が記入」が19.8%となっています。

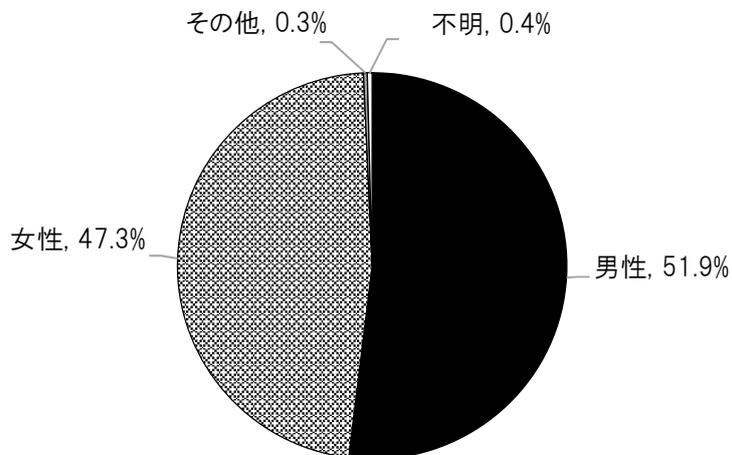
n=1,525



問2 あなた（宛名のご本人）の性別をお答えください。(〇印は1つ)

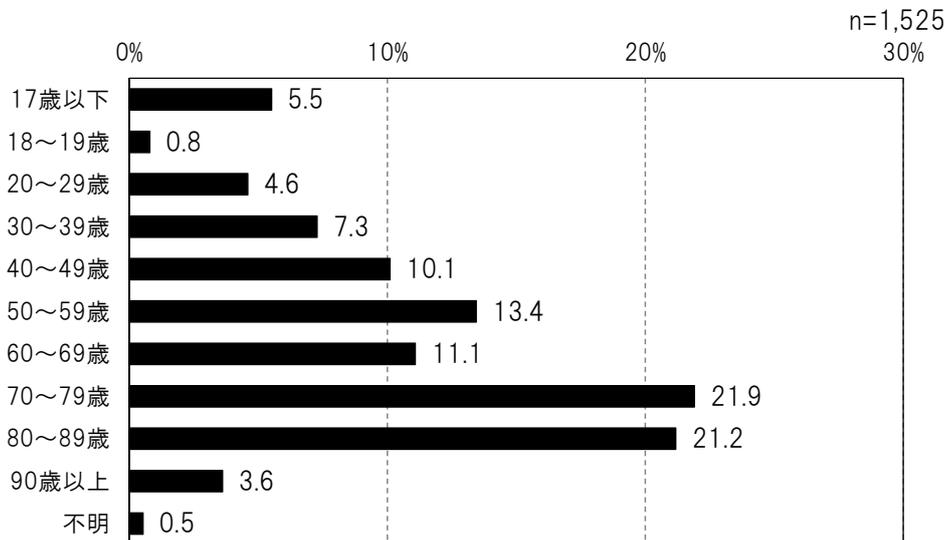
性別は、「男性」が51.9%、「女性」が47.3%、「その他」が0.3%となっています。

n=1,525



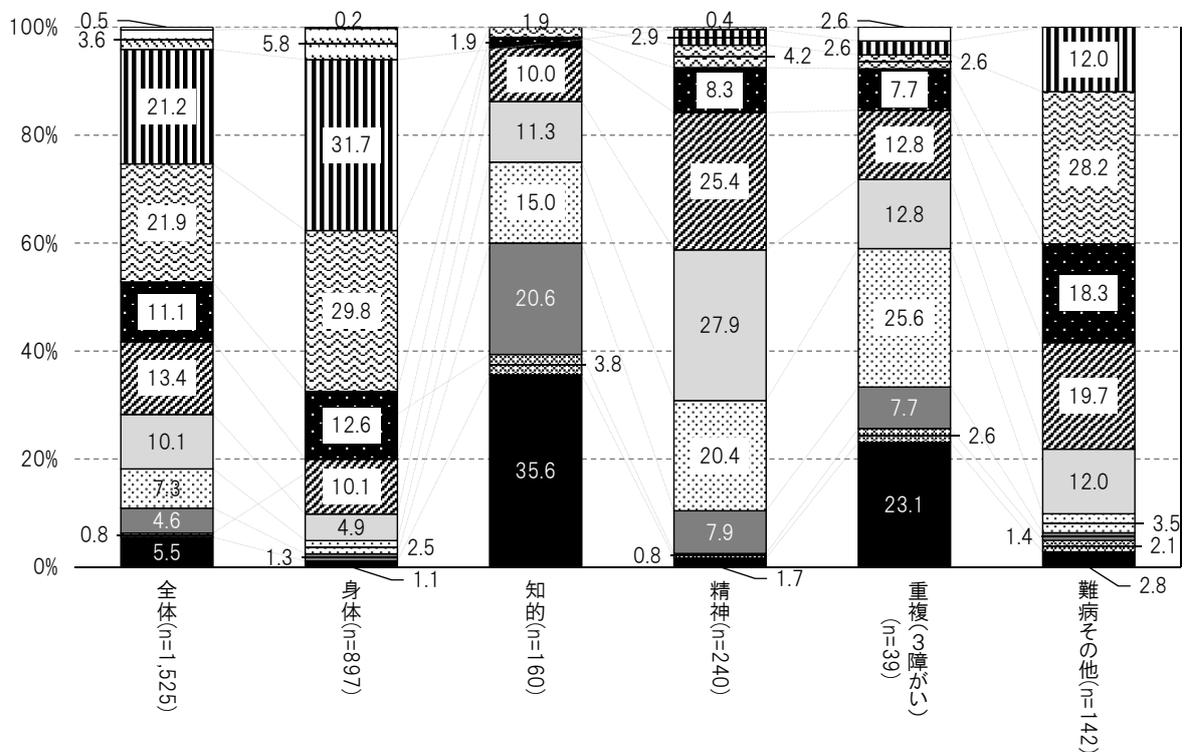
問3 年齢をお答えください。(〇印は1つ)

年齢については、「70～79歳」が21.9%と最も多く、次いで「80～89歳」が21.2%、「50～59歳」が13.4%となっています。



【障がい別の年齢】

障がい別で年齢を見ると、「身体」では「70歳以上」が67.3%、「知的」では「17歳以下」が35.6%、「精神」では「40～49歳」が27.9%、「重複（3障がい）」では「30～39歳」が25.6%、「難病その他」では「70～79歳」が28.2%と最も高くなっています。

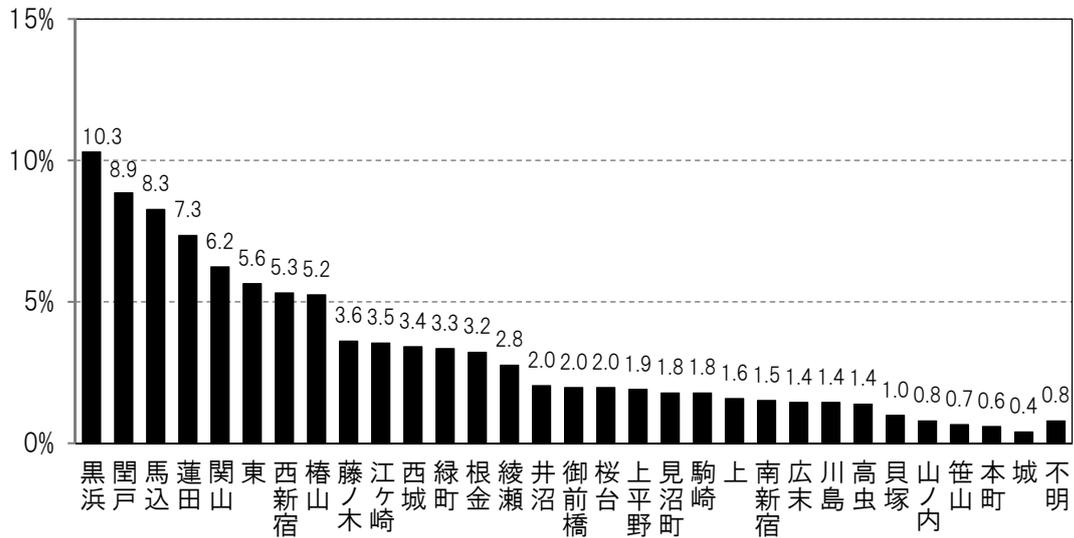


■ 17歳以下 ▨ 18～19歳 ■ 20～29歳 ▨ 30～39歳 □ 40～49歳 ▨ 50～59歳
 ■ 60～69歳 ▨ 70～79歳 ■ 80～89歳 ▨ 90歳以上 □ 不明

問4 お住まいの地区はどちらですか。(〇印は1つ)

お住いの地区は、「黒浜」が10.3%と最も多く、次いで「閩戸」が8.9%、「馬込」が8.3%となっています。

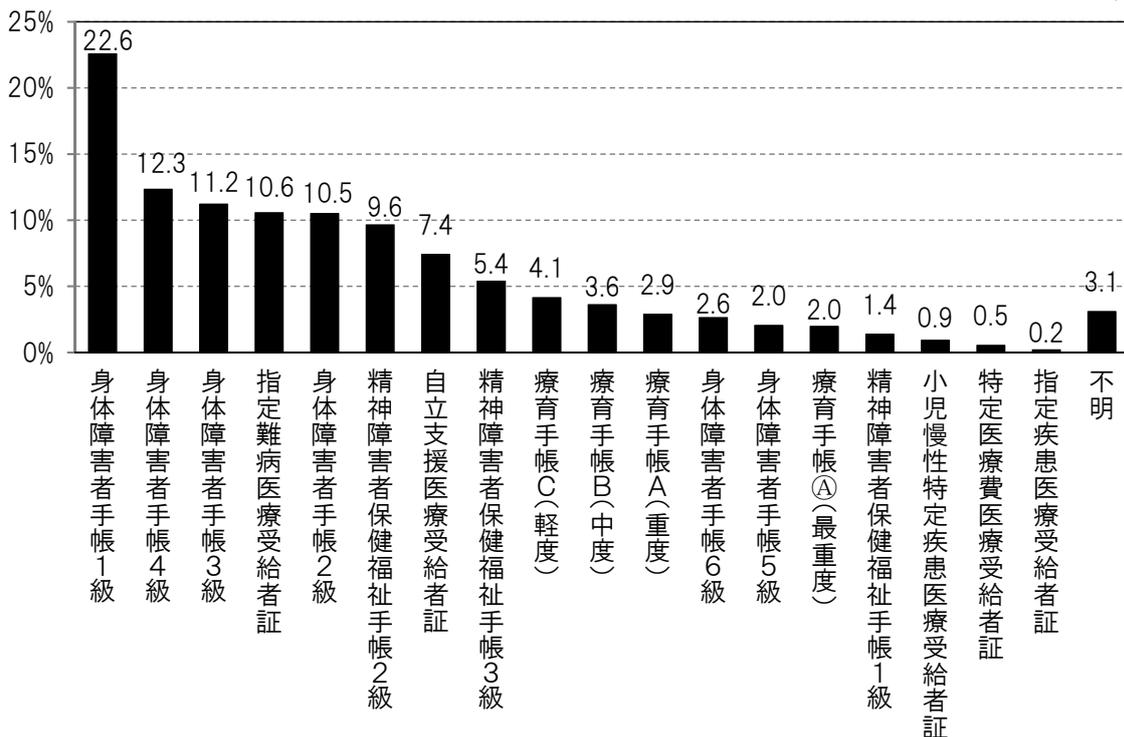
n=1,525



問5 お持ちの手帳などの種類と等級をお答えください。(あてはまるものすべてに〇印)

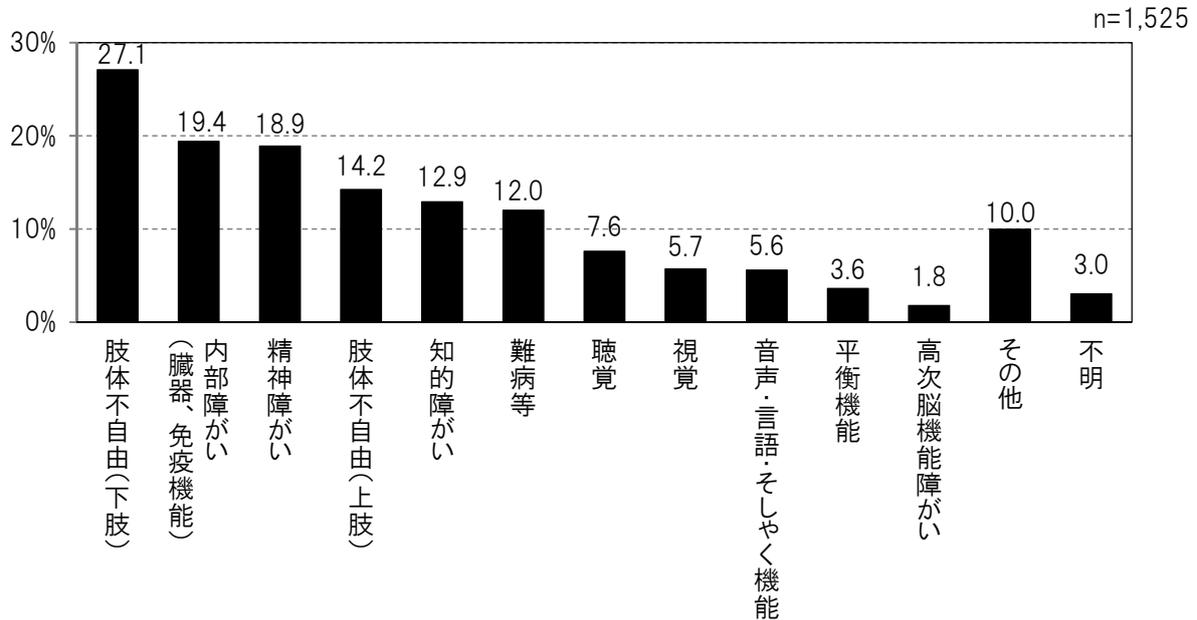
手帳などの種類と等級は、「身体障害者手帳1級」が22.6%と最も多く、次いで「身体障害者手帳4級」12.3%、「身体障害者手帳3級」が11.2%となっています。

n=1,525



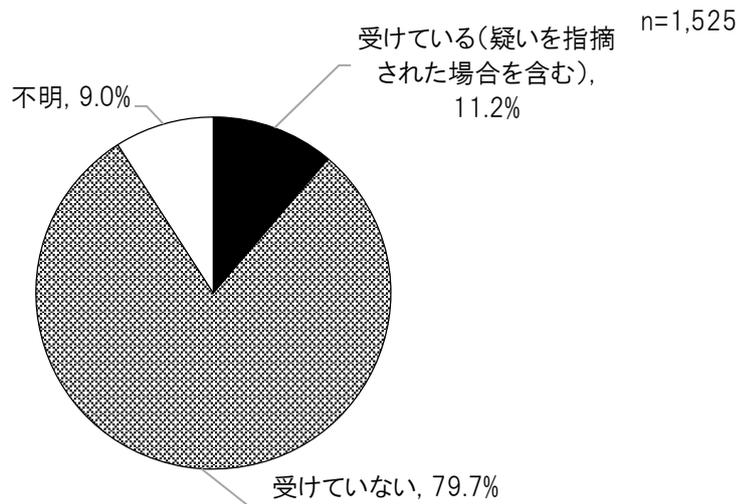
問6 どのような障がいがありますか。(あてはまるものすべてに○印)

障がいについては、「肢体不自由（下肢）」が 27.1%と最も多く、次いで「内部障がい（臓器、免疫機能）」が 19.4%、「精神障がい」が 18.9%となっています。



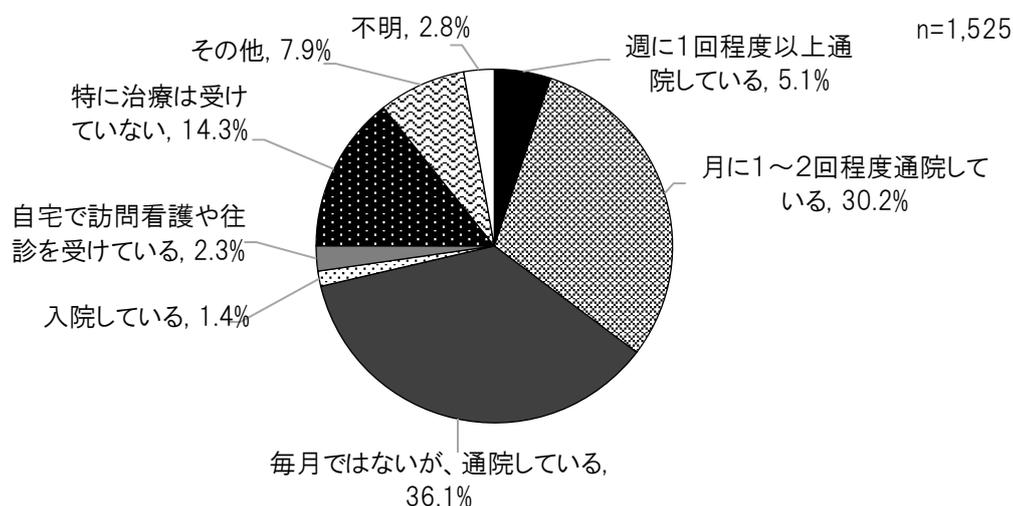
問8 あなた（宛名のご本人）は、発達障害の診断を受けていますか（自閉スペクトラム症、アスペルガー症候群、学習障害、注意欠陥多動性障害など）。（○印は1つ）

発達障害の診断は、「受けている（疑いを指摘された場合を含む）」が 11.2%、「受けていない」が 79.7%となっています。



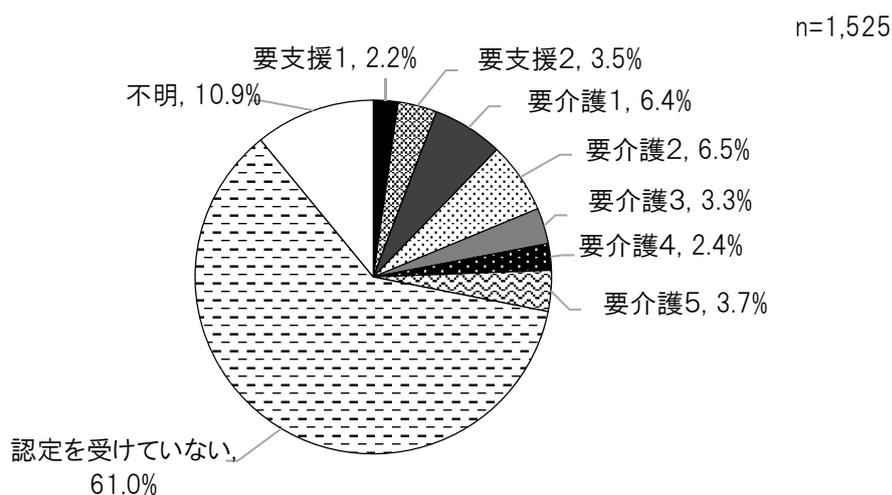
問9 現在、医師の治療（医療行為）を受けていますか。（○印は1つ）

医師の治療（医療行為）を受けているかは、「毎月ではないが、通院している」が36.1%と最も多く、次いで「月に1～2回程度通院している」が30.2%、「特に治療は受けていない」が14.3%となっています。



問10 介護保険による認定を受けていますか。要介護・要支援認定を受けている方は該当する要介護・要支援度に○をつけてください。（○印は1つ）

介護保険による認定は、「認定を受けていない」が61.0%と最も多く、次いで「要介護2」が6.5%、「要介護1」が6.4%となっています。

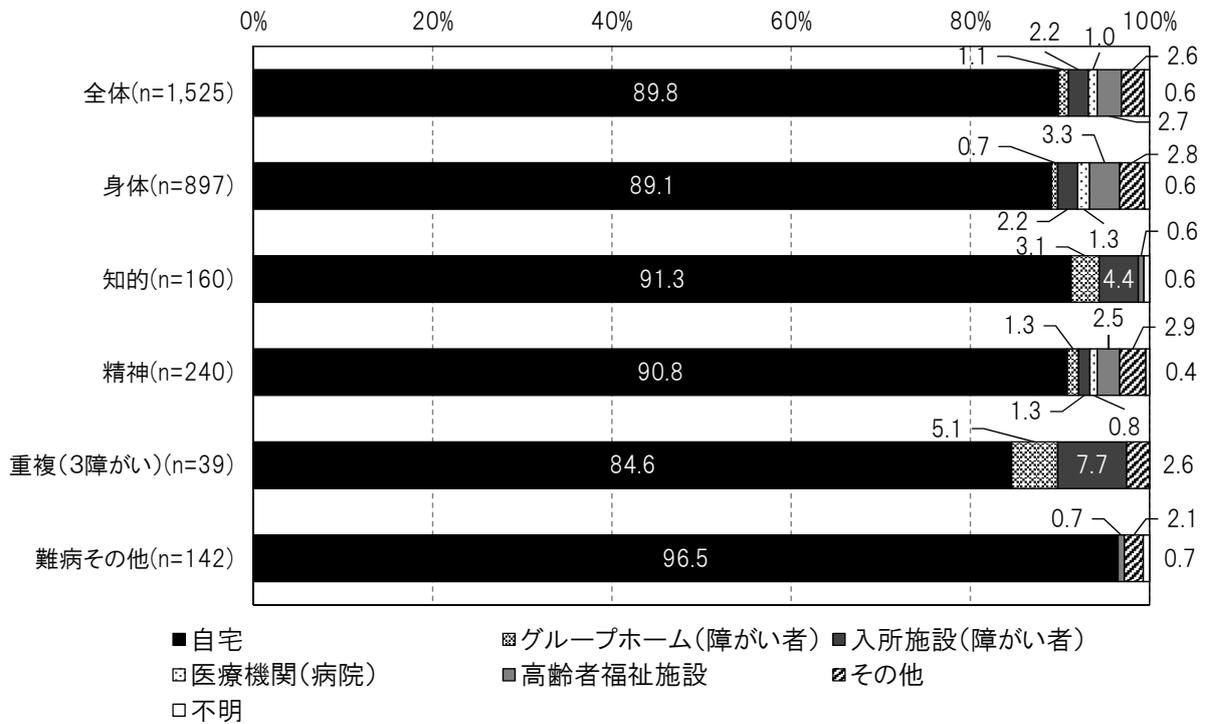


2 住まいや暮らしについて

問 11 現在のお住まい、あるいは生活の場はどこですか。(〇印は1つ)

住まい、生活の場について、全体では「自宅」が89.8%と最も多くなっています。

障がい別で見ると、すべての障がいで「自宅」が8割を超えています。重複（3障がい）では、「入所施設（障がい者）」が7.7%と他の障がいに比べ、割合が多くなっています。



【問 11 で「1 自宅」を回答された方】

問 11-1 現在、一緒に暮らしている人はいますか。(あてはまるものすべてに○印)

自宅で一緒に暮らしている人について、全体では「配偶者(夫または妻)」が 48.6%と最も多くなっています。

障がい別で見ると、「知的」「重複(3障がい)」では、「父母・祖父母・兄弟姉妹」が9割を超え、「身体」「難病その他」では「配偶者(夫または妻)」が6割以上と多くなっています。

	いない(ひとり暮らし)	父母・祖父母・兄弟姉妹	配偶者(夫または妻)	子ども	孫	その他の親族	友人・知人	その他	不明
全体(n=1,370)	10.5	31.7	48.6	28.1	4.7	0.6	0.3	1.9	0.2
身体(n=799)	11.6	12.4	62.2	34.8	6.9	0.8	0.1	2.1	0.3
知的(n=146)	2.7	94.5	2.7	2.7	0.0	0.7	0.0	0.7	0.0
精神(n=218)	14.7	59.6	23.9	16.1	0.0	0.5	0.9	2.3	0.0
重複(3障がい)(n=33)	3.0	90.9	3.0	6.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
難病その他(n=137)	7.3	21.2	67.9	40.9	5.8	0.0	0.0	2.2	0.0

※上位1項目に着色

【問 11 で「3 高齢者福祉施設」または「4 グループホーム（障がい者）」を回答された方】
 問 11-2 今のところに入居・入所・入院することになった理由はなんですか。（あてはまるものすべてに○印）

入居・入所・入院することになった理由について、全体では「在宅での治療が難しかったため」が46.9%と最も多くなっています。

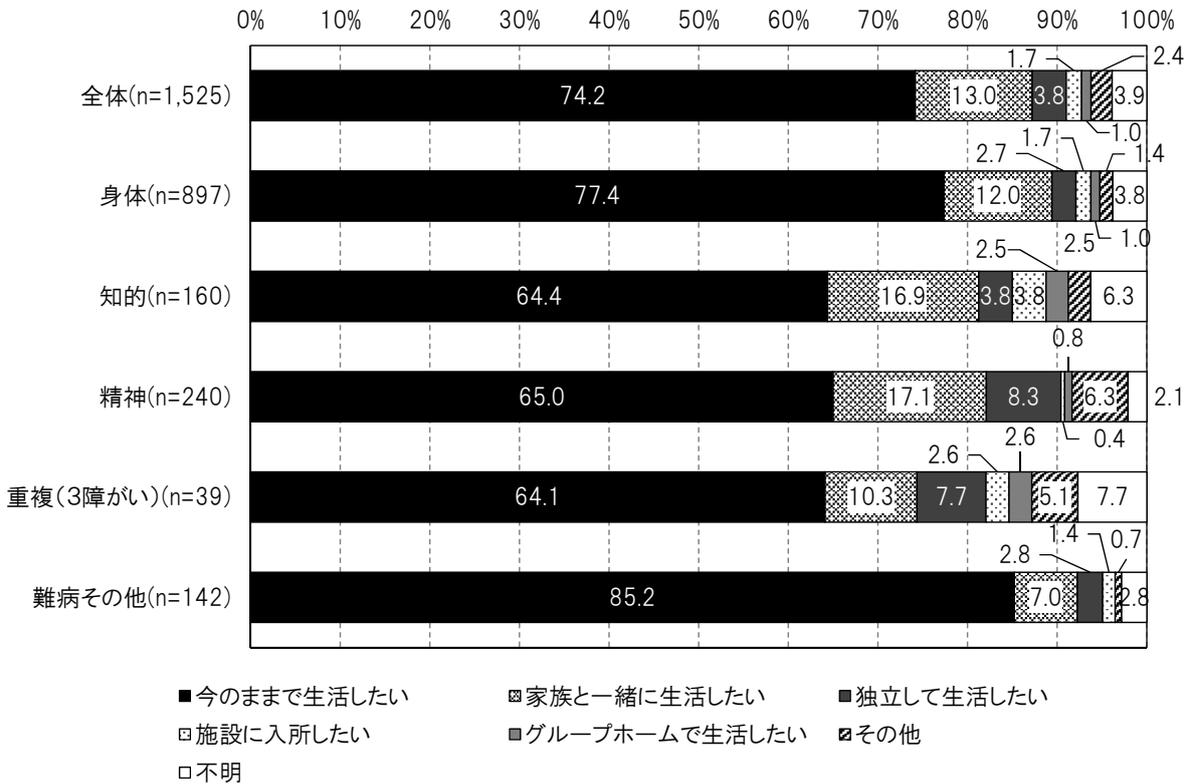
障がい別で見ると、「身体」は「在宅での治療が難しかったため」、「精神」は「在宅での治療が難しかったため」と「心身機能の低下が進んだため」、「知的」は「介護者が高齢になり、在宅での生活が難しくなったため」、「重複（3障がい）」は「その他」が最も多くなっています。

	心身機能の低下が進んだため	介助者が高齢になり、在宅での生活が難しくなったため	部屋の狭さや段差があるなど住まいに問題があったため	在宅で生活するための、福祉サービスが利用できないため	在宅で生活するための収入がないため	専門的な訓練を受けなかったため	家族の病気や転勤などのため	在宅での治療が難しかったため	その他	不明
全体(n=49)	34.7	26.5	6.1	2.0	2.0	0.0	12.2	46.9	22.4	8.2
身体(n=32)	37.5	21.9	9.4	3.1	3.1	0.0	6.3	56.3	18.8	9.4
知的(n=7)	0.0	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	0.0	28.6	14.3
精神(n=5)	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	20.0	0.0
重複(3障がい)(n=3)	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	66.7	0.0
難病その他(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 12 今後3年以内にあなた（宛名のご本人）はどのような暮らしをしたいと思いますか。（○印は1つ）

今後3年以内にどのように暮らしたいかについて、全体では「今のままで生活したい」が74.2%と最も多くなっており、障がい別でも同様の傾向が見られます。

また、「精神」「重複（3障がい）」では、他の障がいに比べて「独立して生活したい」割合がそれぞれ8.3%、7.7%と多くなっています。



問 13 希望する暮らしを送るためには、どのような支援があれば良いと思いますか。(あてはまるものすべてに○印)

あると良い支援について、全体では「経済的な負担の軽減」が 50.4%と最も多く、次いで「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が 29.4%となっています。

障がい別で見ると、すべての障がいで「経済的な負担の軽減」が最も高く、特に「精神」では7割を超えています。

(単位：%)

	在宅で医療ケアなどが適切に得られること	障がいのある人に適した住居の確保	必要な在宅サービスが適切に利用できること	生活訓練などの充実	経済的な負担の軽減	相談対応などの充実	地域住民などの理解	コミュニケーションについての支援	その他	不明
全体(n=1,525)	27.7	15.5	29.4	11.9	50.4	25.8	11.5	11.8	5.4	11.9
身体(n=897)	35.3	13.4	33.4	8.9	43.1	18.7	6.8	7.9	4.6	14.3
知的(n=160)	5.0	31.3	20.6	23.8	50.6	38.8	30.6	28.8	2.5	11.3
精神(n=240)	15.0	18.8	21.7	14.2	71.7	45.0	20.0	18.8	7.1	3.3
重複(3障がい)(n=39)	25.6	25.6	30.8	25.6	53.8	30.8	25.6	23.1	12.8	20.5
難病その他(n=142)	25.4	5.6	20.4	9.9	63.4	23.2	4.2	3.5	7.7	8.5

※「不明」を除く、上位2項目に着色

問 14 あなた（宛名のご本人）が現在または将来、不安や心配に感じていることはありますか。
（あてはまるものすべてに○印）

現在または将来、不安や心配に感じていることについて、全体では「自分の病気や障がいが悪化すること」が61.9%と最も多く、次いで「将来の生活のこと」が49.2%となっています。

障がい別でも同様の傾向が見られますが、「精神」で「収入や生計、財産の管理のこと」が6割以上、「重複（3障がい）」で「介助者がいなくなることへの対応」が5割以上と多くなっています。

（単位：％）

	自分の病気や障がいが悪化すること	将来の生活のこと	仕事がなくなること	収入や生計、財産の管理のこと	親や介護のこと	子どもの養育のこと	介助者がいなくなることへの対応	障がい者に対する周囲の理解不足	緊急時における避難など	周囲の人との関係について	不安や心配に感じることは特でない	その他	不明
全体(n=1,525)	61.9	49.2	13.0	32.2	13.4	3.9	26.7	15.5	24.1	13.4	7.7	3.0	4.6
身体(n=897)	65.9	38.2	6.6	20.0	6.4	2.0	27.5	8.6	24.9	5.9	9.1	2.6	5.5
知的(n=160)	21.3	70.6	18.8	48.8	8.1	1.9	40.6	31.3	30.0	35.0	6.9	2.5	5.0
精神(n=240)	63.8	73.8	27.9	65.4	42.9	9.6	19.6	35.0	17.1	27.9	3.8	4.6	1.3
重複(3障がい) (n=39)	66.7	66.7	17.9	43.6	15.4	5.1	51.3	23.1	43.6	30.8	7.7	5.1	0.0
難病その他(n=142)	80.3	50.0	21.1	33.8	16.2	7.7	12.0	8.5	19.7	7.7	5.6	2.8	2.8

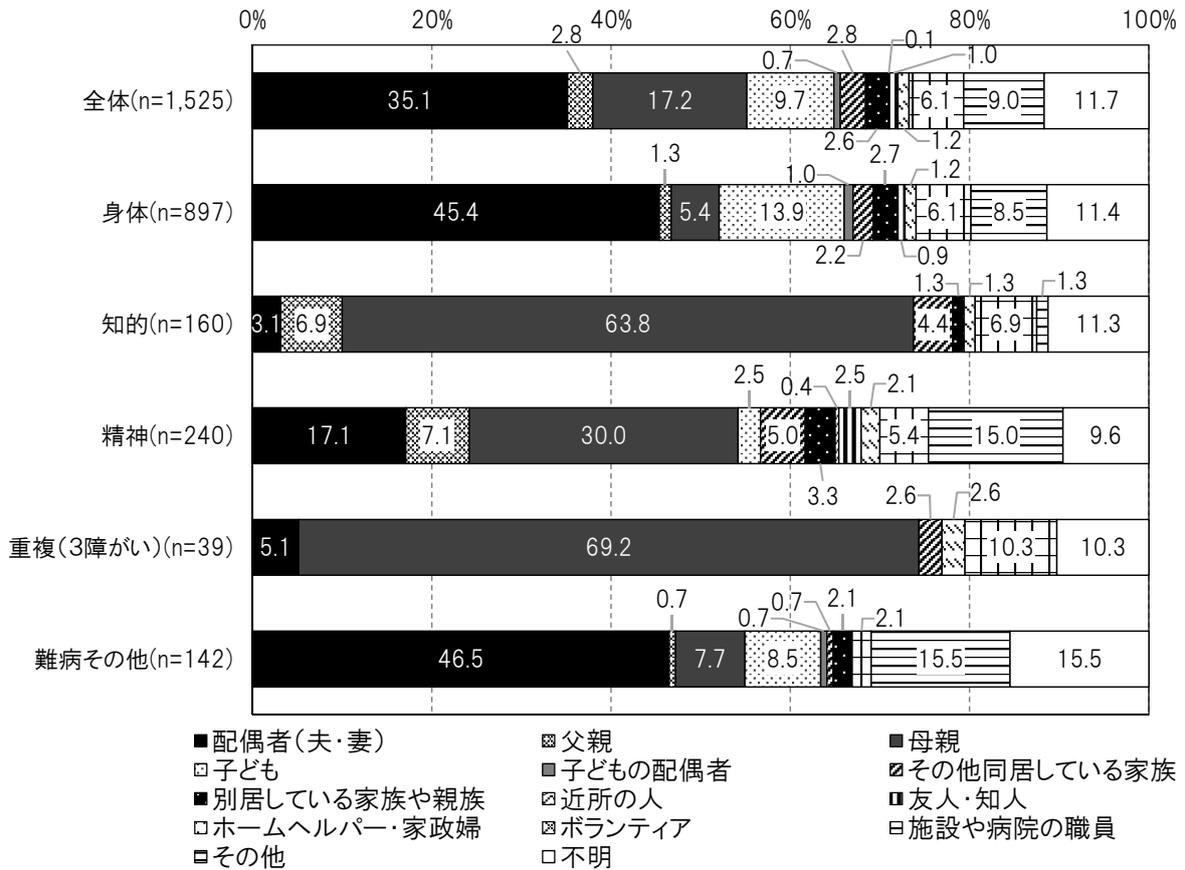
※「不明」を除く、上位2項目に着色

3 日常生活について

問 15 主な介助者はどなたですか。(〇印は1つ)

主な介助者について、全体では「配偶者(夫・妻)」が35.1%と最も多く、次いで「母親」が17.2%となっています。

障がい別で見ると、「身体」「難病その他」では「配偶者(夫・妻)」が多く、「知的」「精神」「重複(3障がい)」では「母親」の割合が多くなっています。



問 16 いつも介助している方が介助できなくなったとき、どうされていますか（どうするつもりですか）。（あてはまるものすべてに○印）

介助の方が介助できなくなったときについて、全体では「施設に入所する（短期の利用も含む）」が26.0%と最も多く、次いで「同居しているほかの家族に頼む」が25.7%となっており、障がい別でも同様の傾向が見られます。

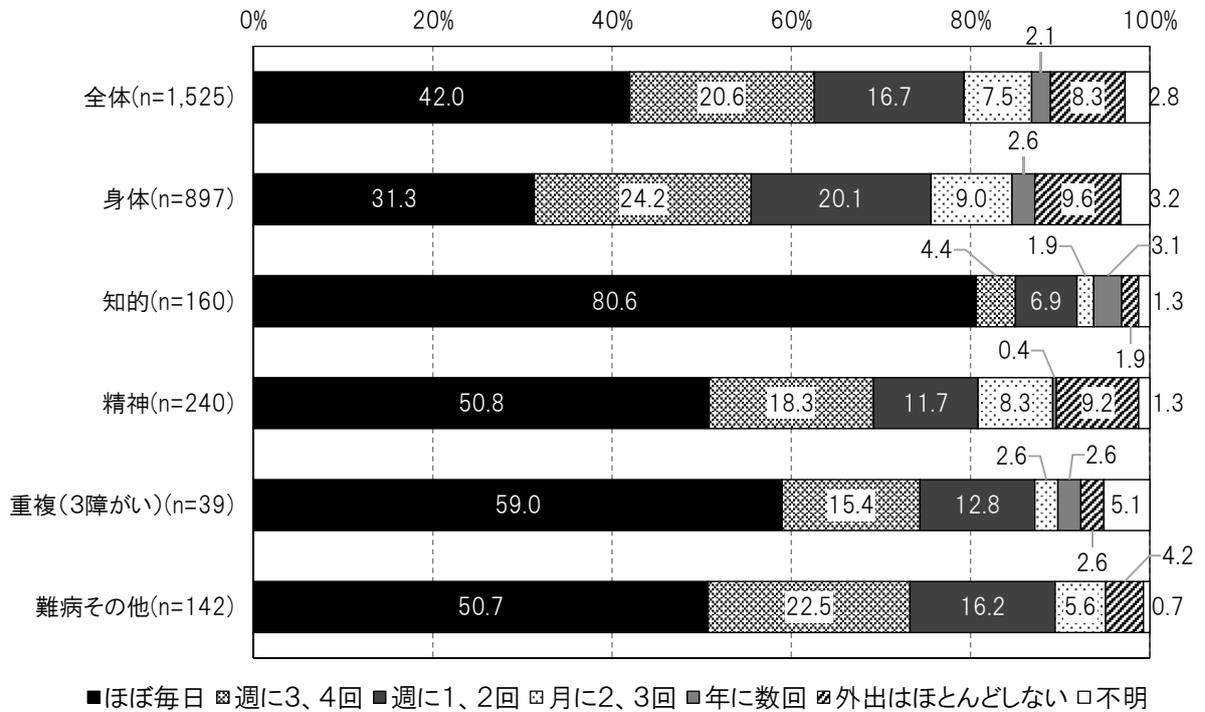
（単位：％）

	同居しているほかの家族に頼む	別居している家族や親族に頼む	近所の人や友人・知人に頼む	ホームヘルパーなどを頼む	施設に入所する（短期の利用も含む）	病院に入院する	その他	何もあてがなく困っている	不明
全体(n=1,525)	25.7	22.8	3.0	17.4	26.0	11.0	7.9	12.9	10.5
身体(n=897)	21.2	24.9	2.9	20.8	30.4	13.6	6.1	9.0	11.1
知的(n=160)	58.1	26.3	3.1	7.5	21.9	1.9	4.4	10.0	6.3
精神(n=240)	21.7	16.7	4.6	12.1	14.6	6.3	12.9	29.6	7.9
重複(3障がい)(n=39)	48.7	23.1	7.7	17.9	30.8	7.7	10.3	20.5	5.1
難病その他(n=142)	22.5	16.9	0.7	16.9	18.3	13.4	15.5	9.2	12.7

※「不明」を除く、上位2項目に着色

問 17 日頃どのくらい外出をしますか。(通勤・通学も含む) (○印は1つ)

外出の頻度について、全体では「ほぼ毎日」が 42.0%と最も多く、次いで「週に3、4回」が 20.6%となっており、障がい別でも同様の傾向が見られますが、「知的」では8割以上で「ほぼ毎日」となっています。



問 18 外出する時の主な目的はなんですか。(あてはまるものすべてに○印)

外出する時の目的について、全体では「買い物・散歩」が 60.1%と最も多く、次いで「通院」が 52.8%となっています。

障がい別では、「知的」では「通勤・通学」や「施設への定期的な通所」が比較的多く、「通院」が少なくなっています。

(単位：%)

	通勤・通学	施設への定期的な通所	施設サービスを時々利用	通院	訓練やリハビリ	買い物・散歩	友人・知人宅への訪問	地域活動や行事	趣味やスポーツ活動などの参加	入所施設から自宅に帰る	その他	不明
全体(n=1,525)	25.6	16.3	3.1	52.8	10.9	60.1	7.1	5.0	14.5	1.9	6.5	3.2
身体(n=897)	14.3	12.8	3.9	57.2	12.4	59.5	8.6	6.2	13.8	1.2	6.1	3.9
知的(n=160)	62.5	40.6	2.5	23.1	3.1	56.9	3.1	3.8	14.4	7.5	3.8	0.6
精神(n=240)	34.2	14.2	1.7	58.8	6.3	63.8	4.6	2.1	17.1	0.0	10.8	1.7
重複(3障がい)(n=39)	41.0	43.6	7.7	43.6	23.1	41.0	5.1	5.1	12.8	10.3	5.1	5.1
難病その他(n=142)	41.5	9.2	0.0	57.0	12.0	70.4	9.2	4.9	14.8	0.7	5.6	0.0

※「不明」を除く、上位2項目に着色

問 19 外出する時に困ることはなんですか。(あてはまるものすべてに○印)

外出する時に困ることは、全体では「困ったときにどうすればいいのか心配」が 21.0%と最も多く、次いで「外出にお金がかかる」が 18.1%となっています。

障がい種別で見ると、「身体」「重複（3障がい）」では、「道路や駅に階段や段差が多い」が2割以上、「知的」では「困ったときにどうすればいいのか心配」が4割以上、「精神」では「外出にお金がかかる」が3割以上、「難病その他」では「その他」が2割以上と多くなっています。

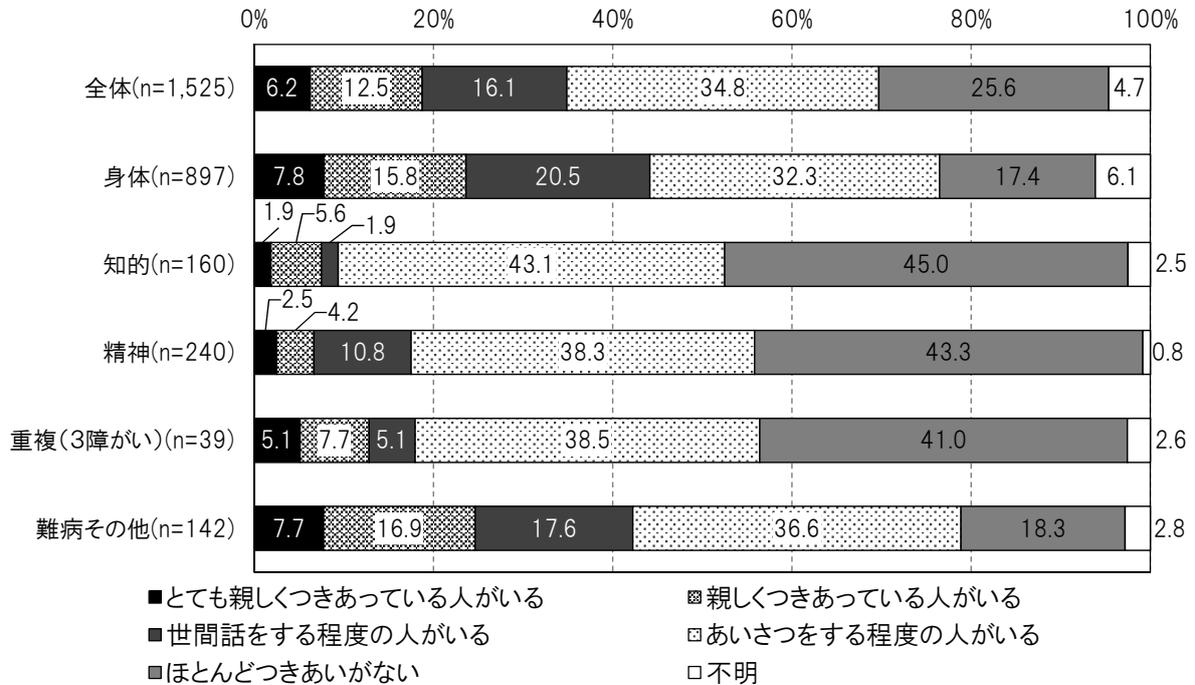
(単位：%)

	公共交通機関が少ない、または、ない	切符の買い方や乗り換えの方法がわかりにくい	外出先の建物の設備が不便(通路、トイレなど)	視覚障がい者用の信号機、点字ブロックなどの設備が少ない	障がい者駐車場が少ない、利用できない	列車やバスの乗り降りが困難	道路や駅に階段や段差が多い	介助者が確保できない	外出にお金がかかる	案内表示がわかりにくい	周囲からどう思われているか気になる	発作など突然の身体の変化が心配	困ったときにどうすればいいのか心配	その他	不明
全体 (n=1,525)	16.7	4.6	8.9	1.4	9.5	12.5	17.2	6.0	18.1	3.0	7.6	17.3	21.0	15.8	16.6
身体 (n=897)	18.5	3.2	11.0	2.1	13.4	15.3	22.6	6.5	13.2	2.7	3.2	15.5	16.9	14.6	18.3
知的 (n=160)	9.4	15.0	5.6	0.6	3.1	9.4	2.5	8.8	20.6	5.6	12.5	10.6	43.8	8.1	16.3
精神 (n=240)	17.9	4.6	3.8	0.4	1.3	4.2	5.8	3.8	37.5	2.5	22.9	29.2	29.2	17.9	10.0
重複(3障がい) (n=39)	10.3	10.3	17.9	0.0	20.5	25.6	33.3	10.3	25.6	5.1	12.8	20.5	17.9	17.9	10.3
難病その他 (n=142)	16.2	1.4	5.6	0.0	4.9	7.7	13.4	0.7	14.8	2.1	2.1	16.2	8.5	26.8	16.9

※不明を除く上位2項目に着色

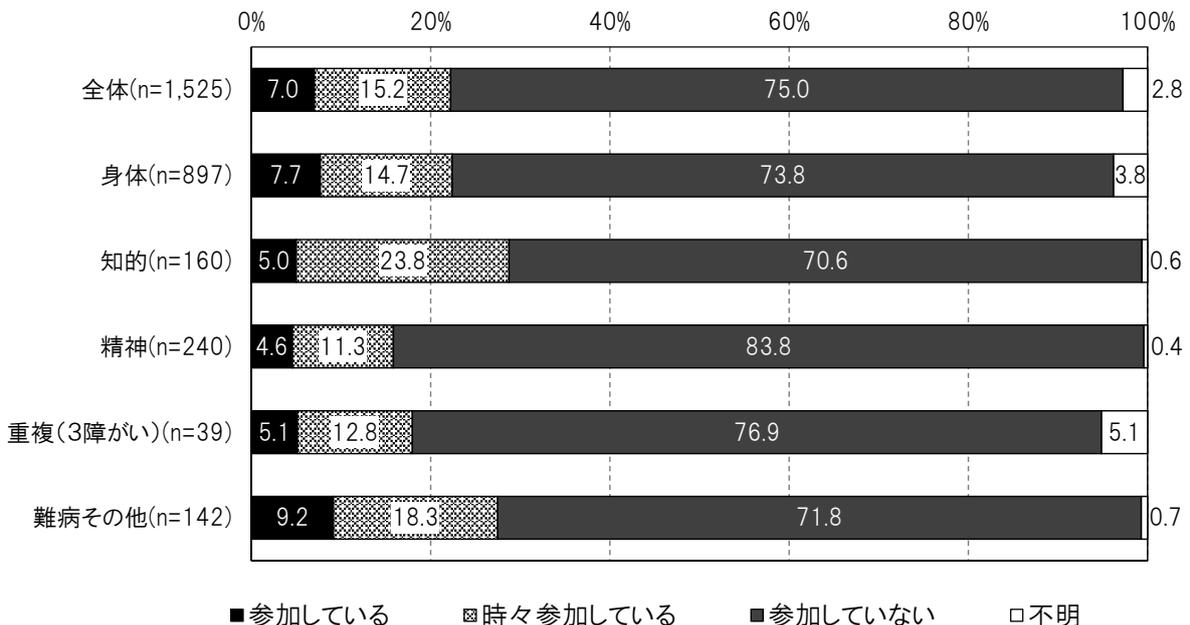
問 20 あなた（宛名のご本人）の地域の人とのつきあいはどの程度ですか。（○印は1つ）

地域の人とのつきあいについて、全体では「あいさつをする程度の人がいる」が 34.8%と最も多く、次いで「ほとんどつきあいが無い」が 25.6%となっています。障がい別では「身体」に比べ、「知的」「精神」では「世間話をする程度」以上のつきあいが少なく、「ほとんどつきあいが無い」割合が4割を超えて多くなっています。



問 21 あなた（宛名のご本人）は地域の祭りや運動会など、行事やイベントに参加していますか。（○印は1つ）

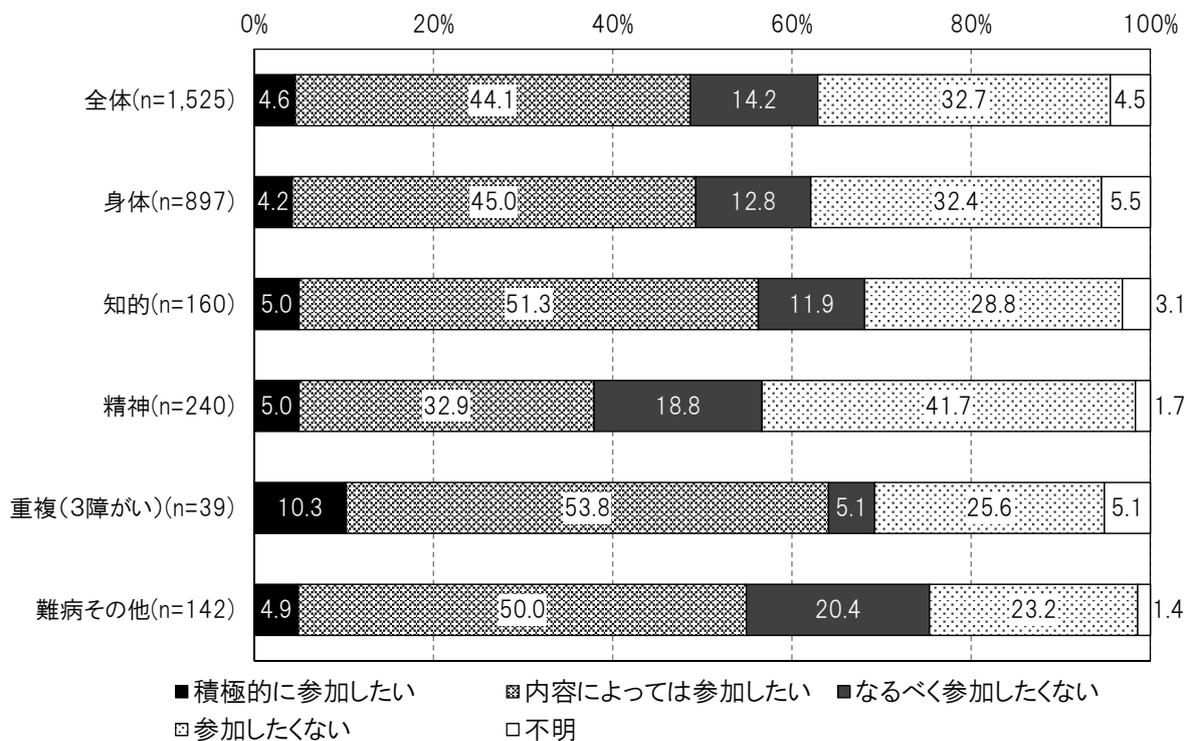
地域の行事やイベントへの参加について、全体では「参加していない」が 75.0%と最も多くっており、「精神」では8割以上と多くなっています。



問 22 あなた（宛名のご本人）は今後、地域の活動に参加してみたいですか。（○印は1つ）

地域の活動に参加したいかについて、全体で「参加したい（積極的に+内容によって）」割合は、48.7%、「参加したくない（なるべくを含む）」が46.9%となっています。

障がい別で見ると、「参加したい（積極的に+内容によって）」割合が「精神」では4割以下と低くなっています。



4 健康と医療について

問 23 健康管理や医療について、困ったり不便に思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○印)

健康管理や医療で困ったり不便に思うことについて、全体では「特に困ったり不便に思うことはない」が36.5%と最も多くなっています。困ったり不便に思うことについては、「医療費の負担が大きい」が19.3%と最も多く、次いで「交通費の負担が大きい」が15.5%となっています。

障がい別で見ると、「知的」では「適切な医療機関を受診するための情報が不足している」が20.6%、「重複(3障がい)」では「専門的な治療を行う医療機関がない」が28.2%、「精神」「難病その他」では「医療費の負担が大きい」がそれぞれ33.8%、39.4%と最も多くなっています。

(単位：%)

	近所に診てくれる医師がない	専門的な治療を行う医療機関がない	通院や健康診断のときに付き添いがいない	往診を頼める医師がない	定期的に健康診断を受けられない	症状が正確に伝わらず、必要な治療が受けられない	受診手続きなどについて、難病や障がいのある人への配慮が不十分	医療スタッフ(医師、看護師など)の難病・障がいに対する理解が不十分	建物内の設備(トイレや移動設備、案内など)に不備がある	医療費の負担が大きい	交通費の負担が大きい	医療について相談できる場所が少ない	適切な医療機関を受診するための情報が不足している	その他	特に困ったり不便に思うことはない	不明
全体 (n=1,525)	13.8	13.2	3.8	10.4	2.8	5.4	5.3	5.6	4.3	19.3	15.5	12.1	14.4	5.4	36.5	7.5
身体 (n=897)	12.2	12.0	3.8	12.0	2.5	3.0	4.2	4.1	5.9	15.4	12.9	9.9	13.2	5.1	38.8	8.5
知的 (n=160)	12.5	13.1	3.1	5.0	6.3	14.4	8.8	11.3	1.3	3.1	5.6	12.5	20.6	4.4	40.6	6.3
精神 (n=240)	19.6	14.6	5.4	8.3	3.3	10.4	4.6	5.4	0.8	33.8	31.7	20.8	15.0	6.7	27.1	3.8
重複(3障がい) (n=39)	15.4	28.2	10.3	23.1	2.6	15.4	7.7	10.3	12.8	15.4	15.4	20.5	23.1	10.3	33.3	10.3
難病その他 (n=142)	16.9	14.8	0.0	7.0	0.0	1.4	10.6	9.2	1.4	39.4	15.5	9.9	10.6	4.2	32.4	6.3

※「特に困ったり不便に思うことはない」「不明」を除く上位2項目に着色

問 24 あなた（宛名のご本人）の健康状態を維持するために必要な支援は何ですか。（あてはまるものすべてに○印）

健康状態を維持するために必要な支援について、全体では「医師の指導」が37.0%と最も高く、次いで「リハビリ施設の充実」が19.7%となっており、障がい別でも同様の傾向が見られます。

（単位：％）

	個別相談	専門家による訪問指導	健康に関する教室や講座の開催	医師の指導	運動施設の充実	リハビリ施設の充実	その他	特にない	不明
全体 (n=1,525)	16.7	10.6	6.0	37.0	13.4	19.7	3.7	28.2	6.2
身体 (n=897)	10.8	11.1	6.8	35.2	11.7	23.5	3.1	29.0	6.8
知的 (n=160)	25.6	7.5	4.4	30.0	22.5	10.6	1.3	35.6	4.4
精神 (n=240)	33.8	12.5	4.2	50.4	15.8	9.2	6.7	21.7	1.7
重複(3障がい)(n=39)	23.1	15.4	0.0	28.2	15.4	48.7	10.3	17.9	7.7
難病その他(n=142)	14.1	7.7	7.7	35.9	12.0	16.2	3.5	29.6	5.6

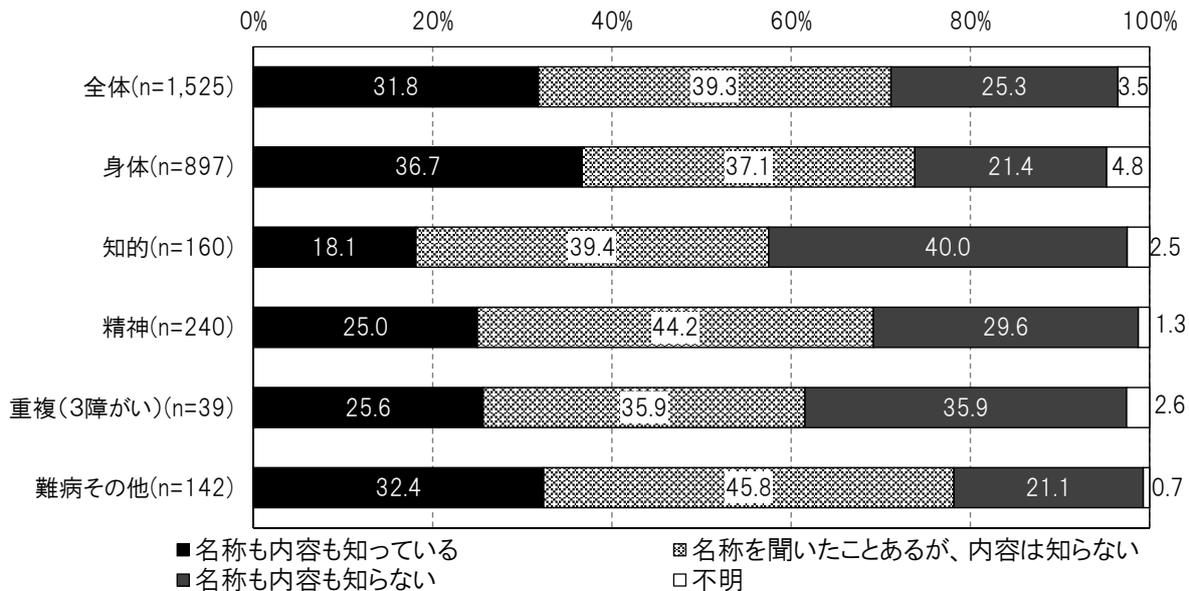
※「特にない」「不明」を除く上位2項目に着色

5 障がいに対する理解について

問 25 成年後見制度についてご存じですか。(〇印は1つ)

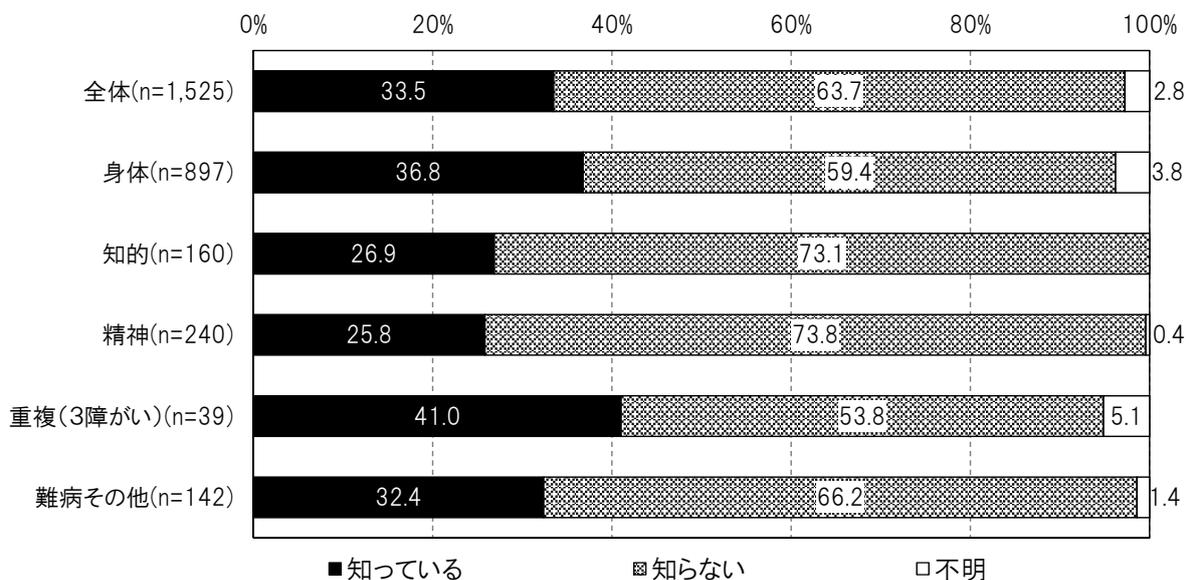
成年後見制度について、全体では「名称を聞いたことがあるが、内容は知らない」が39.3%と最も多く、次いで「名称も内容も知っている」が31.8%となっています。

障がい別で見ると、「身体」で「名称も内容も知っている」が36.7%と多く、「知的」では18.1%と少なくなっています。



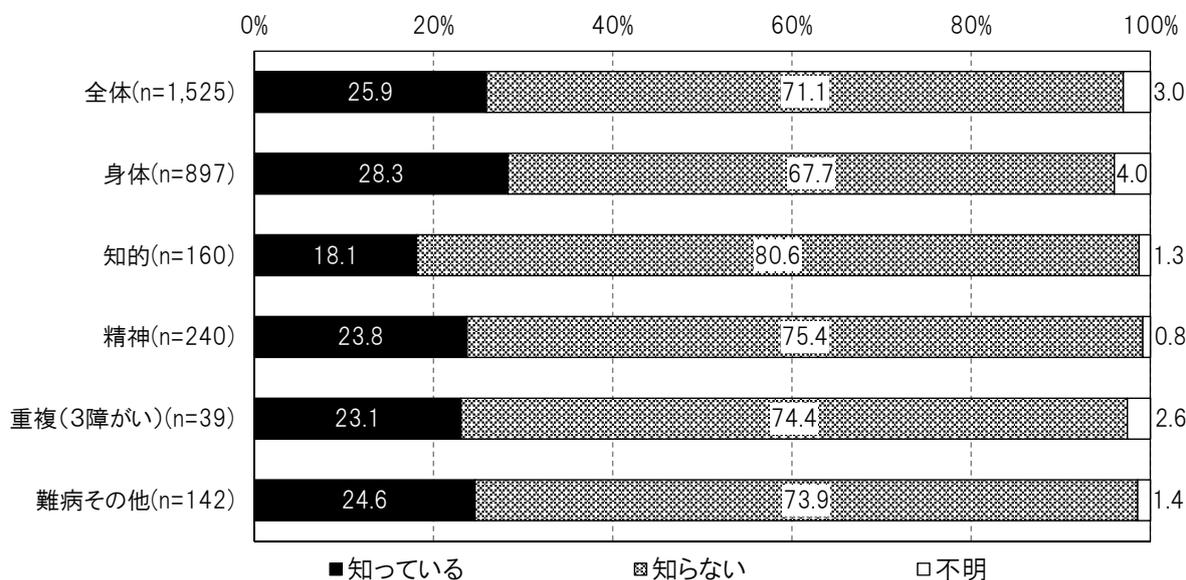
問 26 「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律(障害者虐待防止法)」について知っていますか。(〇印は1つ)

障害者虐待防止法について、全体では「知っている」が33.5%となっています。障がい別では「重複(3障がい)」で41.0%と知っている割合が最も多くなっています。



問 27 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」を知っていますか。（○印は1つ）

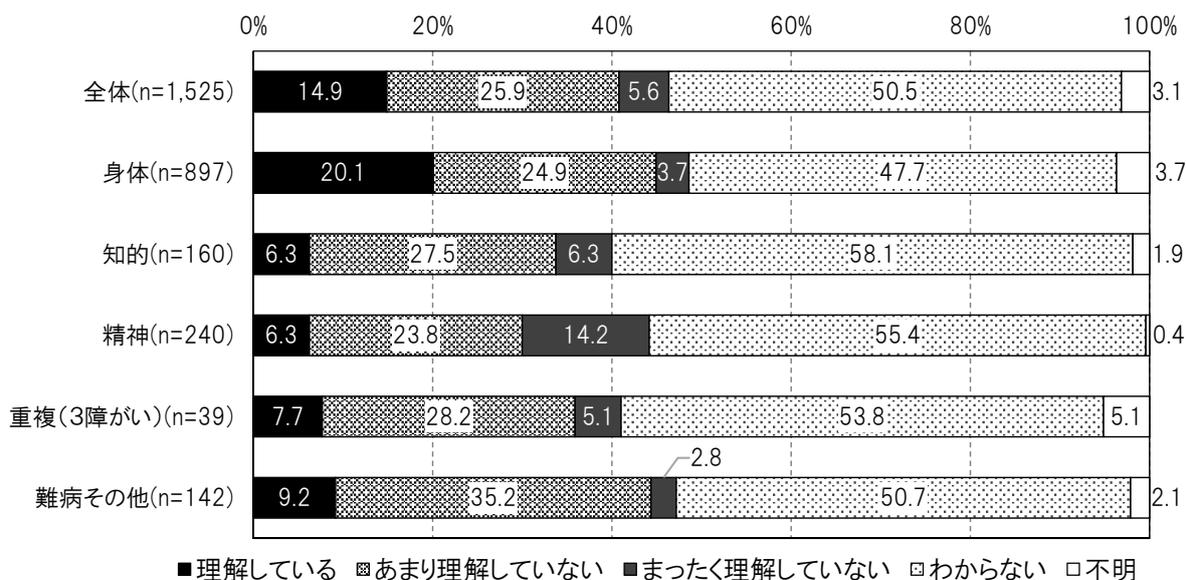
障害者差別解消法について、全体では「知っている」が25.9%となっています。障がい別では「身体」で28.3%と知っている割合が最も多くなっています。



問 28 地域の人への障がいに対する理解について、あなた（宛名のご本人）はどのように感じていますか。（○印は1つ）

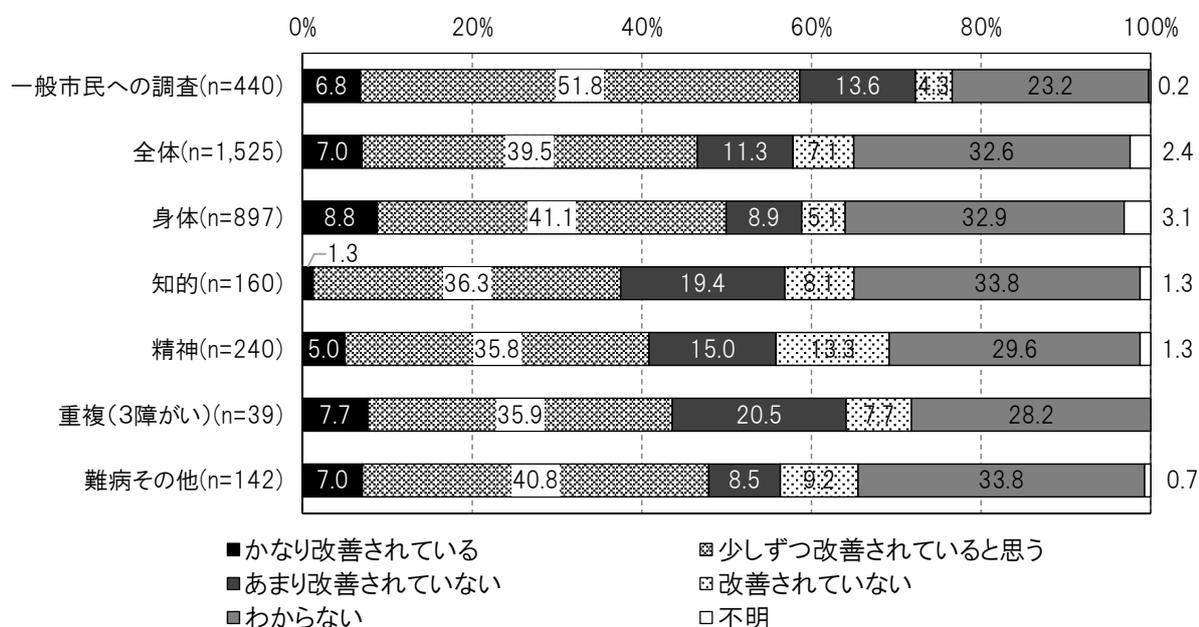
地域の人への障がいに対する理解について、全体では「わからない」が50.5%と最も多くなり、「理解している（あまりを含む）」が40.8%となっています。

障がい別でも同様の傾向が見られますが、「身体」では「理解している」が20.1%、「精神」では「まったく理解していない」が14.2%と他の障がいに比べ、割合が多くなっています。



問 29 およそ5～10年前と比べて、障がいのある方に対する差別や偏見は改善されてきたと思いますか。(〇印は1つ)

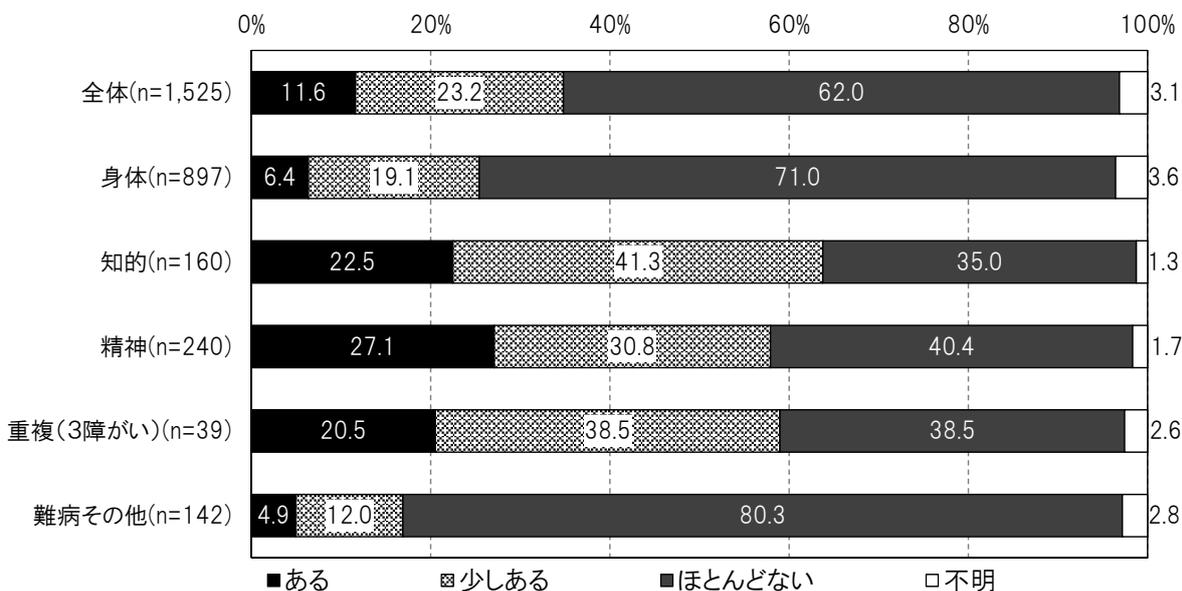
障がいのある方に対する差別や偏見について、全体では「改善されている(かなり+少しずつ)」は46.5%、一般市民への調査では58.6%となっており、12.1ポイント少なくなっています。



問 30 あなた(宛名のご本人)は、障がいがあることで差別・偏見を受けたことがありますか。(〇印は1つ)

差別・偏見をうけたことがあるかについて、全体では「ある」が11.6%、「少しある」が23.2%、「ほとんどない」が62.0%となっています。

障がい別で見ると、「身体」では7割以上、「難病その他」では8割以上で「ほとんどない」となっていますが、「知的」「精神」「重複(3障がい)」では「ほとんどない」が4割程度と少なくなっています。



【問30で「1」または「2」を回答された方】

問30-1 どのような場面で差別・偏見を受けましたか。(あてはまるものすべてに○印)

差別・偏見を受けた場面について、全体では「仕事や収入」が35.0%と最も多く、次いで「公共の場での人の視線」が30.3%となっています。

障がい別でも同様の傾向が見られます。また、「知的」では「保育所・幼稚園や学校」が約6割と高くなっています。

(単位：%)

	仕事や収入	保育所・幼稚園や学校	進路の選択	隣近所とのつきあい	冠婚葬祭	スポーツや趣味の活動	地域の行事や集まり	公共の場での人の視線	店などでの対応や態度	市役所の職員の対応や態度	公共機関の職員の対応や態度	交通機関の利用	その他	不明
全体 (n=531)	35.0	20.5	10.0	18.5	3.6	8.1	8.7	30.3	16.8	10.2	8.3	12.4	10.7	3.8
身体 (n=228)	29.4	8.8	9.6	17.5	2.6	9.2	9.2	33.8	14.5	9.2	6.1	14.9	9.6	5.7
知的 (n=102)	16.7	57.8	13.7	10.8	4.9	5.9	9.8	34.3	22.5	4.9	7.8	6.9	8.8	2.0
精神 (n=139)	59.7	15.1	7.9	25.9	4.3	6.5	6.5	20.9	12.2	15.1	12.2	10.8	13.7	2.2
重複(3障がい) (n=23)	13.0	26.1	17.4	13.0	0.0	13.0	17.4	52.2	39.1	0.0	4.3	26.1	21.7	4.3
難病その他 (n=24)	54.2	4.2	0.0	16.7	4.2	8.3	0.0	12.5	16.7	12.5	16.7	4.2	8.3	4.2

※「不明」を除く上位2項目に着色

6 情報や相談について

問 31 障がい福祉に関する情報を、何で知りますか。(あてはまるものすべてに○印)

障がい福祉に関する情報を何で知るかについて、全体では「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が39.3%と最も多く、次いで「行政機関の広報紙」が33.0%となっており、障がい別でも同様の傾向となっています。

(単位：%)

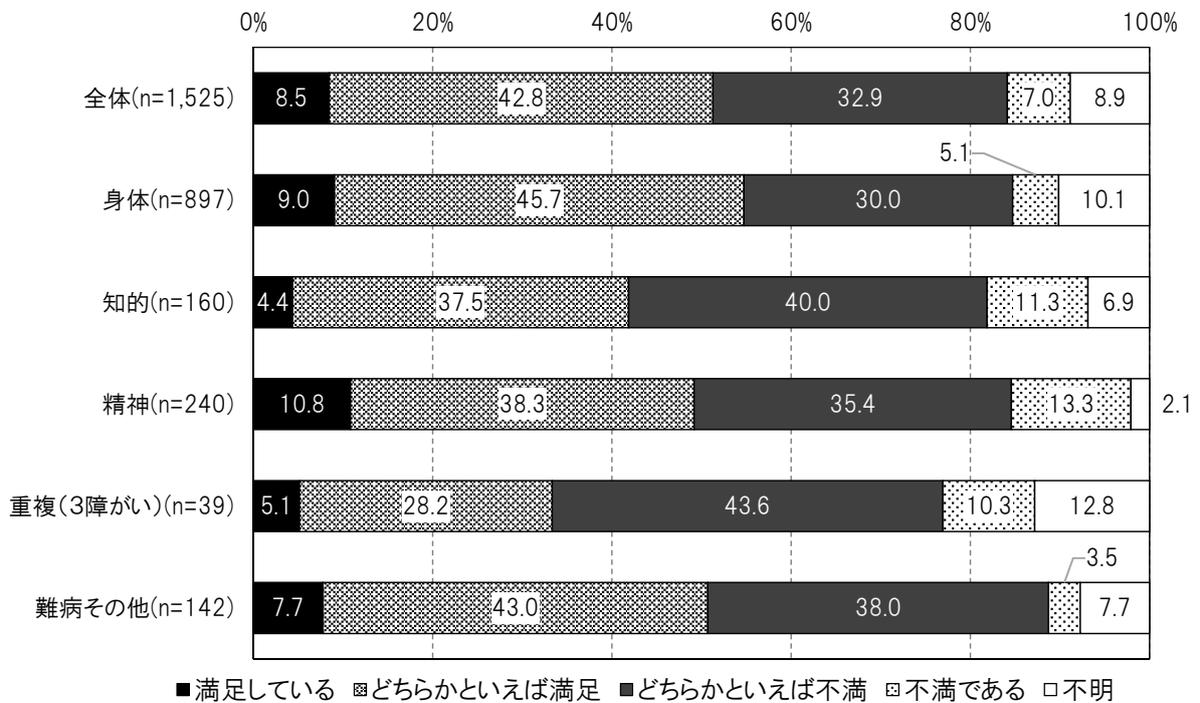
	本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース	行政機関の広報紙	インターネット	家族や親せき、友人・知人	サービス事業所の人や施設職員	障害者団体や家族会(団体の機関誌など)	かかりつけの医師や看護師	病院のケースワーカーや介護保険のケアマネージャー	民生委員・児童委員	通園施設、通所施設や保育所、幼稚園、学校の先生	相談支援事業所などの民間の相談窓口	行政機関の相談窓口	その他	特にない	入手方法がわからない	不明
全体 (n=1,525)	39.3	33.0	26.0	18.3	12.4	3.9	20.5	12.6	3.3	5.1	4.5	15.3	1.6	8.1	4.2	4.2
身体 (n=897)	39.6	33.8	25.4	17.5	13.4	4.1	20.7	13.4	3.6	5.0	4.7	15.8	1.4	7.8	4.8	4.0
知的 (n=160)	35.6	31.3	25.6	18.1	8.8	3.1	19.4	11.9	2.5	4.4	2.5	11.9	1.9	7.5	3.8	8.1
精神 (n=240)	42.5	29.6	28.3	20.8	10.8	2.5	22.9	9.2	2.9	5.4	5.0	10.8	2.5	7.1	2.9	2.1
重複(3障がい) (n=39)	35.9	30.8	25.6	25.6	17.9	7.7	23.1	23.1	7.7	12.8	7.7	20.5	0.0	2.6	2.6	5.1
難病その他 (n=142)	35.9	33.1	26.8	16.9	12.0	5.6	12.7	12.0	2.1	4.9	4.9	20.4	0.7	15.5	4.2	4.9

※「不明」を除く上位2項目に着色

問 32 福祉に関する情報について満足していますか。(〇印は1つ)

福祉に関する情報の満足度について、全体では「満足している(どちらかといえばを含む)」が51.3%、「不満である(どちらかといえばを含む)」が39.9%となっています。

障がい別で見ると、「知的」「重複(3障がい)」で「不満である(どちらかといえばを含む)」が5割を超えています。



問33 生活に関することで、どのような情報を知りたいですか。(〇印は3つまで)

生活に関することで、知りたい情報は、全体で「特にない」が2割となっています。知りたい情報については、「障がい者にかかわる福祉制度などのこと」が47.4%と最も多く、次いで「相談窓口に関すること」が20.2%となっています。

(単位：%)

	相談窓口に関すること	障がい者にかかわる福祉制度などのこと	災害時の避難方法などの災害対策に関すること	在宅福祉サービスに関すること	余暇活動に関すること	施設などでの日中活動に関すること	ボランティア団体などのこと	就職や就労支援などに関すること	その他	特にない	不明
全体 (n=1,525)	20.2	47.4	19.1	18.7	6.0	7.1	3.8	14.5	1.9	22.8	7.1
身体 (n=897)	17.2	45.7	22.5	20.8	3.8	6.4	2.9	6.9	0.9	24.6	8.5
知的 (n=160)	19.4	54.4	12.5	10.6	15.0	11.3	5.0	28.1	6.3	16.9	6.9
精神 (n=240)	30.0	62.9	14.2	16.3	9.6	8.8	7.1	33.8	2.1	15.4	0.8
重複(3障がい) (n=39)	15.4	61.5	17.9	30.8	12.8	15.4	2.6	12.8	10.3	12.8	2.6
難病その他 (n=142)	26.1	27.5	15.5	13.4	3.5	3.5	4.2	15.5	1.4	31.7	4.2

※「特にない」「不明」を除く上位2項目に着色

問 34 悩みや困ったことを相談するのは誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○印）

悩みや困ったことの相談先について、全体では「家族や親せき」が 75.3%と最も高く、次いで「かかりつけの医師や看護師」が 33.8%となっており、障がい別でも同様の傾向が見られます。

（単位：％）

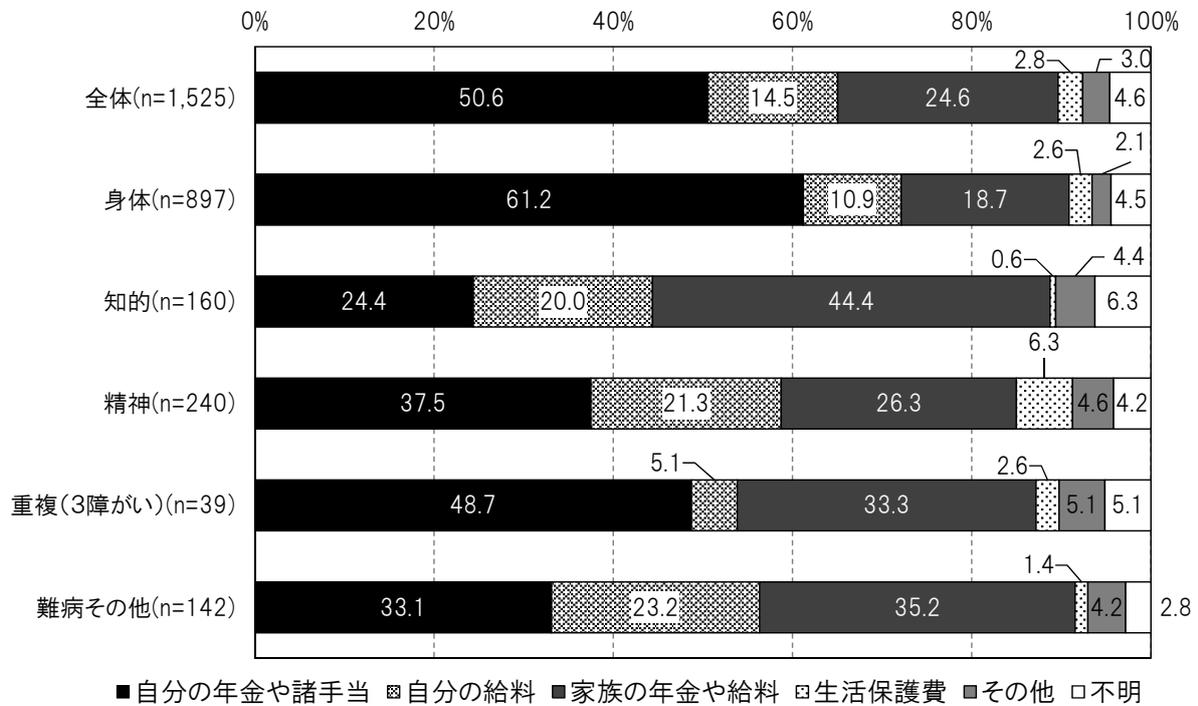
	家族や親せき	友人・知人	近所の人	職場の上司や同僚	施設の指導員など	ホームヘルパーなどサービス事業所の人	障害者団体や家族会	かかりつけの医師や看護師	病院のケースワーカーや介護保険のケアマネージャー	民生委員・児童委員	通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生	相談支援事業所などの民間の相談窓口	行政機関の相談窓口	その他	不明
全体 (n=1,525)	75.3	24.3	3.0	5.3	11.1	7.5	1.4	33.8	13.0	3.4	3.9	4.7	14.2	3.7	3.6
身体 (n=897)	75.1	21.7	3.1	3.0	7.1	8.7	1.2	32.2	17.2	4.2	0.6	1.8	14.5	2.3	4.8
知的 (n=160)	76.3	24.4	2.5	13.1	33.1	4.4	2.5	20.0	0.6	1.9	26.3	13.8	13.8	1.9	1.3
精神 (n=240)	73.3	27.1	2.1	9.6	12.1	7.5	0.8	52.1	9.2	3.3	1.7	10.0	16.7	9.6	0.8
重複(3障がい) (n=39)	69.2	30.8	2.6	5.1	38.5	5.1	5.1	33.3	7.7	0.0	17.9	12.8	12.8	5.1	5.1
難病その他 (n=142)	84.5	38.0	3.5	4.9	2.8	2.8	0.7	32.4	7.7	1.4	0.0	0.7	11.3	4.2	0.7

※「不明」を除く上位2項目に着色

7 就労状況について

問 35 主な収入はどれですか。金額の一番大きいものを選んでください。(〇印は1つ)

主な収入について、全体では「自分の年金や諸手当」が50.6%と最も多く、次いで「家族の年金や給料」が24.6%となっており、障がい別でも同様の傾向が見られます。



問 36 平日の日中をどのように過ごしていますか。あなたが選択した回答に従って、以下の問 36-1 から問 37 までの設問にお進みください。(○印は1つ)

平日の日中の過ごし方について、全体では「自宅で過ごしている」が 39.0%と最も多く、次いで「会社勤めや、自営業などで収入を得る仕事をしている」が 19.5%となっています。

障がい別でも同様の傾向が見られます。また、「知的」「重複(3障がい)」では「福祉施設、作業所等に通っている(就労継続支援 A 型も含む)」割合が、約3割と他の障がいに比べ、割合が多くなっています。

(単位：%)

	会社勤めや、自営業などで収入を得る仕事をしている	福祉施設、作業所等に通っている(就労継続支援 A 型も含む)	大学、専門学校、就業訓練校などに通っている	特別支援学校(小中高等部)に通っている	小学校、中学校、高等学校(4を除く)に通っている	幼稚園、保育所、障がい児通園施設などに通っている	ボランティアなど、収入を得ない仕事をしている	福祉施設などに通っている	病院などのデイケアに通っている	専業主婦(夫)をしている	自宅で過ごしている	入所している施設や病院などで過ごしている	その他	不明
全体 (n=1,525)	19.5	5.6	0.6	2.6	2.4	0.5	0.5	2.0	2.1	9.4	39.0	6.5	2.0	7.2
身体 (n=897)	14.8	1.0	0.4	0.6	0.0	0.1	0.8	2.2	2.2	10.9	48.6	7.2	2.5	8.6
知的 (n=160)	18.1	25.6	0.0	17.5	15.6	3.8	0.0	1.3	0.0	1.9	8.8	4.4	0.6	2.5
精神 (n=240)	30.0	9.2	1.3	0.0	1.7	0.0	0.0	1.7	2.5	8.8	30.4	5.4	1.7	7.5
重複(3障がい) (n=39)	10.3	33.3	0.0	12.8	7.7	2.6	0.0	2.6	2.6	0.0	17.9	7.7	0.0	2.6
難病その他 (n=142)	38.7	0.7	1.4	0.0	2.8	0.0	0.7	2.1	2.1	14.1	29.6	1.4	2.8	3.5

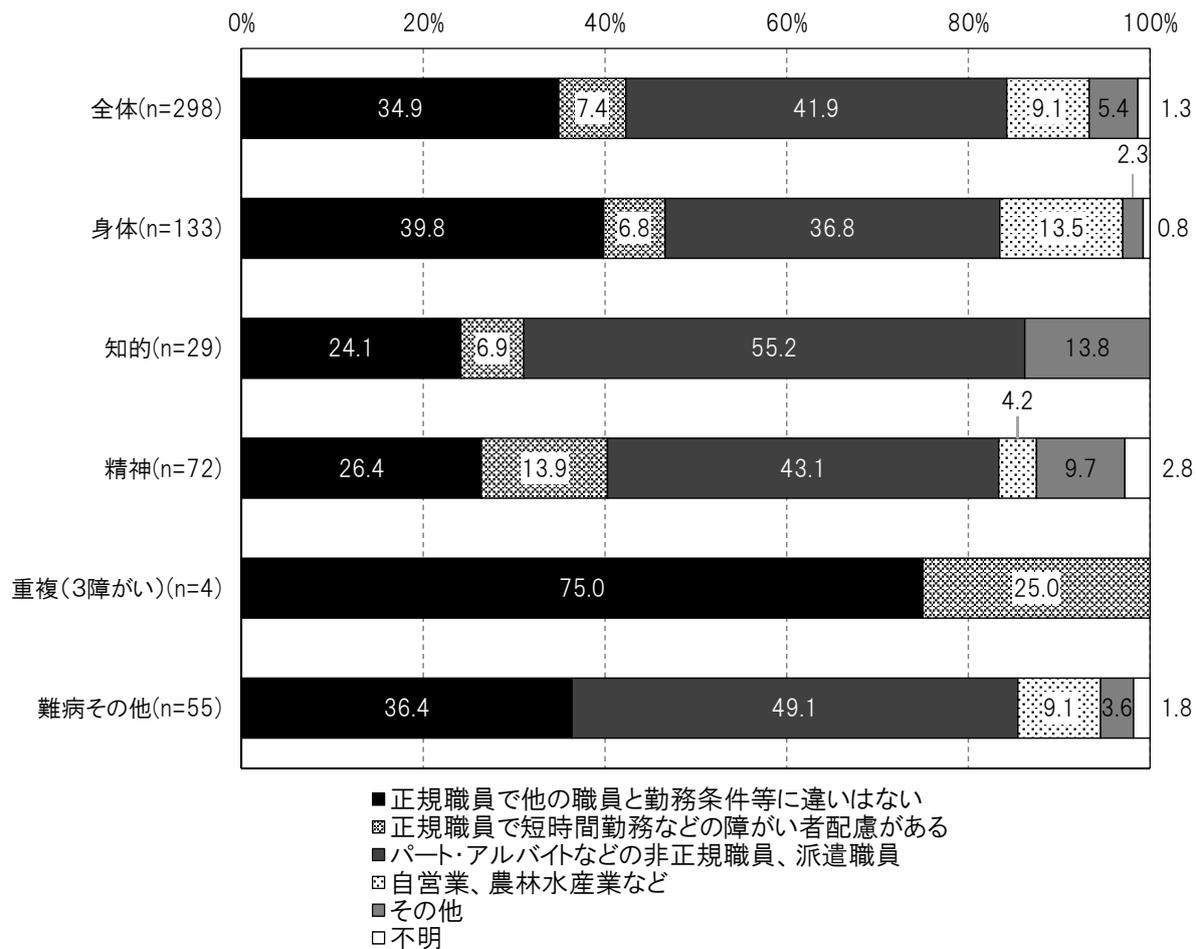
※「不明」を除く上位2項目に着色

【問 36 で「1」を回答された方】

問 36-1 どのような勤務形態で働いていますか。(〇印は1つ)

勤務形態について、全体では「パート・アルバイトなどの非正規職員、派遣社員」が 41.9%と最も多く、次いで「正規職員で他の職員と勤務条件等に違いはない」が 34.9%となっています。

障がい別で見ると、「重複(3障がい)」で「正規職員で他の職員と勤務条件等に違いはない」が7割、「知的」「難病その他」では「パート・アルバイトなどの非正規職員、派遣職員」が5割程度と多くなっています。



【問36で「1」を回答された方】

問36-2 仕事をする上で、困っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○印)

仕事をする上で困っていることについて、全体で「困っていることはない」が約3割となっています。困っていることでは、「給料が少ない」が38.3%、「人間関係が難しい」が18.8%と多くなっており、障がい別でも同様の傾向が見られます。

(単位：%)

	給料が少ない	仕事の内容が難しい	身分が不安定	人間関係が難しい	トイレなど障がいのある人用の設備が不十分	職場に障がいのある人用の設備や機器がない	障がいがあるために昇給や昇進に差がある	通勤が大変	休みがとりにくい	障がいに対する理解がない	その他	困っていることはない	不明
全体 (n=298)	38.3	5.7	13.1	18.8	3.0	2.0	12.8	12.1	9.4	11.1	6.4	27.2	11.7
身体 (n=133)	27.8	1.5	7.5	12.8	5.3	2.3	5.3	11.3	8.3	8.3	4.5	38.3	12.0
知的 (n=29)	48.3	10.3	13.8	31.0	0.0	0.0	31.0	3.4	6.9	3.4	13.8	24.1	10.3
精神 (n=72)	59.7	11.1	26.4	29.2	1.4	1.4	25.0	16.7	12.5	22.2	6.9	8.3	9.7
重複(3障がい) (n=4)	50.0	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0
難病その他 (n=55)	30.9	7.3	9.1	12.7	0.0	1.8	3.6	10.9	10.9	7.3	5.5	29.1	10.9

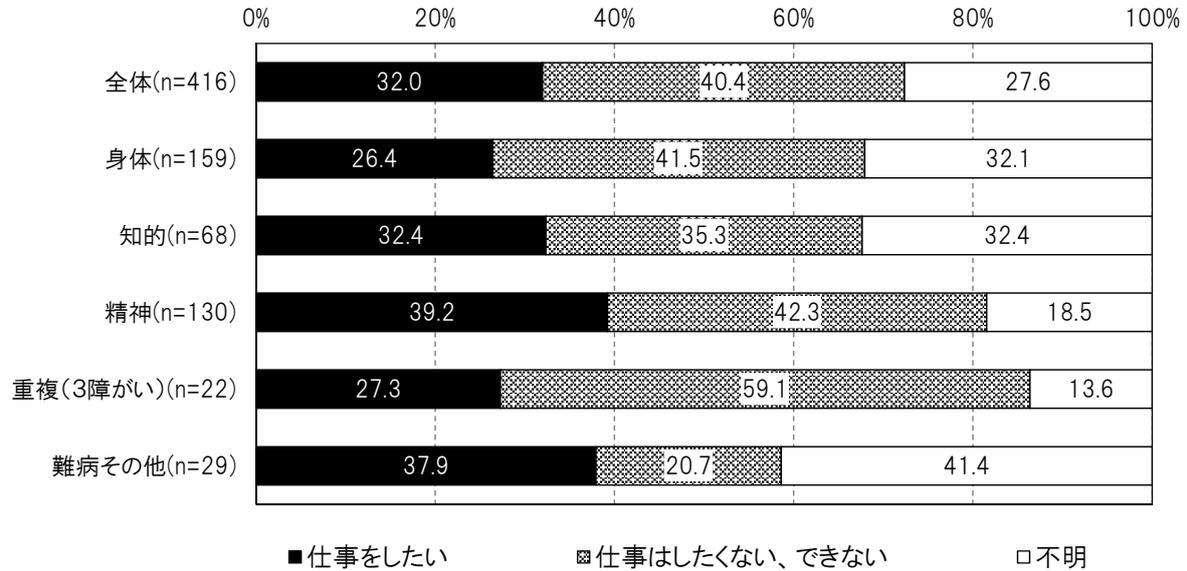
※「困っていることはない」「不明」を除く上位2項目に着色

【問 36 で「1」以外を回答された 18～64歳の方】

問 36-3 あなた（宛名のご本人）は今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。（○印は1つ）

収入を得る仕事をしたいかについて、全体では「仕事をしたい」が32.0%、「仕事はしたくない、できない」が40.4%となっています。

障がい別で見ると、すべての障がいでは約3割が「仕事をしたい」と回答しています。

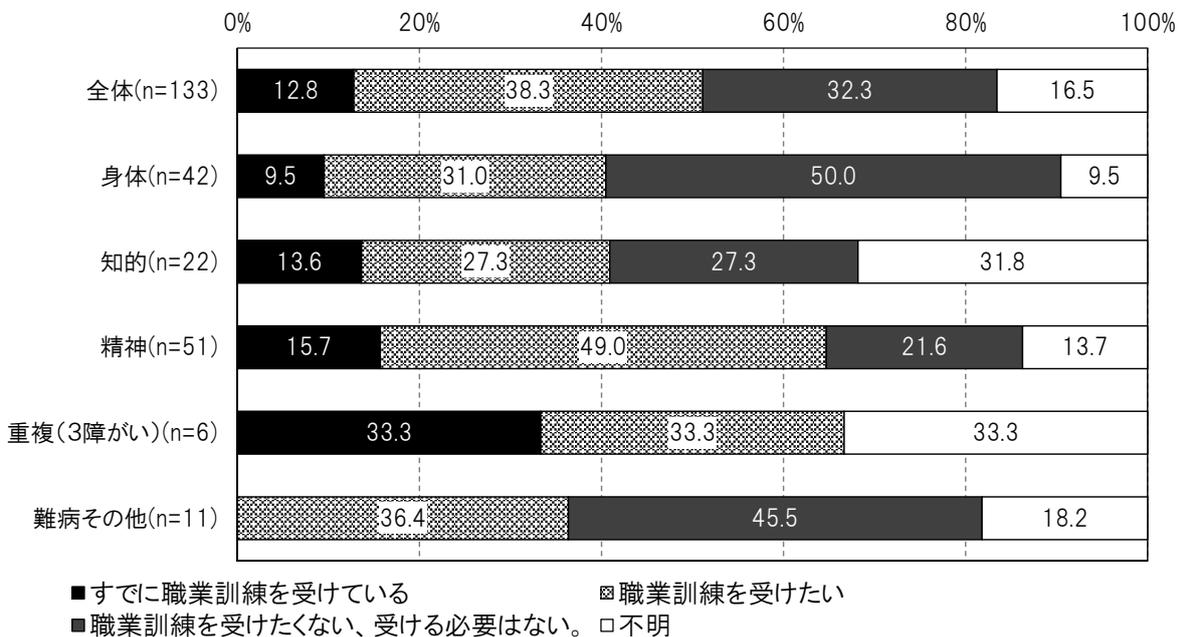


【問 36-3 で「1」を回答された方】

問 36-4 収入を得る仕事をするために、職業訓練などを受けたいと思いますか。（○印は1つ）

職業訓練を受けたいかは、全体で「すでに職業訓練を受けている」が12.8%、「職業訓練を受けたい」が38.3%、「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない」が32.3%となっています。

障がい別で見ると、すべての障がいでは「職業訓練を受けたい」が約3割で、特に「精神」では約5割と多くなっています。

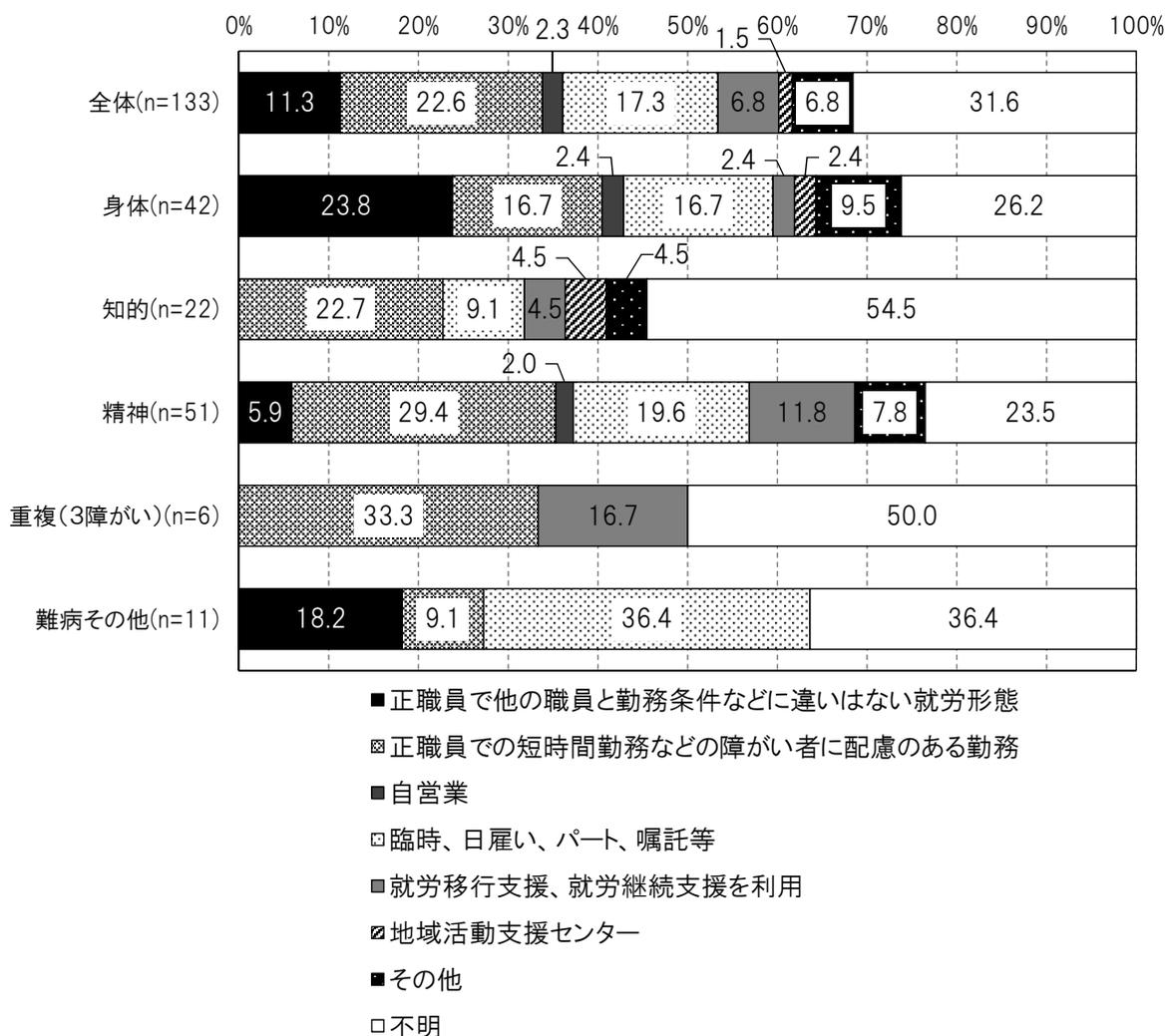


【問 36-3 で「1」を回答された方】

問 36-5 どのような仕事の形態を希望しますか。(○印は1つ)

希望する仕事形態について、全体では「正職員での短時間勤務など障がい者に配慮のある勤務」が22.6%と最も多く、次いで「臨時、日雇い、パート、嘱託等」が17.3%となっています。

障がい別で見ると、「身体」では「正職員で他の職員と勤務条件などに違いはない就労形態」が約2割、「知的」「精神」「重複(3障がい)」では「正職員での短時間勤務などの障がい者に配慮のある勤務」が2割以上、「難病その他」では「臨時、日雇い、パート、嘱託等」が3割と多くなっています。



【問36で「3」～「6」のいずれかを回答された方】

問36-6 通園・通学して困ることはありますか。(あてはまるものすべてに○印)

通園・通学で困っていることについて、全体では「特に困っていることはない」が59.8%と最も多くなっています。困っていることでは、「通うのが大変」が17.4%、「先生の理解や配慮が足りない」が10.9%と多くなっています。

障がい別でも同様の傾向が見られます。また、「精神」では「まわりの生徒たちの理解が得られない」が4割と多くなっています。

(単位：%)

	通うのが大変	トイレなどの施設が整っていない	介助体制が十分でない	先生の理解や配慮が足りない	まわりの生徒たちの理解が得られない	友だちができない	通常の学級に入れてもらえない	医療的なケアが受けられない	スクールカウンセラーなどの相談体制が十分ではない	特に困っていることはない	不明
全体 (n=92)	17.4	2.2	6.5	10.9	7.6	6.5	2.2	0.0	4.3	59.8	6.5
身体 (n=10)	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0
知的 (n=59)	13.6	3.4	5.1	11.9	5.1	5.1	0.0	0.0	3.4	62.7	8.5
精神 (n=7)	28.6	0.0	14.3	14.3	42.9	28.6	0.0	0.0	14.3	42.9	0.0
重複(3障がい) (n=9)	22.2	0.0	22.2	0.0	0.0	11.1	22.2	0.0	11.1	44.4	11.1
難病その他 (n=6)	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0

※「特に困っていることはない」「不明」を除く上位1項目に着色

問 37 障がい者の就労支援としてどのようなことが必要だと思いますか。(〇印は3つまで)

障がい者の就労支援として必要なことについて、全体では「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」が26.8%と最も高く、次いで「勤務時間や日数が体調に合わせて変更できる」が21.2%となっています。

障がい別でも同様の傾向となっています。また、「重複(3障がい)」では「通勤手段の確保」の割合が3割と多くなっています。

(単位：%)

	通勤手段の確保	通勤先におけるバリアフリーなどの配慮	短時間勤務や勤務日数の配慮	勤務時間や日数が体調に合わせて変更できる	在宅勤務の充実	職場の上司や同僚に障がいの理解があること	職場で介助や援助が受けられること	通院時間の確保や服薬管理などへの配慮	就労後のフォローなど職場と支援機関の連携	企業ニーズに合った就労訓練	仕事についての職場外の相談対応、支援	その他	不明
全体 (n=1,525)	16.3	9.0	16.9	21.2	12.7	26.8	10.7	6.0	10.0	4.7	6.9	3.3	42.0
身体 (n=897)	14.7	11.4	12.5	14.9	11.4	18.7	8.2	5.2	4.3	3.8	4.6	3.8	50.9
知的 (n=160)	25.0	4.4	15.0	21.3	5.6	51.3	27.5	5.0	29.4	5.6	16.9	1.3	21.3
精神 (n=240)	13.8	2.1	34.2	43.8	22.5	45.0	6.3	9.6	17.9	7.9	12.1	5.4	19.2
重複(3障がい) (n=39)	33.3	12.8	15.4	12.8	5.1	28.2	30.8	12.8	15.4	0.0	5.1	0.0	46.2
難病その他 (n=142)	18.3	10.6	19.7	31.0	15.5	26.8	9.9	6.3	10.6	4.9	3.5	0.7	36.6

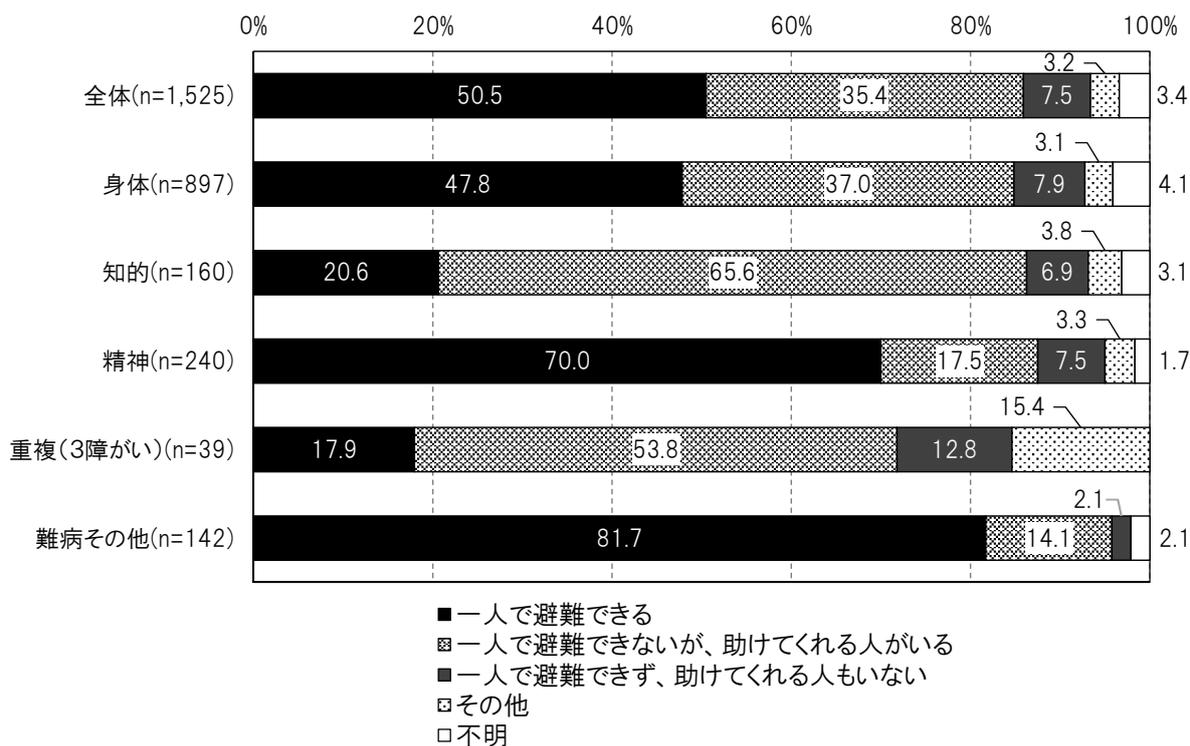
※「不明」を除く上位2項目に着色

8 災害時の対応について

問38 火事や地震、豪雨等の災害時に、あなた（宛名のご本人）は一人で避難できますか。（○印は1つ）

災害時の避難について、全体では「一人で避難できる」が50.5%と最も多く、次いで「一人で避難できないが、助けてくれる人がいる」が35.4%、「一人で避難できず、助けてくれる人もいない」が7.5%となっています。

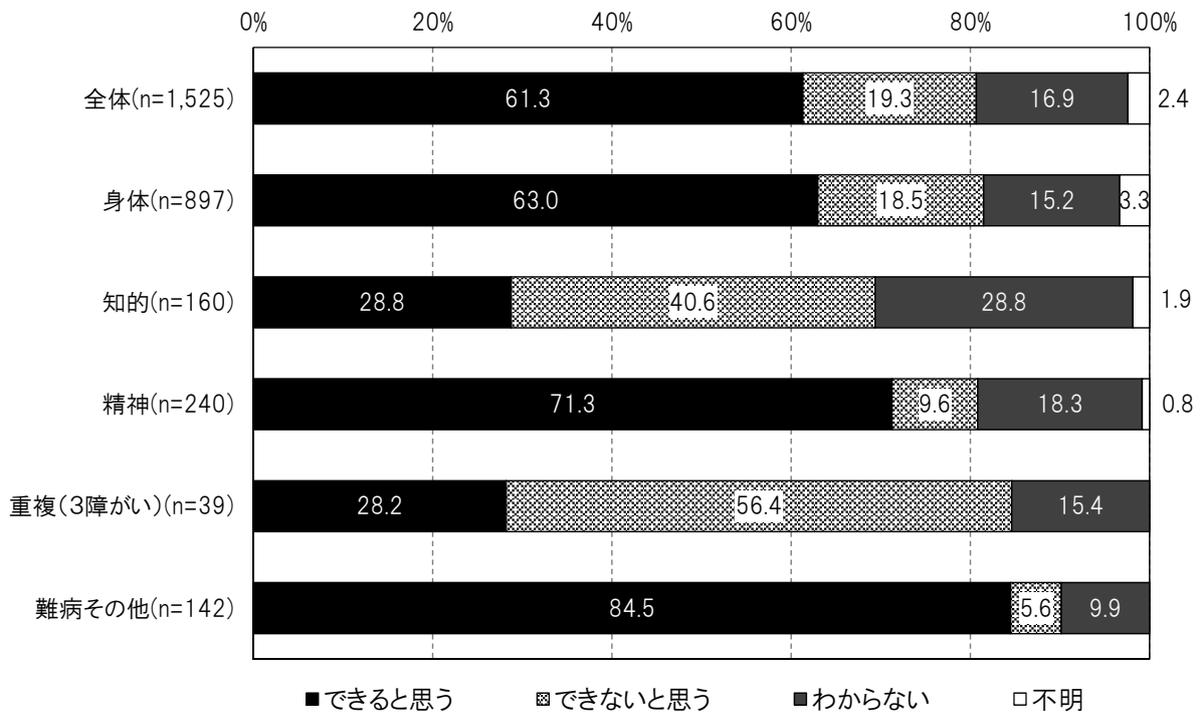
障がい別で見ると、「難病その他」では「一人で避難できる」が8割以上と多くなっています。



**問 39 火事などの非常時に、あなた（宛名のご本人）は周囲の人に知らせることができますか。
（〇印は1つ）**

非常時に周囲の人に知らせることができるかについて、全体では「できると思う」が61.3%、「できないと思う」が19.3%、「わからない」が16.9%となっています。

障がい別でみると、「身体」「精神」「難病その他」では「できると思う」が6割以上となっていますが、「知的」「重複（3障がい）」では3割以下となっています。



問 40 災害時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

災害時に困ることについて、全体では「投薬や治療が受けられない」が 51.1%と最も高く、次いで「安全なところまで迅速に避難することができない」が 37.6%となっています。

「周囲とコミュニケーションが取れない」では、「知的」で5割以上と多くなっています。

(単位：%)

	投薬や治療が受けられない	補装具の使用が困難になる	補装具や日常生活用具の入手ができなくなる	救助を求めることができない	安全なところまで迅速に避難することができない	被害状況、避難場所などの情報が入手できない	周囲とコミュニケーションが取れない	介護者がいない	その他	特にない	不明
全体 (n=1,525)	51.1	9.5	10.3	14.2	37.6	22.8	21.0	7.1	3.9	13.5	5.3
身体 (n=897)	50.6	12.6	12.5	11.6	42.5	19.3	12.3	8.0	3.2	13.7	6.9
知的 (n=160)	22.5	1.9	3.8	36.3	48.1	41.9	53.8	5.6	3.8	14.4	3.8
精神 (n=240)	65.4	2.5	6.3	10.4	17.1	25.4	35.4	5.4	6.3	10.8	0.8
重複(3障がい) (n=39)	48.7	30.8	28.2	46.2	69.2	43.6	48.7	17.9	12.8	2.6	2.6
難病その他 (n=142)	67.6	2.8	2.8	2.1	19.7	11.3	4.2	1.4	2.8	18.3	3.5

※「特にない」「不明」を除く上位2項目に着色

問 40-1 避難所での生活で困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

避難所での生活で困ることについて、全体では「プライバシーが守られていないこと」が38.0%と最も高く、次いで「移動や歩行が困難であること」が29.6%となっています。

「情報の入手や意思疎通が難しいこと」では、「知的」が5割以上と多くなっています。

(単位：%)

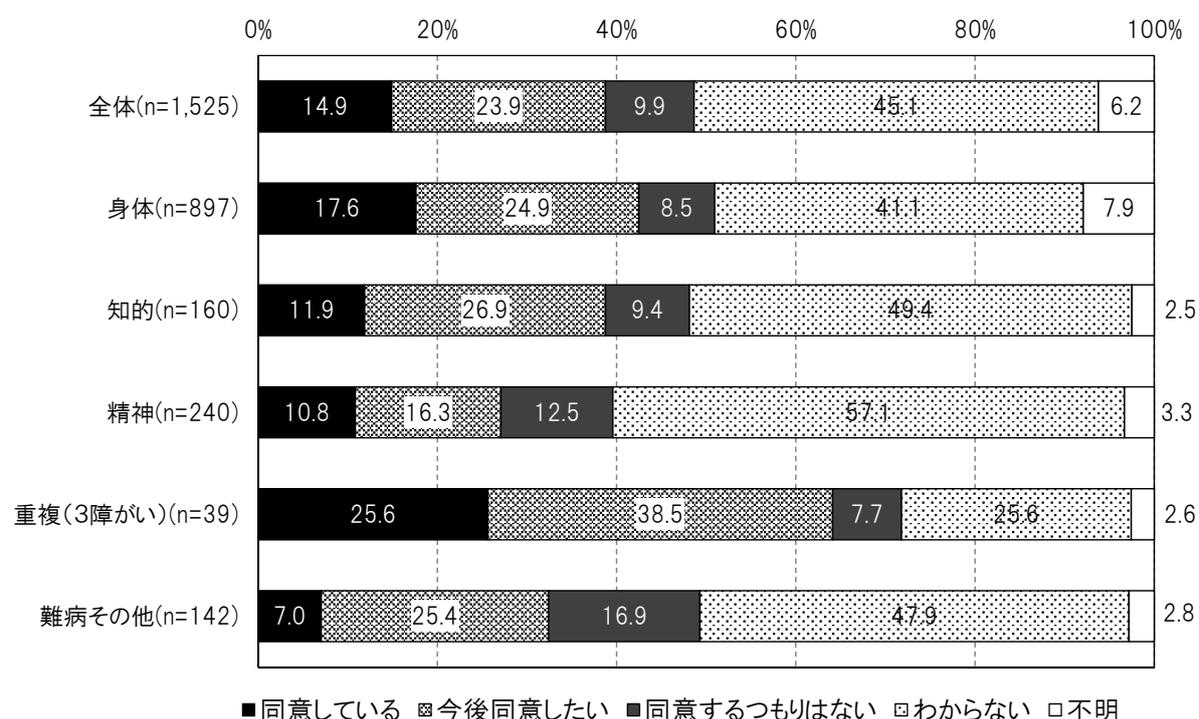
	一般のトイレが利用できないこと	ベッドがないと生活できないこと	プライバシーが守られていないこと	情報の入手や意思疎通が難しいこと	通常の食事ができないこと	移動や歩行が困難であること	身体の清潔保持が難しいこと	周囲の理解と支援が得られないこと	その他	不明
全体 (n=1,525)	25.4	19.7	38.0	22.8	21.2	29.6	28.8	19.0	8.7	13.7
身体 (n=897)	31.2	27.3	32.7	17.6	20.5	40.1	30.4	11.7	7.2	15.3
知的 (n=160)	11.9	4.4	36.3	50.6	22.5	3.8	20.0	43.1	8.8	9.4
精神 (n=240)	18.8	5.8	54.6	24.6	21.3	7.5	27.1	32.5	13.3	8.8
重複(3障がい) (n=39)	28.2	15.4	35.9	48.7	30.8	64.1	43.6	30.8	10.3	10.3
難病その他 (n=142)	12.7	10.6	46.5	12.0	19.0	19.0	24.6	9.9	11.3	18.3

※「不明」を除く上位2項目に着色

問 41 自宅で生活し、災害が発生した時や発生する恐れがある時に自分や家族だけの力で避難することが難しく、手助けを必要とする人を対象に、避難行動支援制度があります。本人の個人情報を関係者に提供することに同意した方に個別避難計画を作り、その計画を支援者などと共有します。あなたは、この個人情報の提供に同意していますか。(〇印は1つ)

避難行動支援のための個人情報の提供について、全体では、「同意している」が14.9%、「今度同意したい」が23.9%、「同意するつもりはない」が9.9%、「わからない」が45.1%となっています。

障がい別で見ると、「重複(3障がい)」で「同意している」が25.6%と最も多くなっています。また、「重複(3障がい)」を除いては、「わからない」が4割以上と多くなっています。

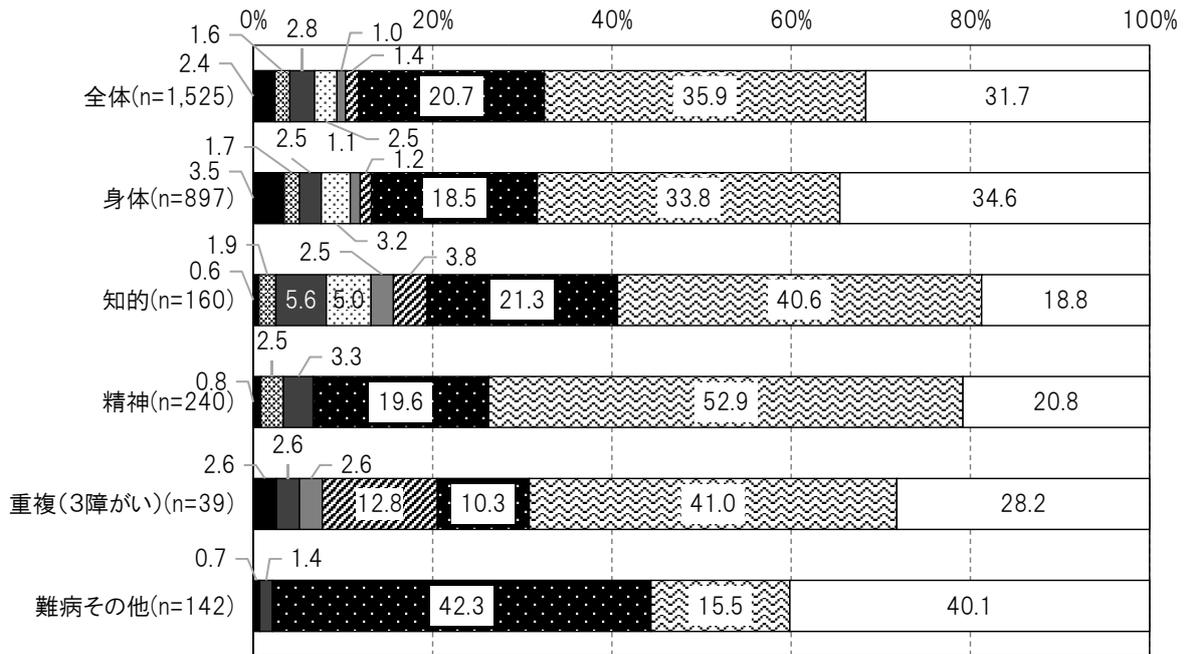


9 障がい福祉サービスについて

問 42 障がい区分の認定を受けている方は該当する区分に○印をつけてください。(○印は1つ)

障害区分の認定について、全体では「わからない」が35.9%と最も高く、次いで「不明(無回答)」が31.7%となっています。

「重複(3障がい)」では「区分6」が12.8%と他の障がいに比べ、多くなっています。



■区分1 ■区分2 ■区分3 ■区分4 ■区分5 ■区分6 ■認定を受けていない ■わからない □不明

問 43 蓮田市で実施している次の①～⑳のサービスについて、それぞれあてはまるものを選んでください。(それぞれ○印は1つ)

全体でみると、内容の認知度については、①居宅介護、⑦短期入所、⑳訪問入浴サービスが3割以上と高くなっています。利用状況については、⑩計画相談支援、㉑日常生活用具給付・貸与サービスの利用が多くなっています。今後の利用予定については、すべてのサービスにおいて利用中の人数を上回っています。

(単位：%)

	全体 (n=1,525)					身体 (n=897)			知的 (n=160)			精神 (n=240)			重複 (3障がい) (n=39)			難病その他 (n=142)		
	内容 認知	利用中		利用予定		内容 認知	利用 中	利用 予定	内容 認知	利用 中	利用 予定	内容 認知	利用 中	利用 予定	内容 認知	利用 中	利用 予定	内容 認知	利用 中	利用 予定
	(%)	(人)	(%)	(人)																
①居宅介護	36.8	4.4	67	10.0	152	39.5	5.9	11.8	29.4	0.6	5.6	35.8	4.2	10.0	35.9	2.6	12.8	35.9	1.4	4.9
②重度訪問介護	23.2	0.5	8	4.5	68	24.4	0.9	5.9	20.0	0.0	1.9	22.1	0.0	2.1	33.3	0.0	10.3	22.5	0.0	2.1
③同行援護	16.7	0.6	9	4.8	73	17.3	0.8	5.5	13.8	0.6	2.5	18.8	0.4	6.3	30.8	0.0	2.6	11.3	0.0	2.1
④行動援護	15.7	0.9	13	5.1	78	15.6	0.4	5.1	20.0	5.0	10.6	15.0	0.0	4.2	33.3	2.6	7.7	10.6	0.0	0.7
⑤重度障害者等包括支援	15.0	0.8	12	4.9	75	16.4	1.2	6.5	10.6	0.0	2.5	12.9	0.0	2.9	28.2	2.6	10.3	12.7	0.0	0.7
⑥施設入所支援	28.1	3.9	59	7.3	112	28.3	3.8	8.7	29.4	5.6	8.8	27.9	3.8	3.3	41.0	10.3	12.8	26.1	1.4	3.5
⑦短期入所	30.0	2.7	41	7.0	107	30.7	2.9	8.0	37.5	5.0	10.6	26.7	0.8	2.9	43.6	10.3	25.6	26.1	0.7	0.7
⑧療養介護	19.6	0.9	13	3.6	55	20.2	1.2	5.2	14.4	0.6	1.9	20.0	0.0	1.3	28.2	0.0	2.6	21.1	0.7	0.7
⑨生活介護	25.4	3.1	48	6.6	100	24.7	2.9	7.6	27.5	6.9	8.8	27.1	0.8	3.3	35.9	17.9	12.8	26.1	0.7	1.4
⑩自立生活援助	22.3	2.4	37	6.5	99	21.9	1.3	5.7	17.5	2.5	6.3	28.8	7.5	12.5	25.6	2.6	7.7	21.8	1.4	2.8
⑪共同生活援助 (グループホーム)	27.5	1.4	22	3.9	60	25.1	0.9	3.6	37.5	4.4	8.8	32.9	2.1	3.8	48.7	2.6	7.7	21.8	0.0	0.7
⑫自立訓練 (機能訓練、生活訓練)	24.8	3.5	53	7.0	106	23.0	3.8	7.6	26.3	3.1	6.3	32.1	3.8	7.5	38.5	2.6	12.8	21.8	2.8	2.8
⑬就労移行支援	21.5	1.2	18	4.5	69	14.6	0.7	2.5	29.4	1.9	5.6	43.8	3.3	12.1	43.6	2.6	7.7	15.5	0.0	2.8
⑭就労継続支援 (A型、B型)	19.6	2.8	43	5.6	85	11.1	0.1	2.1	37.5	13.1	13.1	43.8	6.7	14.6	43.6	12.8	12.8	10.6	0.0	2.1
⑮就労定着支援	13.2	2.2	33	5.3	81	9.1	0.2	2.0	18.8	7.5	13.8	25.0	7.1	14.2	30.8	2.6	7.7	9.9	0.0	2.1
⑯計画相談支援	16.8	9.2	141	11.7	179	13.3	5.0	8.5	38.1	38.8	31.9	18.8	9.2	16.3	30.8	28.2	25.6	10.6	0.0	1.4
⑰地域移行支援	7.1	0.4	6	4.1	63	6.9	0.2	3.9	5.0	0.6	4.4	7.9	1.3	6.3	12.8	0.0	10.3	7.7	0.0	1.4
⑱地域定着支援	6.9	0.3	5	5.0	76	6.5	0.0	4.3	6.3	0.6	6.9	8.3	1.7	8.8	12.8	0.0	10.3	7.0	0.0	0.7
⑲手話通訳者派遣事業	12.5	0.5	8	1.0	16	12.8	0.9	1.8	8.8	0.0	0.0	14.6	0.0	0.0	23.1	0.0	0.0	9.9	0.0	0.0
⑳日常生活用具給付・ 貸与サービス	22.6	6.2	95	10.2	156	28.3	9.1	14.7	10.6	0.0	1.9	16.3	0.4	2.5	30.8	17.9	25.6	13.4	1.4	1.4
㉑移動支援サービス	19.0	2.9	44	8.1	124	18.2	2.7	8.6	30.0	7.5	13.1	17.9	1.3	5.8	35.9	12.8	20.5	13.4	0.0	1.4
㉒訪問入浴サービス	31.1	1.4	21	4.3	66	33.1	1.8	6.2	24.4	0.6	0.6	30.0	0.0	1.3	41.0	7.7	5.1	31.0	0.7	2.8
㉓日中一時支援サービス	15.8	1.6	25	5.9	90	15.6	1.2	6.6	19.4	3.8	8.1	13.8	1.3	5.4	30.8	10.3	10.3	15.5	0.7	0.7
㉔自動車運転免許取得費 の助成	10.8	0.3	5	2.7	41	11.9	0.6	1.8	6.9	0.0	3.1	10.0	0.0	7.1	25.6	0.0	2.6	7.0	0.0	0.7
㉕自動車改造費の助成	15.3	0.8	12	2.7	41	18.4	1.3	3.5	7.5	0.0	0.6	12.5	0.0	2.1	25.6	0.0	0.0	9.9	0.0	1.4

10 障がい児福祉について

【障がい児（18歳未満）を養育している方のみお答えください。】

問 44 お子さんの障がいや発達課題などに気づいたきっかけは何でしたか。（あてはまるものすべてに○印）

障がいや発達課題に気づいたきっかけについて、全体では「病院などの医療機関による受診」「あなたを含む家族による気づき」が46.4%と最も多くなっています。

障がい別でも同様の傾向が見られます。また、「精神」では「保育園・幼稚園の助言」も5割と多くなっています。

（単位：％）

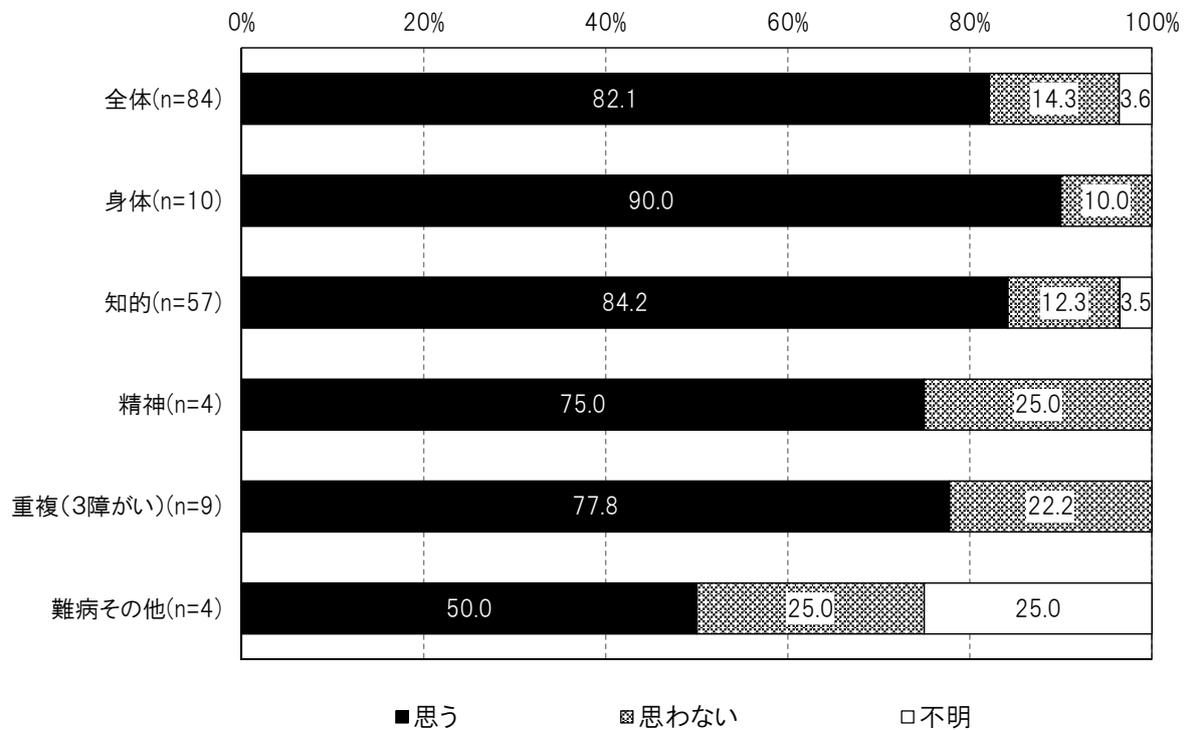
	病院などの医療機関による受診・健診	蓮田市が実施する健診	小学校で実施する就学時健康診断	保育園・幼稚園の助言	学校の助言	あなたを含む家族による気づき	その他	不明
全体 (n=84)	46.4	13.1	1.2	13.1	7.1	46.4	9.5	3.6
身体 (n=10)	80.0	10.0	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0	0.0
知的 (n=57)	36.8	17.5	1.8	15.8	10.5	52.6	5.3	3.5
精神 (n=4)	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
重複(3障がい) (n=9)	77.8	0.0	0.0	0.0	0.0	44.4	11.1	0.0
難病その他 (n=4)	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0

※「不明」を除く上位1項目に着色

問 45 お子さんの障がいや発達課題などには早く気づけたと思いますか。(〇印は1つ)

障がいや発達課題へ早く気づけたかについて、全体では「思う」が82.1%、「思わない」が14.3%となっています。

障がい別で見ると、すべての障がいで「思う」が5割以上で多くなっています。



問 46 幼稚園・学校などに望むことはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○印)

幼稚園・学校などに望むことについて、全体では「能力や障がいの状況にあった指導」が77.4%と最も高く、次いで「障がいなどへの、教師や児童・生徒の理解と配慮」が72.6%となっています。

(単位：%)

	送迎など、通園・通学のサポート	能力や障がいの状況にあった指導	生活訓練や職業訓練など、専門的な指導	投薬や喀痰吸引など、医療的なケア	福祉サービス事業所など、外部の支援機関との連携	障がいなどへの、教師や児童・生徒の理解と配慮	特に望むことはない	その他	不明
全体 (n=84)	44.0	77.4	51.2	11.9	60.7	72.6	3.6	3.6	6.0
身体 (n=10)	70.0	70.0	40.0	50.0	40.0	70.0	10.0	10.0	10.0
知的 (n=57)	40.4	82.5	54.4	3.5	63.2	71.9	3.5	3.5	5.3
精神 (n=4)	25.0	100.0	50.0	0.0	75.0	100.0	0.0	0.0	0.0
重複(3障がい) (n=9)	66.7	77.8	66.7	33.3	88.9	66.7	0.0	0.0	0.0
難病その他 (n=4)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	25.0

※「不明」を除く上位1項目に着色

問 47 蓮田市で実施している次の①～⑧のサービスについて、それぞれあてはまるものを選んでください。(それぞれ○印は1つ)

全体で見ると、内容の認知度では③放課後等デイサービスが8割以上で高くなっており、利用状況では、③放課後等デイサービス④障害児相談支援が多くなっています。今後の利用予定では、現在利用のない⑤居宅訪問型児童発達支援や⑦福祉型障害児入所施設においても、利用意向が見受けられます。

(単位：%)

	全体 (n=84)					身体 (n=10)			知的 (n=57)			精神 (n=4)			重複 (3障がい) (n=9)			難病その他 (n=4)		
	内容 認知	利用中 (%)	利用中 (人)	利用予定 (%)	利用予定 (人)	内容 認知	利用 中	利用 予定	内容 認知	利用 中	利用 予定	内容 認知	利用 中	利用 予定	内容 認知	利用 中	利用 予定	内容 認知	利用 中	利用 予定
①児童発達支援	66.7	22.6	19	19.0	16	80.0	20.0	20.0	68.4	21.1	15.8	50.0	25.0	25.0	77.8	44.4	44.4	0.0	0.0	0.0
②医療型児童発達支援	29.8	1.2	1	4.8	4	30.0	0.0	20.0	31.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	44.4	11.1	22.2	0.0	0.0	0.0
③放課後等デイサービス	83.3	58.3	49	61.9	52	80.0	40.0	50.0	89.5	63.2	66.7	100.0	75.0	75.0	77.8	66.7	66.7	0.0	0.0	0.0
④障害児相談支援	58.3	45.2	38	51.2	43	60.0	50.0	60.0	57.9	45.6	50.9	100.0	75.0	75.0	66.7	44.4	55.6	0.0	0.0	0.0
⑤居宅訪問型児童発達支援	11.9	0.0	0	7.1	6	10.0	0.0	30.0	12.3	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	22.2	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0
⑥保育所等訪問支援	27.4	1.2	1	8.3	7	20.0	0.0	20.0	33.3	1.8	5.3	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0
⑦福祉型障害児入所施設	22.6	0.0	0	6.0	5	20.0	0.0	20.0	24.6	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0
⑧医療型障害児入所施設	27.4	6.0	5	6.0	5	60.0	40.0	40.0	22.8	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	33.3	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0

問 48 お子さんを主にサポートしている保護者の方自身が、特に支援して欲しいことは何ですか。(〇印は3つまで)

保護者の方自身が支援して欲しいことについて、全体では「保護者が急な病気などにより、介助・支援ができないときの一時的な見守りや介助」が 60.7%と最も多く、次いで「学校卒業後も生涯を通じて学習ができる環境・機会の整備」が 48.8%となっています。

(単位：%)

	カウンセリングなど、家族の心理的サポート	お子さんの通院・通所時における、兄弟姉妹の託児	経済的支援	保護者の就労支援	※在宅で介護する家族が一時的に介護から解放され、休息がとれるようにする支援 レスパイトケア	障がいや発達に関すること、福祉サービスなどについて学び考える機会	保護者が急な病気などにより、介助・支援できないときの一時的な見守りや介助	学校卒業後も生涯を通じて学習ができる環境・機会の整備	特にない	その他	不明
全体 (n=84)	17.9	14.3	45.2	22.6	22.6	26.2	60.7	48.8	0.0	4.8	3.6
身体 (n=10)	30.0	30.0	30.0	20.0	40.0	20.0	80.0	40.0	0.0	0.0	0.0
知的 (n=57)	14.0	7.0	47.4	21.1	21.1	31.6	56.1	56.1	0.0	7.0	3.5
精神 (n=4)	50.0	25.0	75.0	25.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
重複(3障がい) (n=9)	22.2	33.3	44.4	44.4	33.3	22.2	77.8	44.4	0.0	0.0	0.0
難病その他 (n=4)	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0

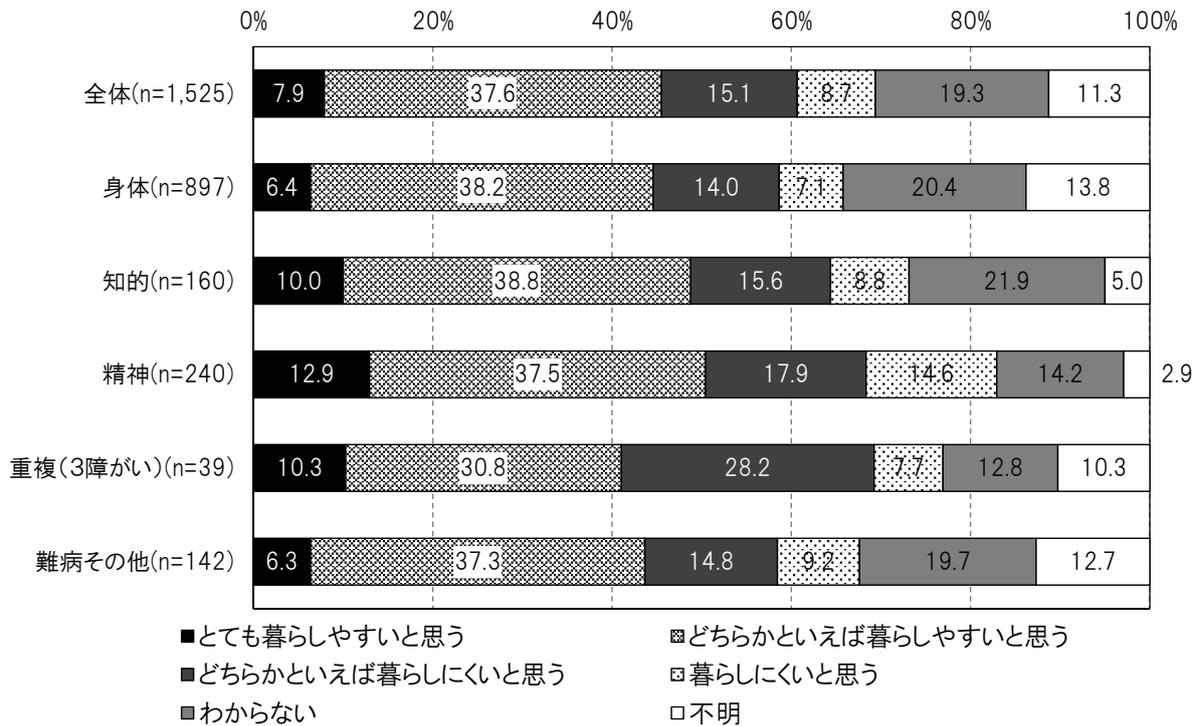
※「不明」を除く上位 1 項目に着色

11 蓮田市の障がい者施策等について

問 49 蓮田市は暮らしやすいですか。(〇印は1つ)

蓮田市の暮らしやすさについて、全体では「暮らしやすいと思う(とても+どちらかといえば)」が45.5%、「暮らしにくいと思う(どちらかといえばを含む)」が23.8%となっています。

障がい別では、「暮らしやすいと思う(とても+どちらかといえば)」がすべての障がいで4割以上となっています。



【問 49 で「3」または「4」を回答された方】

問 49-1 どういったところが暮らしにくいと感じますか。(あてはまるものすべてに○印)

暮らしにくい点について、全体では「交通機関が利用しにくい」が 41.8%と最も多く、次いで「生活費や医療費などにお金がかかる」が 35.2%となっています。

障がい別で見ると、「知的」では「障がいのある方の働く場所がない」が約7割、「重複（3障がい）」で「リハビリ施設が少ない」「通所できる施設が少ない」が約6割と多くなっています。

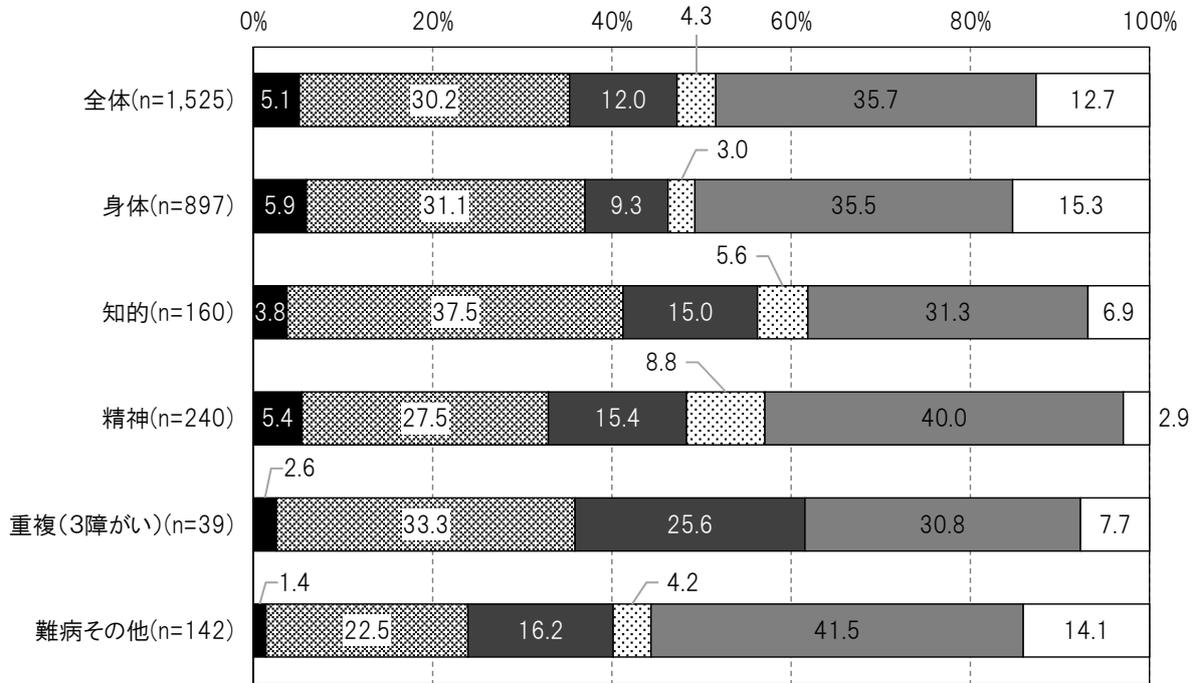
(単位：%)

	地域住民の理解や協力が ない	公共施設が利用し にくい	福祉施設・医療機 関が利用しにくい	交通機関が利用し にくい	段差や道幅の問題 で外出しにくい	買物や外での食 事が不便	在宅サービスが少 ない	リハビリ施設が少 ない	通所できる施設が 少ない	相談できる施設が 少ない	障がいのある方の 働く場所が少ない	生活費や医療費な どにお金がかかる	その他	不明
全体 (n=364)	17.0	29.9	34.9	41.8	25.3	31.6	9.1	23.9	25.0	24.2	27.7	35.2	10.4	1.9
身体 (n=190)	9.5	28.9	33.7	46.3	30.0	36.3	6.8	26.3	16.3	13.7	16.8	24.2	10.0	2.1
知的 (n=39)	33.3	28.2	56.4	33.3	12.8	20.5	10.3	20.5	59.0	48.7	69.2	17.9	5.1	0.0
精神 (n=78)	35.9	30.8	28.2	34.6	12.8	30.8	9.0	15.4	29.5	38.5	37.2	64.1	15.4	2.6
重複(3障がい) (n=14)	0.0	21.4	50.0	28.6	50.0	14.3	28.6	57.1	57.1	50.0	42.9	28.6	7.1	0.0
難病その他 (n=34)	2.9	41.2	26.5	44.1	32.4	26.5	8.8	17.6	11.8	14.7	20.6	50.0	8.8	2.9

※「不明」を除く上位2項目に着色

問 50 およそ5～10年前と比べて、福祉・教育・雇用・まちづくりなど、障がいのある方に対する行政の取り組みは進んでいると思いますか。(〇印は1つ)

障がいのある方に対する行政の取り組みについて、全体では「改善されている(かなり+少しずつ)」が35.3%、「改善されていない(あまりを含む)」が16.3%となっており、障がい別でも同様の傾向が見られます。



- かなり改善されている
- あまり改善されていない
- わからない
- 少しずつ改善されていると思う
- 改善されていない
- 不明

問51 障がい福祉サービス（ホームヘルプ、施設や福祉作業所の利用など）を利用しやすくするために、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○印）

障がい福祉サービスを利用しやすくするために必要なことについて、全体では「どのようなサービスがあるのか詳しい情報を知りたい」が47.0%と最も多く、次いで「申請や手続きの方法をわかりやすくしてほしい」が34.7%となっています。

障がい別で見ると、「重複（3障がい）」では「障がいの状態に応じた方法で情報を提供して欲しい」が5割と多くなっています。

（単位：％）

	どのようなサービスがあるのか詳しい情報を知りたい	申請や手続きの方法をわかりやすくしてほしい	障がいの状態に応じた方法で情報を提供してほしい	自分に適切なサービスをアドバイスしてほしい	必要なときにすぐに利用できるようにしてほしい	サービスの回数や時間を増やしてほしい	身近な場所で通所サービスが受けられるようにしてほしい	施設の職員などの、技術・知識を向上してほしい	ホームヘルパーなどの数を増やしてほしい	サービスの費用負担を軽減してほしい	自分に合った必要な福祉サービスがない	その他	特にない	不明
全体 (n=1,525)	47.0	34.7	30.0	28.8	30.0	9.9	13.8	10.1	6.1	18.4	8.4	2.6	12.2	17.2
身体 (n=897)	42.9	31.0	26.1	24.0	26.0	9.3	11.1	7.4	6.5	15.7	5.2	2.2	13.8	20.8
知的 (n=160)	54.4	41.3	45.0	35.0	43.1	12.5	25.0	22.5	4.4	23.8	9.4	3.1	8.8	8.8
精神 (n=240)	57.9	45.4	39.2	45.0	33.3	12.9	15.0	14.2	6.7	22.9	18.8	3.8	11.3	5.4
重複(3障がい) (n=39)	46.2	43.6	53.8	43.6	48.7	10.3	35.9	17.9	7.7	25.6	20.5	12.8	5.1	12.8
難病その他 (n=142)	49.3	31.7	19.7	23.9	31.7	7.0	10.6	5.6	3.5	20.4	7.7	0.0	12.0	19.7

※「不明」を除く上位2項目に着色

問 52 次の①～⑬の項目で、マークの意味を知っているものについて、○印を○印記入欄にご記入ください。また、マークの使用状況等に対するご意見がございましたら、それぞれの自由記入欄へ意見をご記入ください。

障がいのある方に関連するマークの認知度について、全体では「①障害者のための国際シンボルマーク」が77.1%と最も高く、次いで「②身体障害者標識（身体障害者マーク）」が53.0%、「④盲人のための国際シンボルマーク」が46.0%となっています。

(単位：%)

	① 障害者のための国際シンボルマーク	② 身体障害者標識（身体障害者マーク）	③ 聴覚障害者標識	④ 盲人のための国際シンボルマーク	⑤ 耳マーク	⑥ ヒアリンググループマーク	⑦ ほじょ犬マーク	⑧ オストメイトマーク	⑨ ハート・プラスマーク	⑩ 「白杖SOSシングル」普及啓発シンボルマーク	⑪ ヘルプマーク	⑫ 手話マーク	⑬ 筆談マーク
全体 (n=1,525)	77.1	53.0	17.8	46.0	10.8	2.7	38.0	21.9	18.3	3.0	40.4	12.6	6.9
身体 (n=897)	77.0	54.7	16.6	48.4	10.0	2.8	33.0	20.1	20.1	2.6	31.9	13.2	7.2
知的 (n=160)	76.3	46.9	18.8	37.5	6.9	1.3	45.6	25.6	18.8	1.9	53.8	9.4	6.3
精神 (n=240)	77.5	45.0	20.0	40.0	16.3	1.7	43.3	24.6	11.3	3.3	55.8	10.0	5.0
重複(3障がい) (n=39)	87.2	56.4	25.6	51.3	23.1	10.3	59.0	41.0	33.3	7.7	61.5	20.5	17.9
難病その他 (n=142)	81.0	62.0	19.7	49.3	8.5	2.8	50.7	23.2	18.3	5.6	52.1	14.1	6.3

※上位2項目に着色

問 53 障がいのある方にとって暮らしやすいまちづくりのために、どのようなことを希望しますか。(〇印は5つまで)

障がいのある方にとって暮らしやすいまちづくりのために希望することは、全体では「何でも相談できる窓口を充実してほしい」が46.0%と最も高く、次いで「福祉に関する情報をわかりやすく提供してほしい」が42.0%となっており、障がい別でも同様の傾向となっています。

(単位：%)

	何でも相談できる窓口を充実してほしい	福祉に関する情報をわかりやすく提供してほしい	情報のバリアフリー化(手話や音声などによる情報の提供など)を推進してほしい	情報のバリアフリー化(手話や音声など)を推進してほしい	保護や福祉に関する専門的な人材を増やしてほしい	在宅で安心して生活するための福祉サービスを充実してほしい	医師や専門職員による訪問指導を充実してほしい	リハビリ、生活訓練などができる通所施設を充実してほしい	重度の障がいがある人のための入所施設を充実してほしい	障がいのある人に対する医療を充実してほしい	個性を伸ばす保育・教育を充実してほしい	障がいのある人の働く場所を充実してほしい	障がいのある人が集まり情報交換できる場を充実してほしい	障がいのある人の働き場を充実してほしい	電車やバスなどの公共交通機関のバリアフリー化を推進してほしい	道路・建物などのバリアフリー化を推進してほしい	利用しやすい公共施設の整備をしてほしい	グループホームの整備など、生活の場を充実してほしい	障がい者スポーツ教室などを充実してほしい	障がいのある人でも、ない人と一緒に楽しめるスポーツ教室などを充実してほしい	障がいのある人でも、ない人と一緒に楽しめる文化教室などを充実してほしい	障がい者スポーツ教室などを充実してほしい	障がい者スポーツ教室などを充実してほしい	その他	不明
全体(n=1,525)	46.0	42.0	6.2	16.1	27.5	11.0	15.5	10.3	17.4	6.0	17.8	8.2	14.2	15.3	11.2	8.3	5.0	5.6	6.7	17.2	3.9	14.4			
身体(n=897)	42.4	40.5	7.1	13.0	30.2	11.5	17.4	9.5	14.7	2.3	9.4	6.0	17.5	18.2	11.9	4.5	4.1	4.2	4.8	9.7	3.2	17.8			
知的(n=160)	50.0	41.9	3.8	18.8	15.6	5.0	15.0	21.9	16.9	20.0	42.5	15.0	5.6	3.8	11.3	33.8	15.0	14.4	22.5	38.8	1.9	7.5			
精神(n=240)	57.5	46.7	4.2	27.5	25.0	12.1	8.3	5.8	27.5	9.2	35.4	15.0	5.4	5.4	10.0	7.1	3.3	8.3	6.7	29.2	7.5	5.0			
重複(3障がい)(n=39)	41.0	48.7	7.7	33.3	46.2	10.3	33.3	28.2	33.3	25.6	25.6	12.8	10.3	15.4	7.7	12.8	10.3	2.6	5.1	25.6	5.1	7.7			
難病その他(n=142)	50.0	43.7	5.6	11.3	21.1	12.7	12.7	5.6	16.9	4.9	11.3	3.5	18.3	27.5	10.6	4.9	2.1	0.7	3.5	19.0	2.1	13.4			

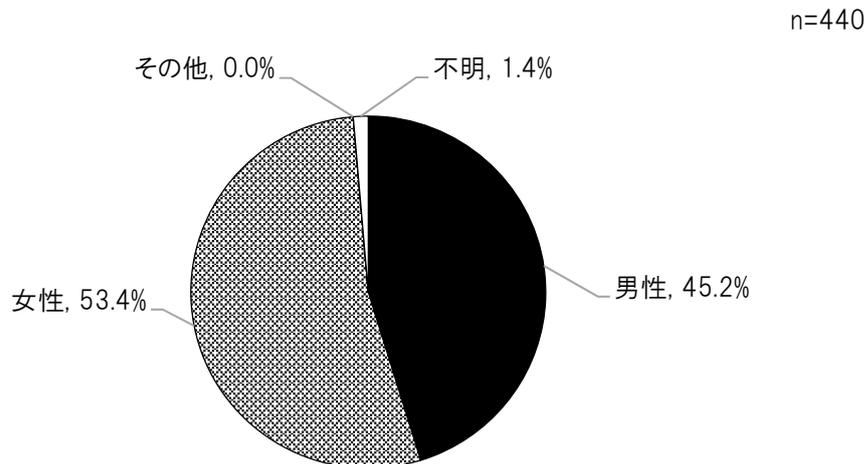
※「不明」を除く上位2項目に着色

2. その他の市民へのアンケート調査結果

1 あなたとご家族のことについて

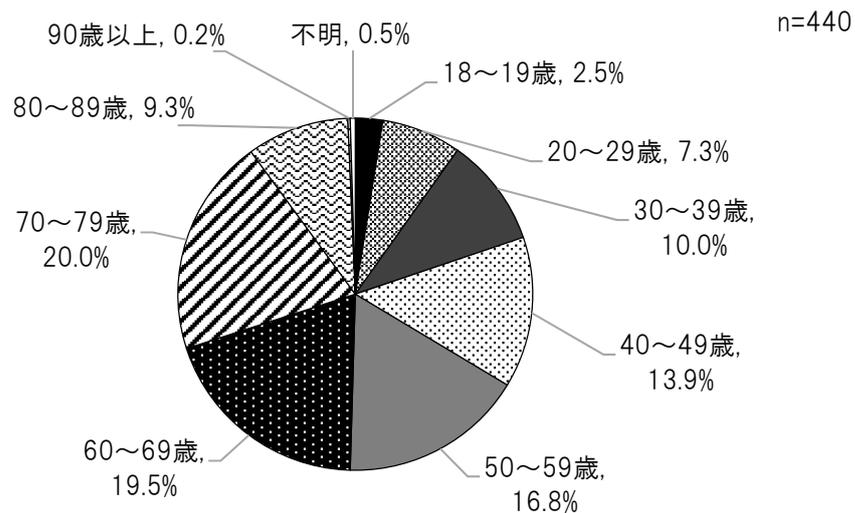
問1 あなた（宛名のご本人）の性別をお答えください。（○印は1つ）

性別は、「男性」が45.2%、「女性」が53.4%となっています。



問2 年齢をお答えください。（○印は1つ）

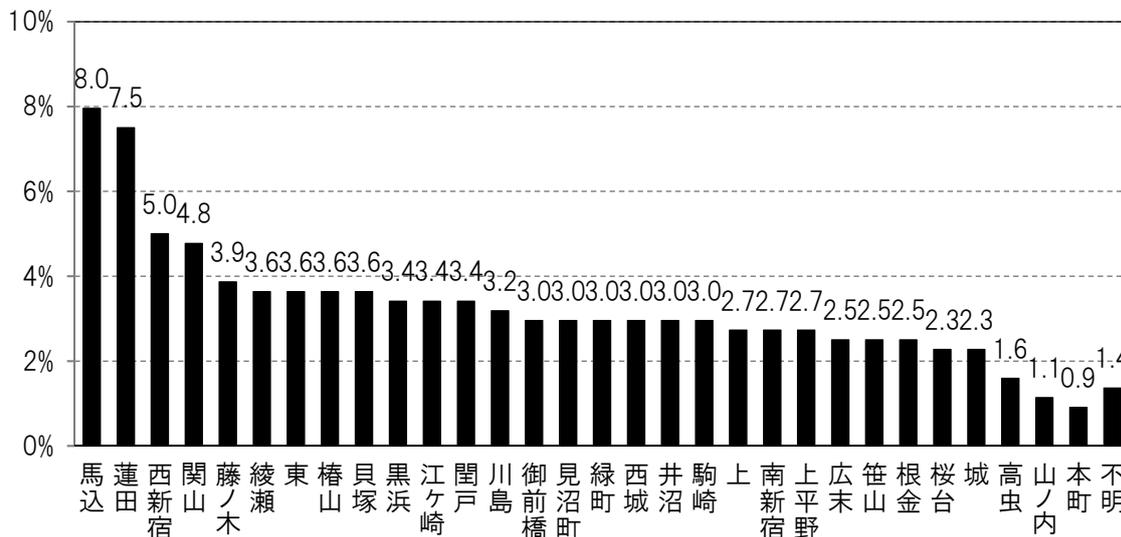
年齢は、「70～79歳」は20.0%と最も多く、次いで「60～69歳」が19.5%、「50～59歳」が16.8%となっています。



問3 お住まいの地区はどちらですか。(〇印は1つ)

居住地区は、「馬込」が8.0%と最も多く、次いで「蓮田」が7.5%、「西新宿」が5.0%となっています。

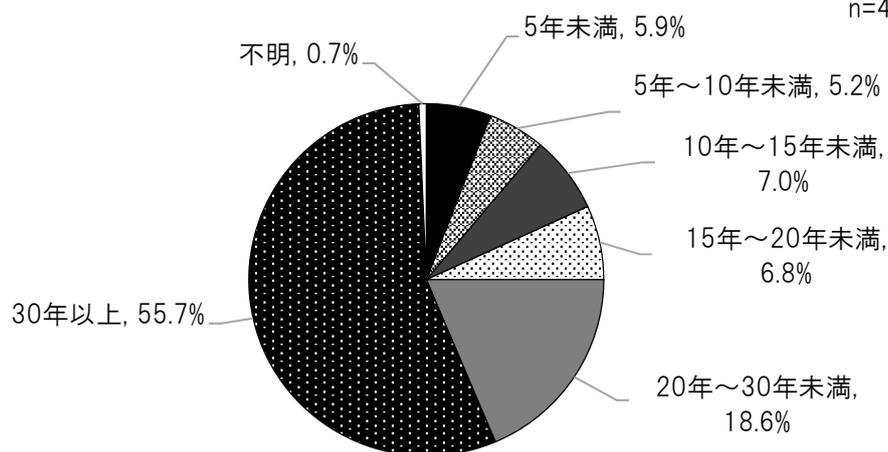
n=440



問4 蓮田市にお住まいになって何年になりますか。以前に住んでいて、再び転居してきた場合は、以前住んでいた期間を含め、通算してお答えください。(〇印は1つ)

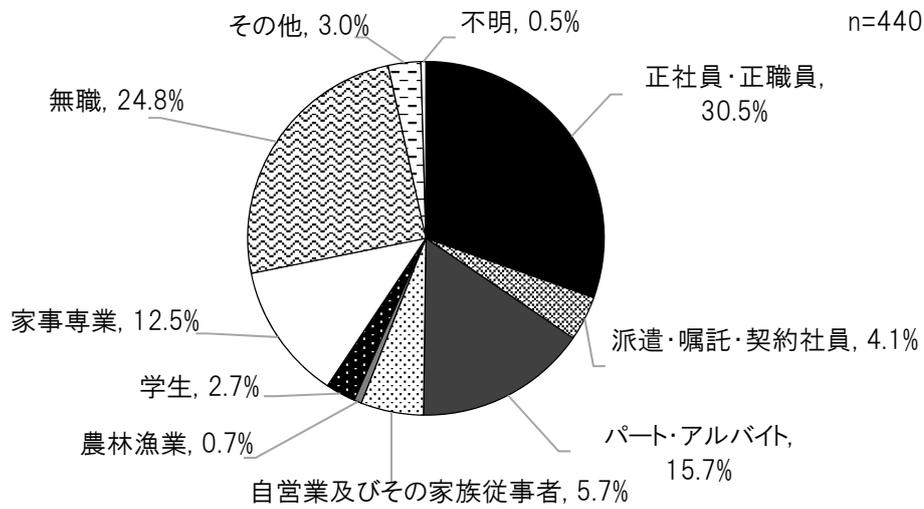
居住年数は、「30年以上」が55.7%と最も多く、次いで「20年～30年未満」が18.6%、「10年～15年未満」が7.0%となっています。

n=440



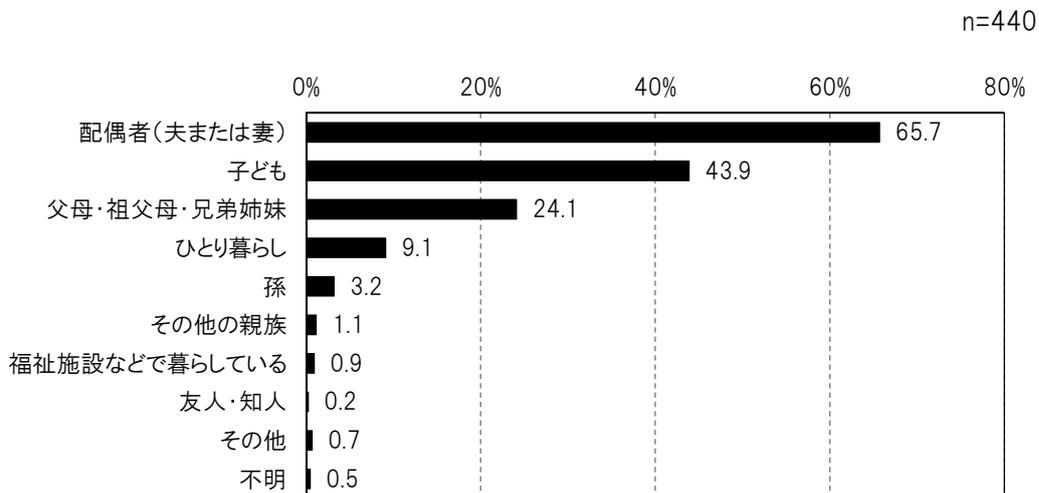
問5 現在の職業をお答えください。(〇印は1つ)

職業は、「正社員・正職員」が30.5%と最も多く、次いで「無職」が24.8%、「パート・アルバイト」が15.7%となっています。



問6 現在、どなたとお暮らしですか。(あてはまるものすべてに〇印)

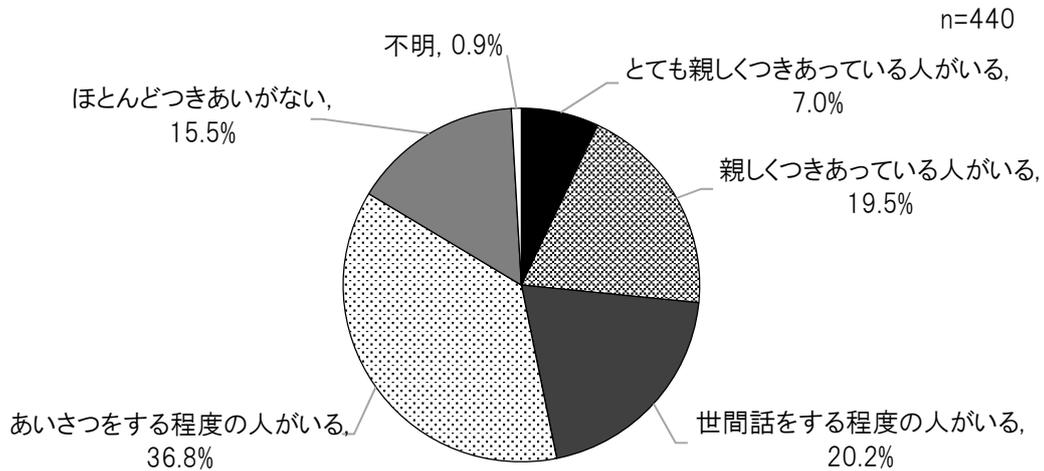
現在一緒に暮らしている人は、「配偶者(夫または妻)」が65.7%と最も多く、次いで「子ども」が43.9%、「父母・祖父母・兄弟姉妹」が24.1%となっています。



2 障がいへの関心について

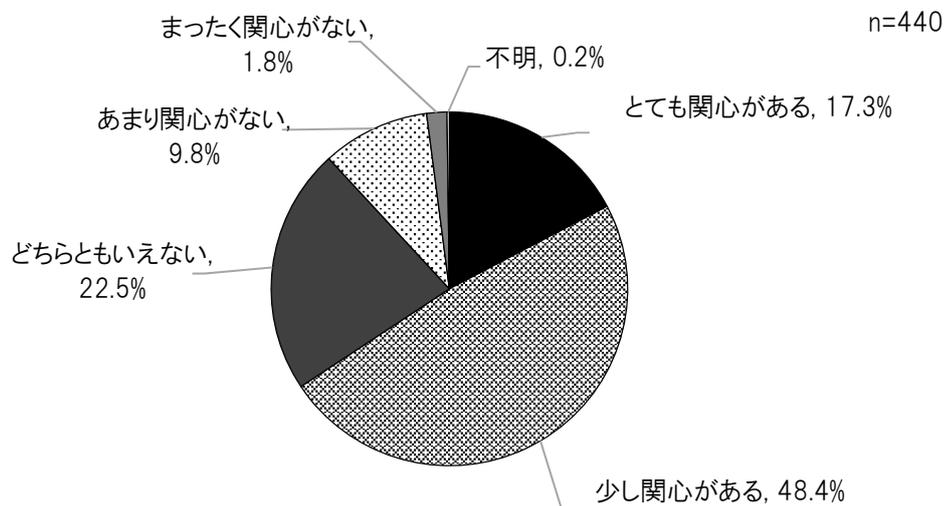
問7 あなたの日ごろ、地域や隣近所の方々との付き合いは、どの程度ですか。(〇印は1つ)

地域や隣近所の方々との付き合いの程度は、「あいさつをする程度の人がいる」が36.8%と最も多く、次いで「世間話をする程度の人がいる」が20.2%、「親しくつきあっている人がある」が19.5%となっています。



問8 あなたは障がいや障がいのある方の福祉について関心がありますか。(〇印は1つ)

障がい福祉への関心は、「少し関心がある」が48.4%と最も多くなっており、「関心がある(とても+少し)」割合は65.7%となっています。

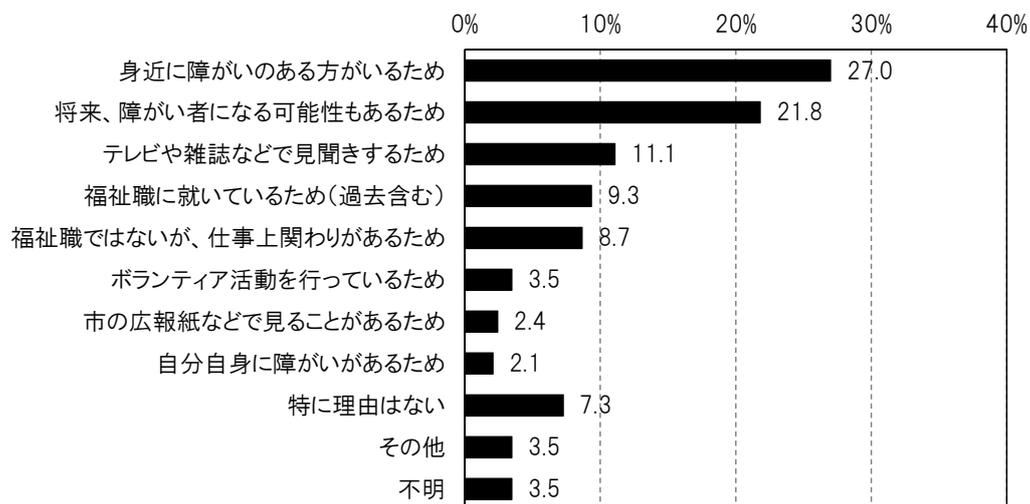


【問8で「1」または「2」を回答された方】

問8-1 どのような理由から関心をお持ちですか。(〇印は1つ)

関心がある理由は、「身近に障がいのある方がいるため」が27.0%と最も高く、次いで「将来、障がい者になる可能性もあるため」が21.8%、「テレビや雑誌などで見聞きするため」が11.1%となっています。

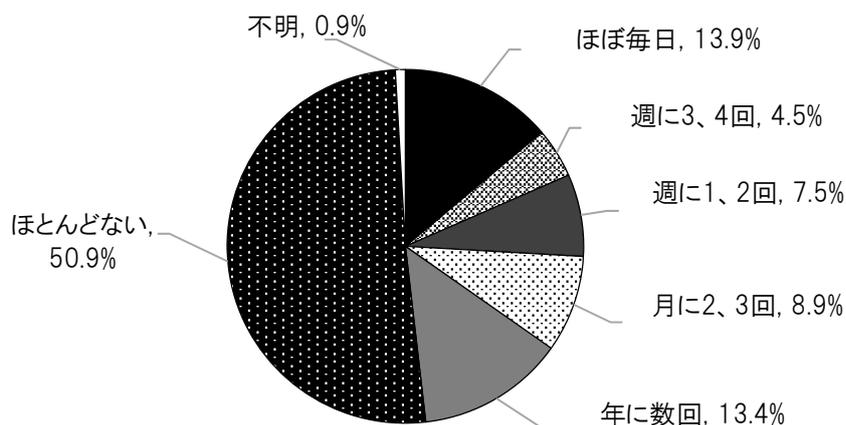
n=289



問9 あなたは障がいのある方と接する機会はどのくらいありますか。(〇印は1つ)

障がいのある方と接する機会の頻度については、「ほとんどない」が50.9%と最も多く、次いで「ほぼ毎日」が13.9%、「年に数回」が13.4%となっています。

n=440

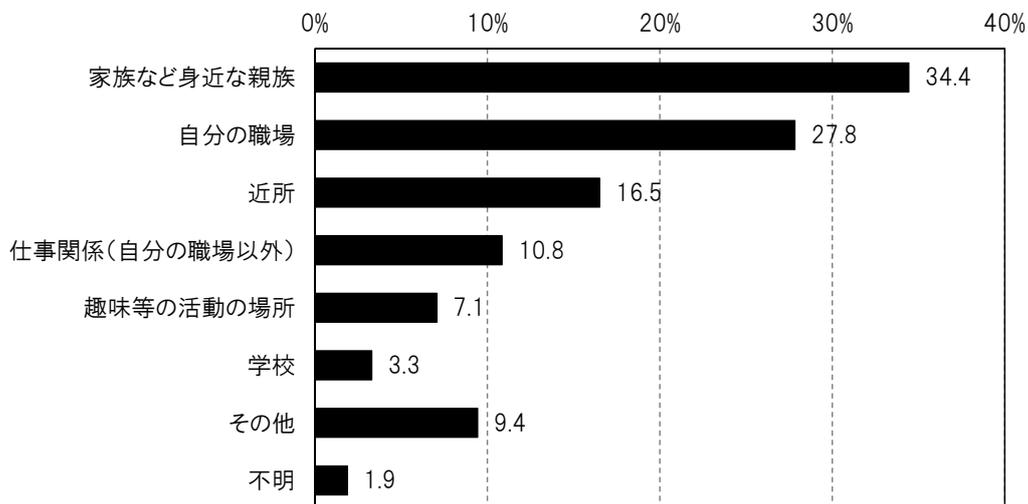


【問9で「1」～「5」を回答された方】

問9-1 どういった機会ですか。(あてはまるものすべてに○印)

接する機会については、「家族など身近な親族」が34.4%と最も多く、次いで「自分の職場」が27.8%、「近所」が16.5%となっています。

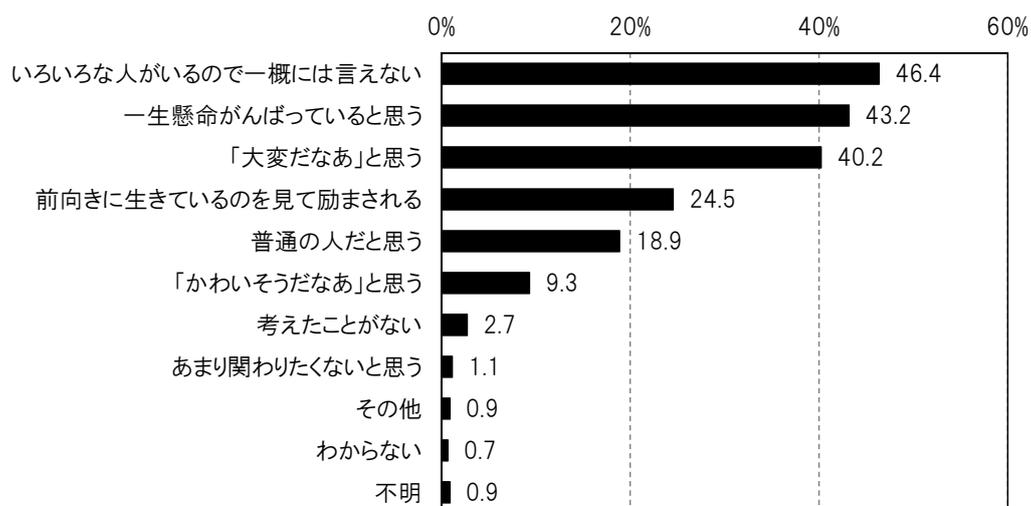
n=212



問10 障がいのある方に対するあなたのイメージは、次のうちどれにあてはまりますか。(あてはまるものすべてに○印)

障がいのある方に対するイメージは、「いろいろな人がいるので一概には言えない」が46.4%と最も多く、次いで「一生懸命がんばっていると思う」が43.2%、「『大変だなあ』と思う」が40.2%となっています。

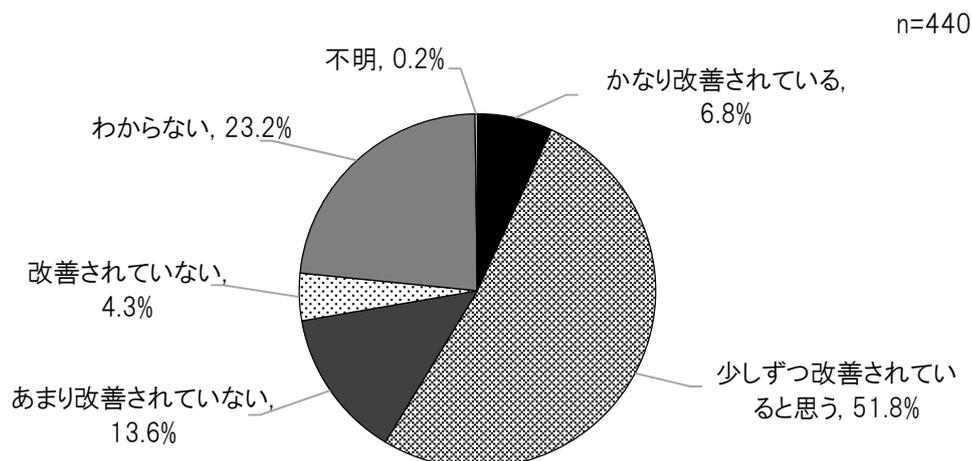
n=440



3 障がいへの理解について

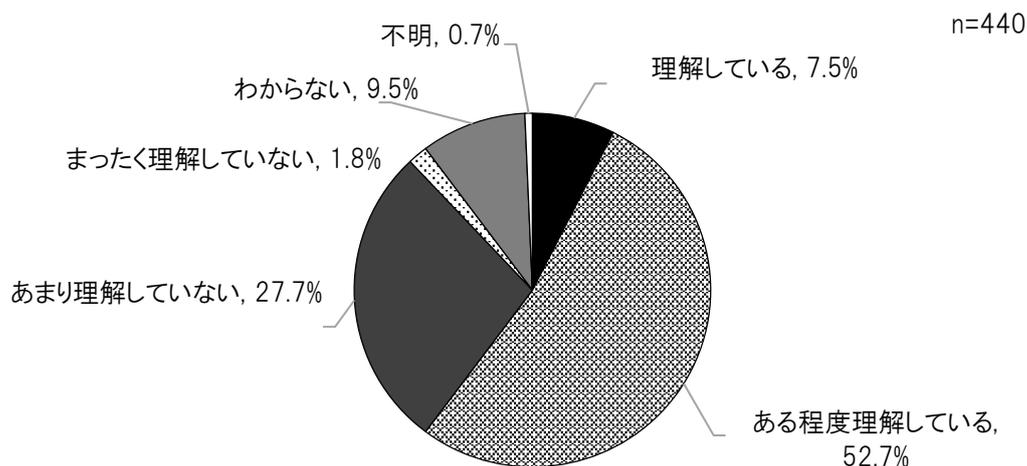
問 11 およそ5～10年前と比べて、障がいのある方に対する差別や偏見は改善されたと思いますか。(〇印は1つ)

5～10年前と比べて、障がいのある方に対する差別や偏見は改善されたかについて、「少しずつ改善されていると思う」が51.8%と最も多くなっており、「改善されている(かなり+少しずつ)」の割合が58.6%と半数を超えています。



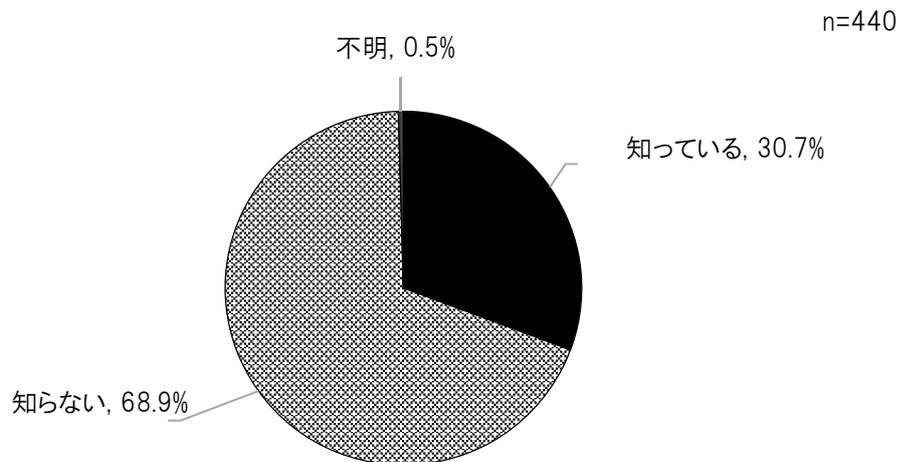
問 12 障がいに対するあなた自身の理解について、どのように思いますか。(〇印は1つ)

障がいに対するあなた自身の理解については、「ある程度理解している」が52.7%と最も多くなっており、「理解している」と合わせて60.2%と半数を超えています。



問 13 「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律（障害者虐待防止法）」を知っていますか。（○印は1つ）

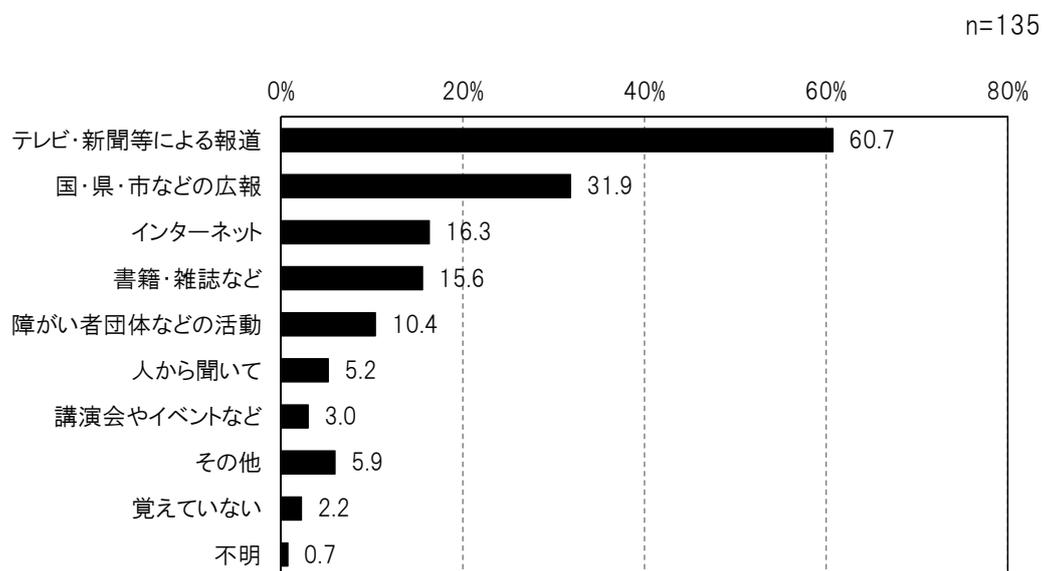
障害者虐待防止法について、「知っている」が30.7%、「知らない」が68.9%となっています。



【問 13で「1」を回答された方】

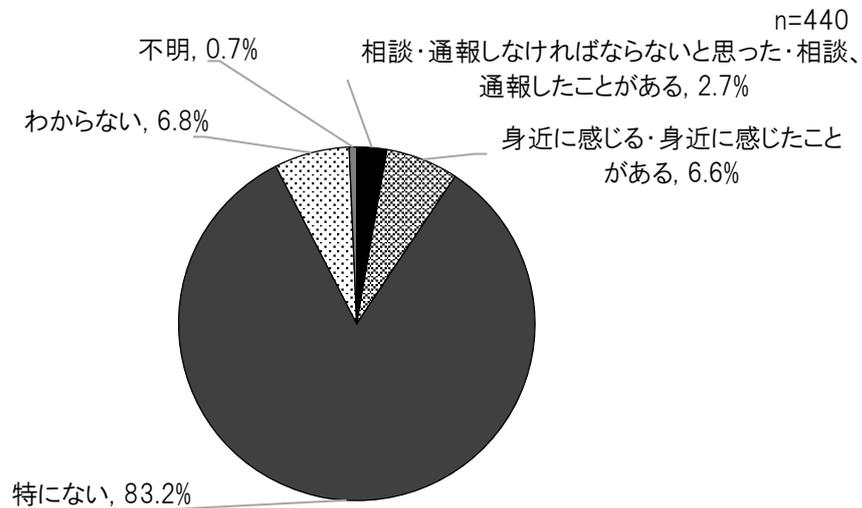
問 13-1 どのようなものから知りましたか。（あてはまるものすべてに○印）

知った経緯について、「テレビ・新聞等による報道」が60.7%と最も高く、次いで「国・県・市などの広報」が31.9%、「インターネット」が16.3%となっています。



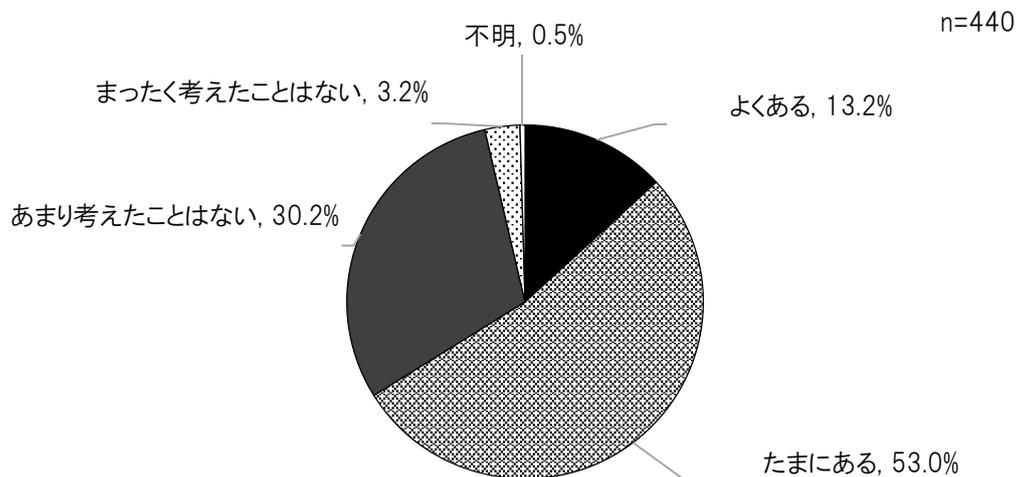
問 14 あなたは、障がいのある方への虐待を相談・通報しなければならないと思ったり、身近に感じることはありますか。(〇印は1つ)

障がいのある方への虐待を相談・通報しなければならないと思ったり、身近に感じることについて、「特にない」が83.2%と最も多く、次いで「わからない」が6.8%、「身近に感じる・身近に感じたことがある」が6.6%となっています。



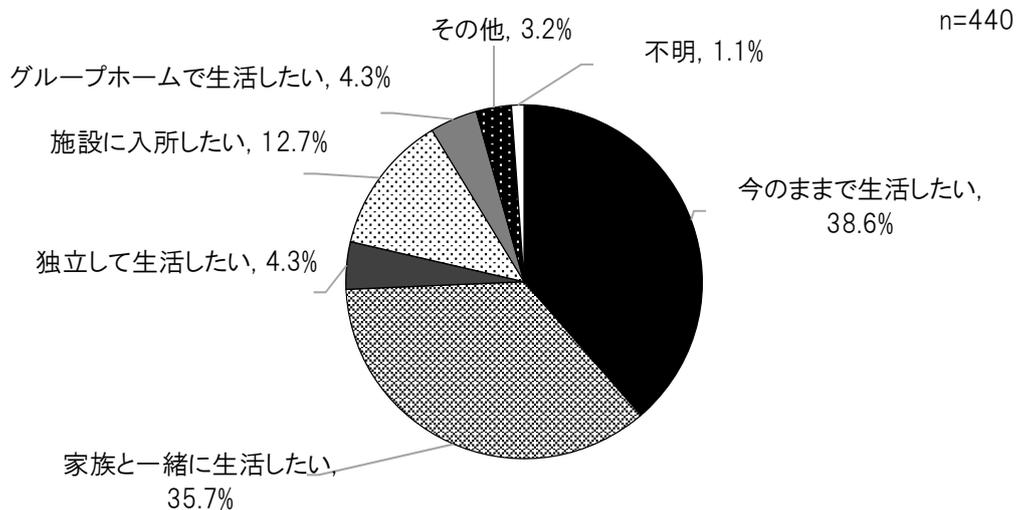
問 15 あなた自身が、病気や事故などで将来障がい者になるかもしれないと考えることがありますか。(〇印は1つ)

障がい者になるかもしれないと考えたことがあるかは、「たまにある」が53.0%となっており、「ある(よく+たまに)」の割合は、66.2%と半数を超えています。



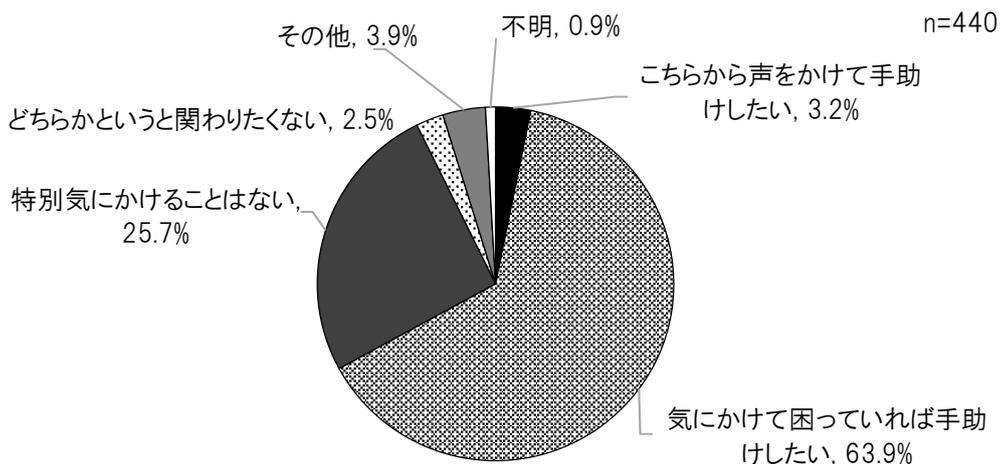
問 16 今後、障害者手帳等を所持することになった時、あなたはどのように生活したいと思いますか。(〇印は1つ)

今後、障害者手帳等を所持することになった時、どのように生活したいかは、「今のままで生活したい」が38.6%と最も多く、次いで「家族と一緒に生活したい」が35.7%、「施設に入所したい」が12.7%となっています。



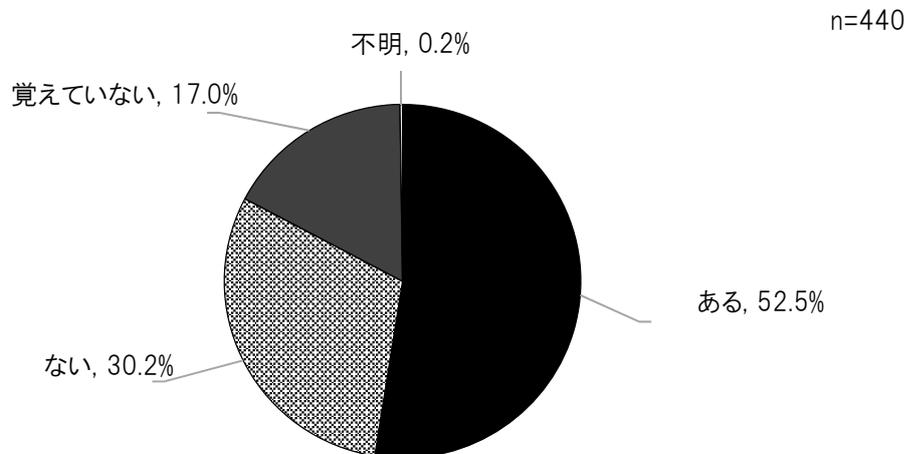
問 17 もし、あなたのすぐ近所に障がいのある方が引っ越してきた場合、または、障がい者施設ができて、障がいのある方が近くで生活されるようになったら、どう思いますか。(〇印は1つ)

障がいのある方が近くで生活されるようになったら、どう思うかは、「気にかけて困っていれば手助けしたい」が63.9%と最も高く、次いで「特別気にかけることはない」が25.7%、「その他」が3.9%となっています。



問 18 あなたはこれまで、障がいのある方に手助けをしたことがありますか。(○印は1つ)

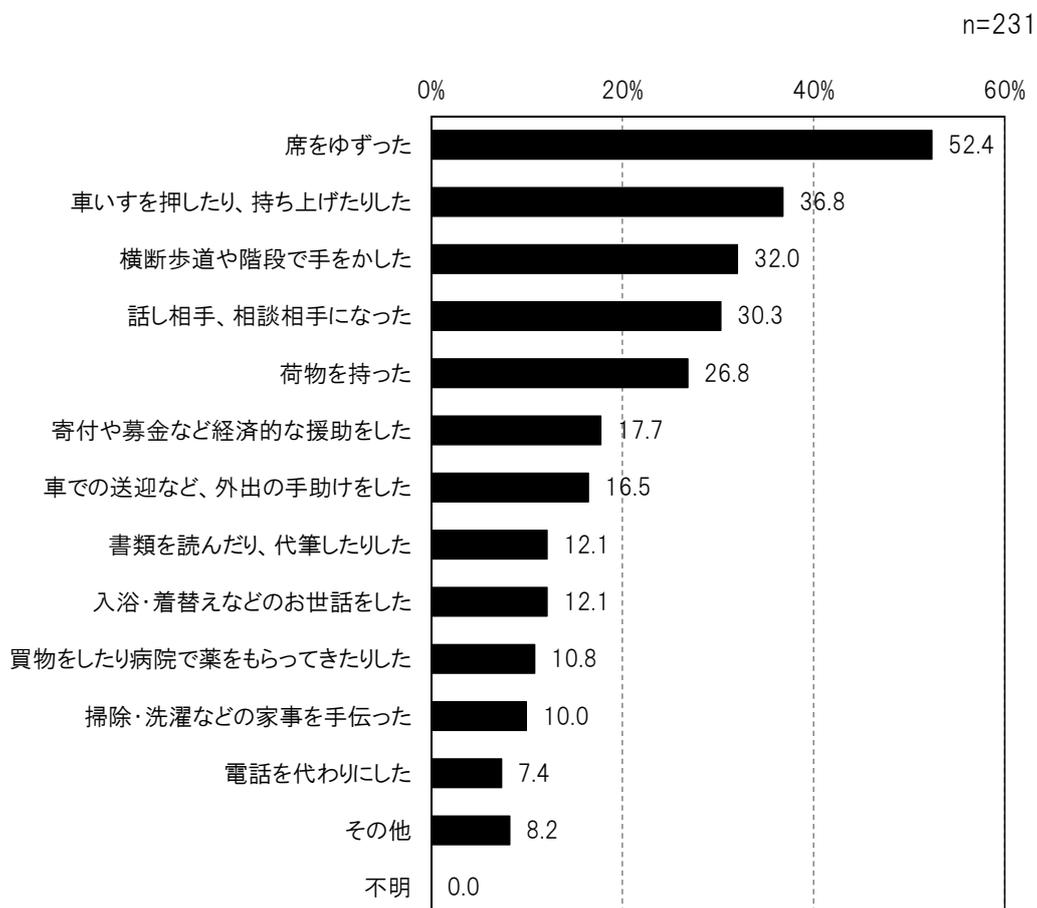
障がいのある方に手助けをしたことがあるかは、「ある」が52.5%、「ない」が30.2%となっています。



【問 18で「1」を回答された方】

問 18-1 どのような手助けでしたか。(あてはまるものすべてに○印)

手助けの内容については、「席をゆずった」が52.4%と最も多く、次いで「車いすを押したり、持ち上げたりした」が36.8%、「横断歩道や階段で手をかした」が32.0%となっています。

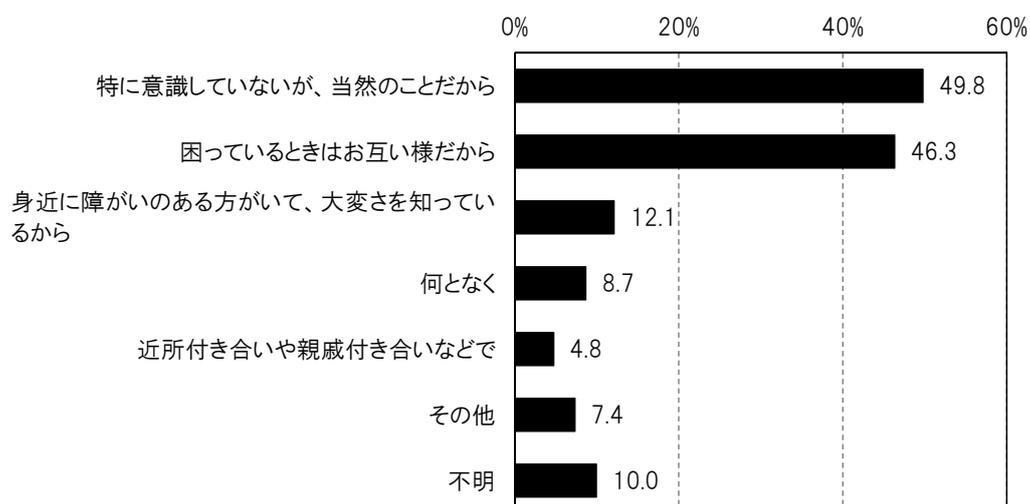


【問 18で「1」を回答された方】

問 18-2 どのような理由で手助けしましたか。(あてはまるものすべてに○印)

手助けした理由は、「特に意識していないが、当然のことだから」が49.8%と最も多く、次いで「困っているときはお互い様だから」が46.3%、「身近に障がいのある方がいて、大変さを知っているから」が12.1%となっています。

n=231

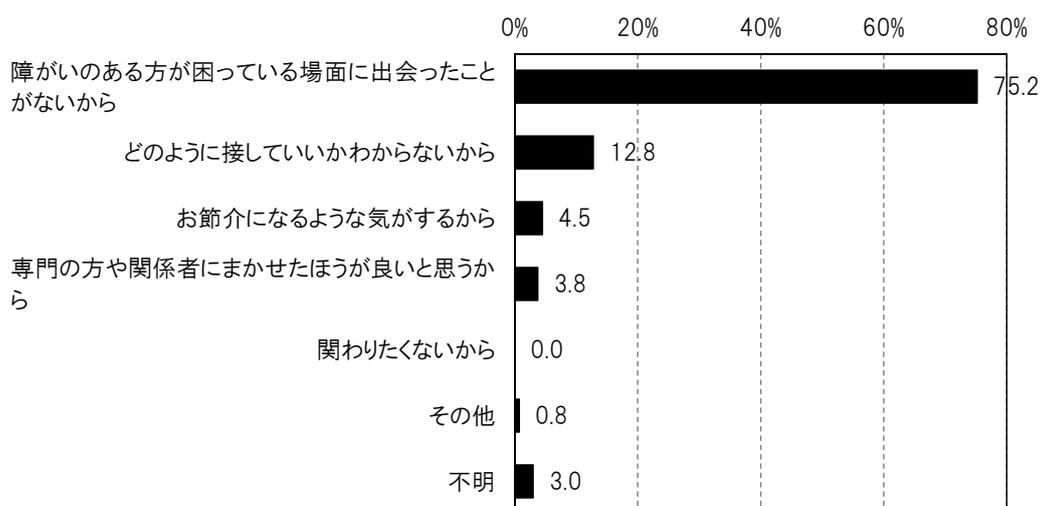


【問 18で「2」を回答された方】

問 18-3 手助けをしたことがない主な理由は何ですか。(○印は1つ)

手助けをしたことがない理由は、「障がいのある方が困っている場面に出会ったことがないから」が75.2%と最も多く、次いで「どのように接していいかわからないから」が12.8%、「お節介になるような気がするから」が4.5%となっています。

n=133

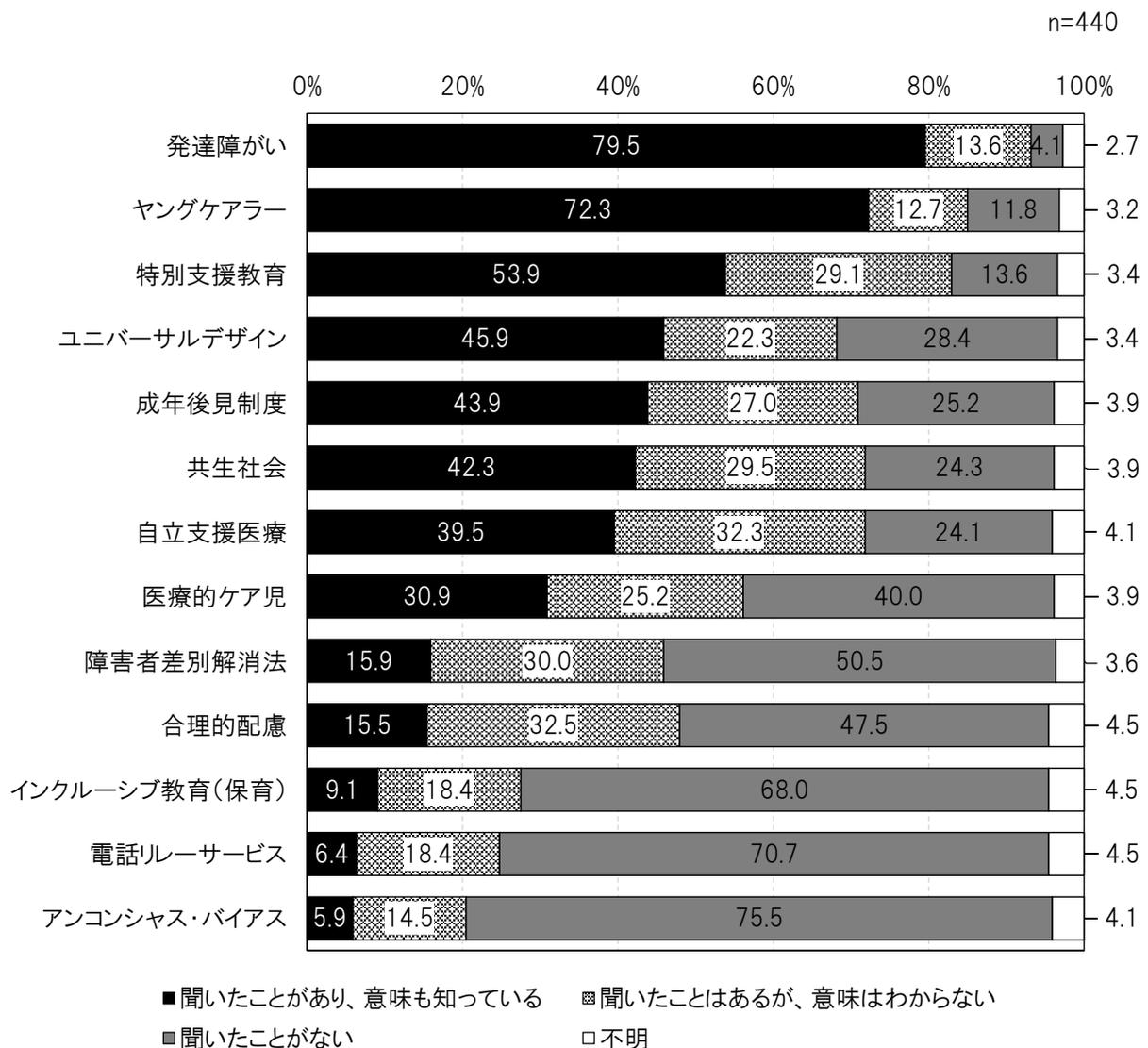


4 障がいの周知啓発について

問 19 次の①～⑬の項目で、それぞれあてはまる番号を選んでください。(それぞれに○印は1つ)

障がいに関連する言葉について、「聞いたことがあり、意味も知っている」では「発達障がい」「ヤングケアラー」「特別支援教育」が5割を超え高くなっています。

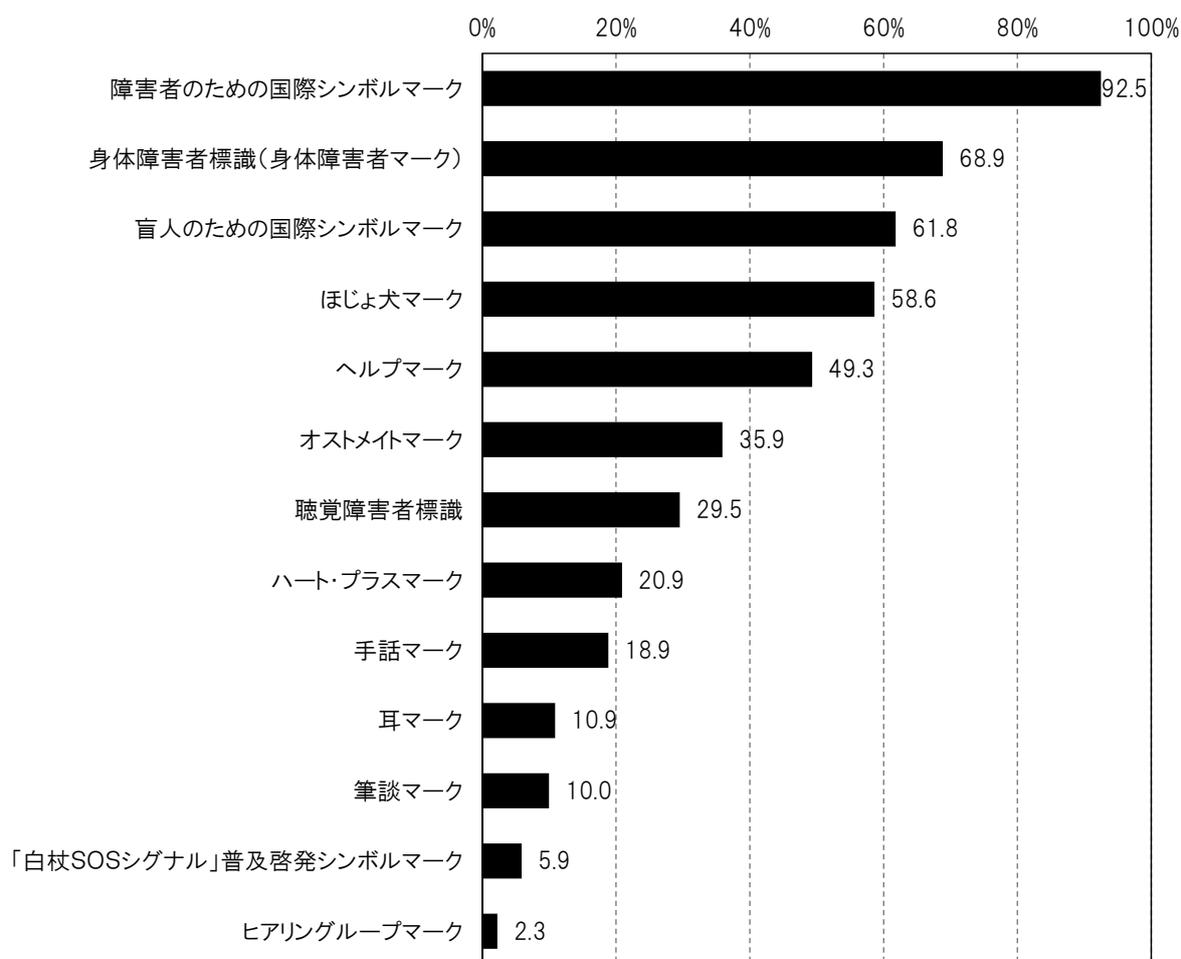
一方、「障害者差別解消法」「インクルーシブ教育(保育)」「電話リレーサービス」「アンコンシャス・バイアス」については、「聞いたことがない」という割合が5割を超え高くなっています。



問 20 次の①～⑬の項目で、マークの意味を知っているものについて、○印を○印記入欄にご記入ください。また、マークの使用状況等に対するご意見がございましたら、それぞれの自由記入欄へ意見をご記入ください。

マークの意味を知っているかは、「障害者のための国際シンボルマーク」が 92.5%と最も高く、次いで「身体障害者標識（身体障害者マーク）」が 68.9%、「盲人のための国際シンボルマーク」が 61.8%となっています。

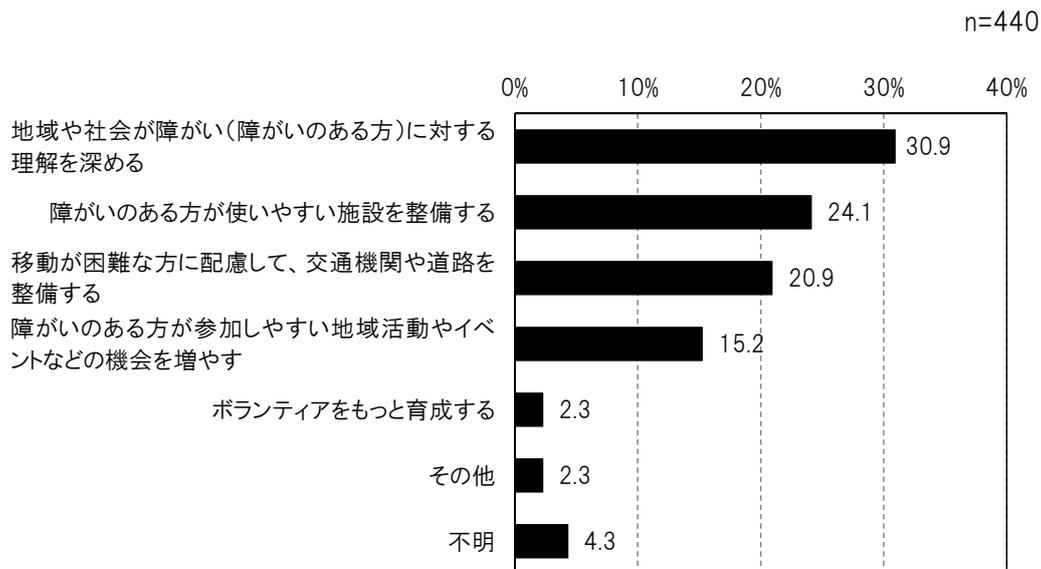
n=440



5 社会参加・ボランティアについて

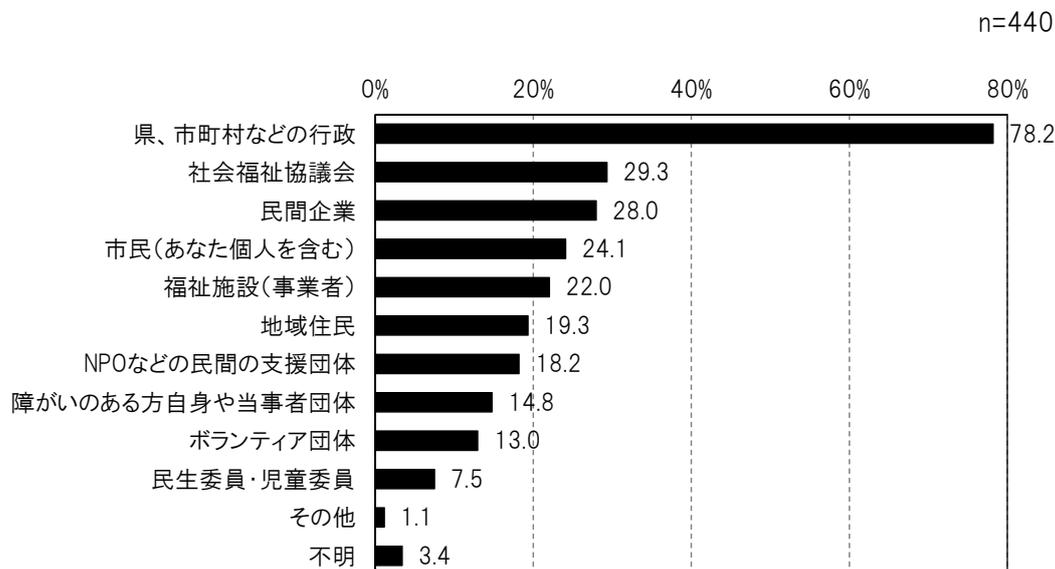
問 21 障がいのある方が社会に積極的に参加するために重要だと思うことはどれですか。(○印は1つ)

障がいのある方が社会に積極的に参加するために重要だと思うことは、「地域や社会が障がい(障がいのある方)に対する理解を深める」が30.9%と最も高く、次いで「障がいのある方が使いやすい施設を整備する」が24.1%、「移動が困難な方に配慮して、交通機関や道路を整備する」が20.9%となっています。



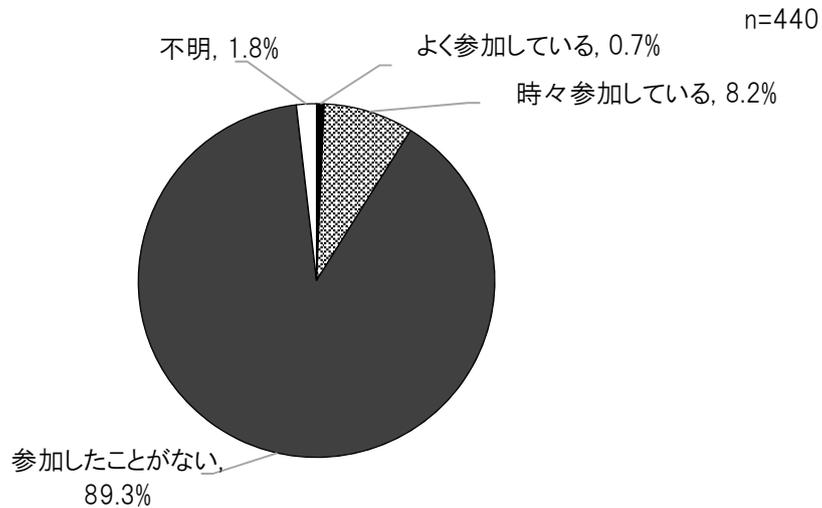
問 22 障がいのある方の社会参加を進めるために、もっと活動・取り組みを充実してほしいと思う組織・主体はどこですか。(あてはまるものすべてに○印)

障がいのある方の社会参加を進めるために、もっと活動・取り組みを充実してほしいと思う組織・主体は、「県、市町村などの行政」が78.2%と最も高く、次いで「社会福祉協議会」が29.3%、「民間企業」が28.0%となっています。



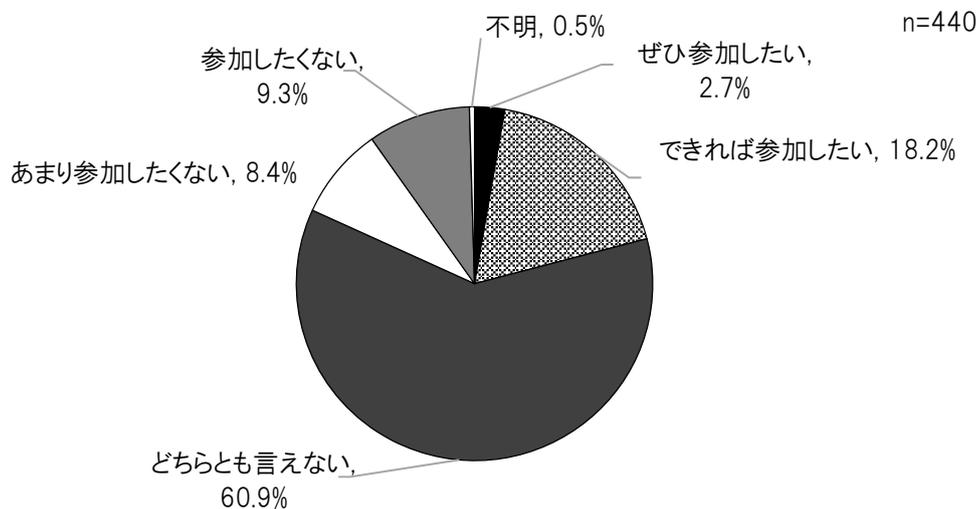
問 23 あなたは、障がいのある方に対するボランティア活動に参加していますか。(〇印は 1 つ)

障がいのある方に対するボランティアへの参加状況は、「参加したことがない」が 89.3%となっている一方、「参加している(よく+時々)」の割合は 8.9%となっています。



問 24 今後、障がいのある方に対するボランティア活動に参加してみたいと思いますか。(〇印は 1 つ)

障がいのある方に対するボランティア活動に参加してみたいと思うかは、「どちらとも言えない」が 60.9%と最も多くなっており、「参加したい(ぜひ+できれば)」が 20.9%、「参加したくない(あまりを含む)」が 17.7%となっています。

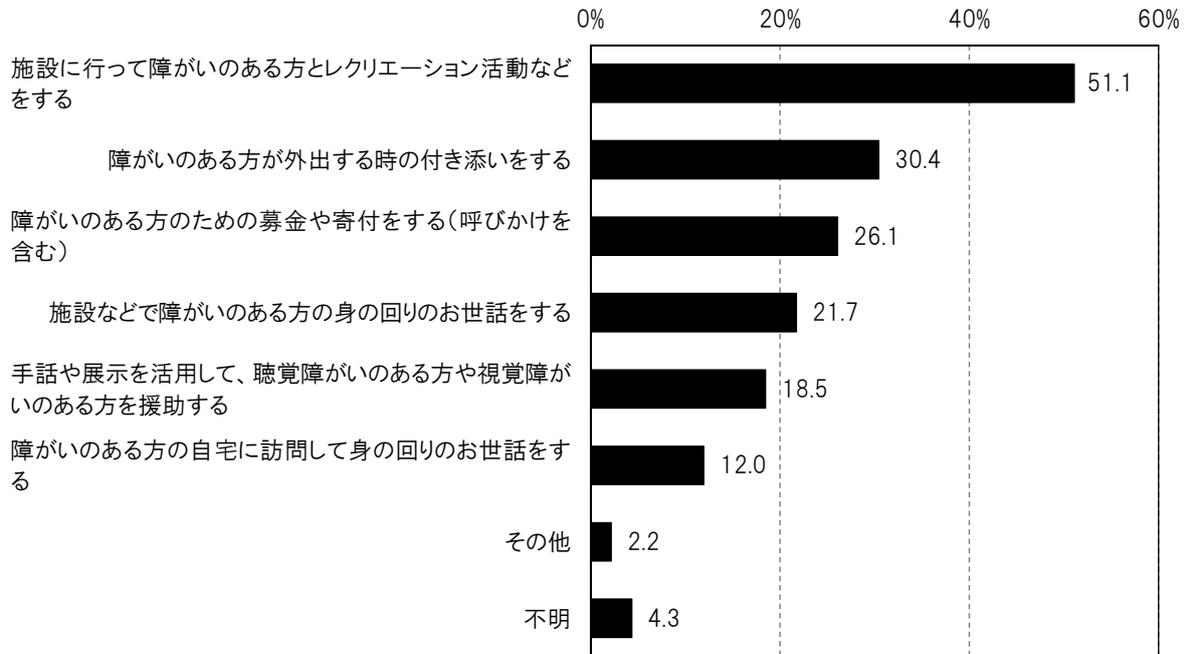


【問 24 で「1」または「2」を回答された方】

問 24-1 具体的にどのような活動に参加したいですか。(あてはまるものすべてに○印)

参加したい活動は、「施設に行って障がいのある方とレクリエーション活動などをする」が 51.1%と最も高く、次いで「障がいのある方が外出する時の付き添いをする」が 30.4%、「障がいのある方のための募金や寄付をする(呼びかけを含む)」が 26.1%となっています。

n=92

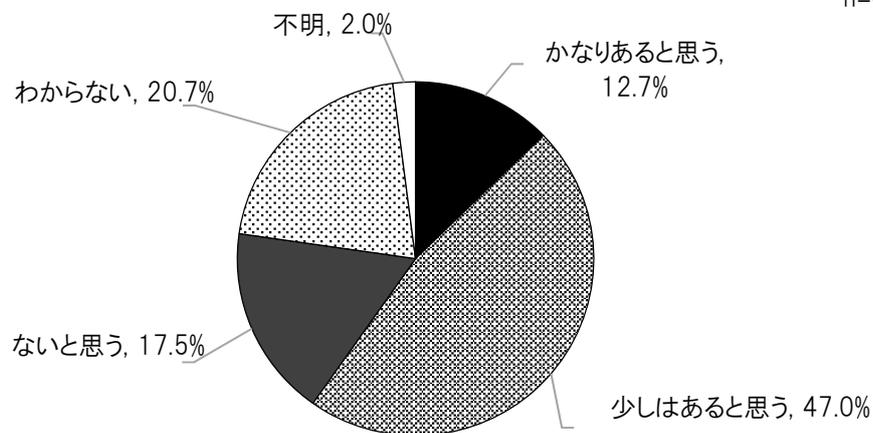


6 障がいのある方の人権について

問 25 あなたのまわりには、障がいのある方に対して、障がいを理由とする差別や偏見があると思いますか。(○印は1つ)

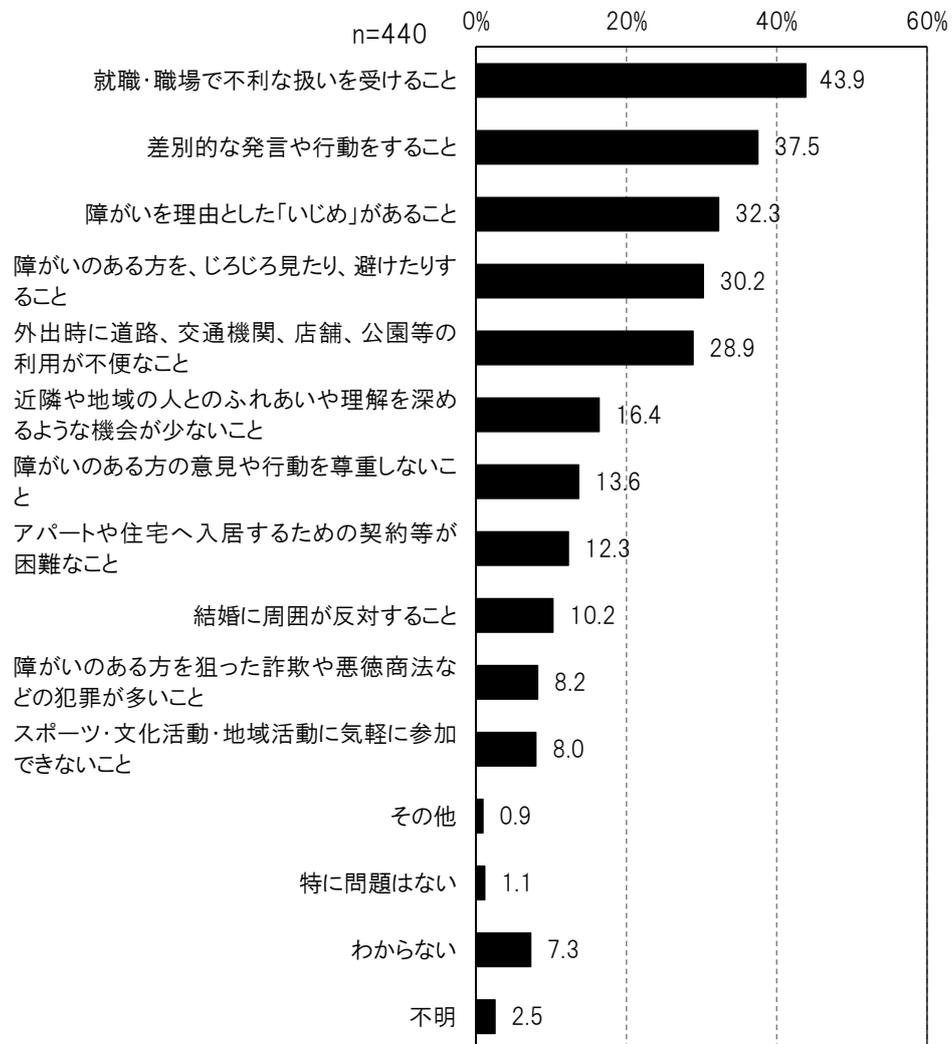
障がいを理由とする差別や偏見について、「少しはあると思う」が 47.0%と最も多くなっており、「あると思う(かなり+少し)」の割合が 59.7%と半数を超えています。

n=440



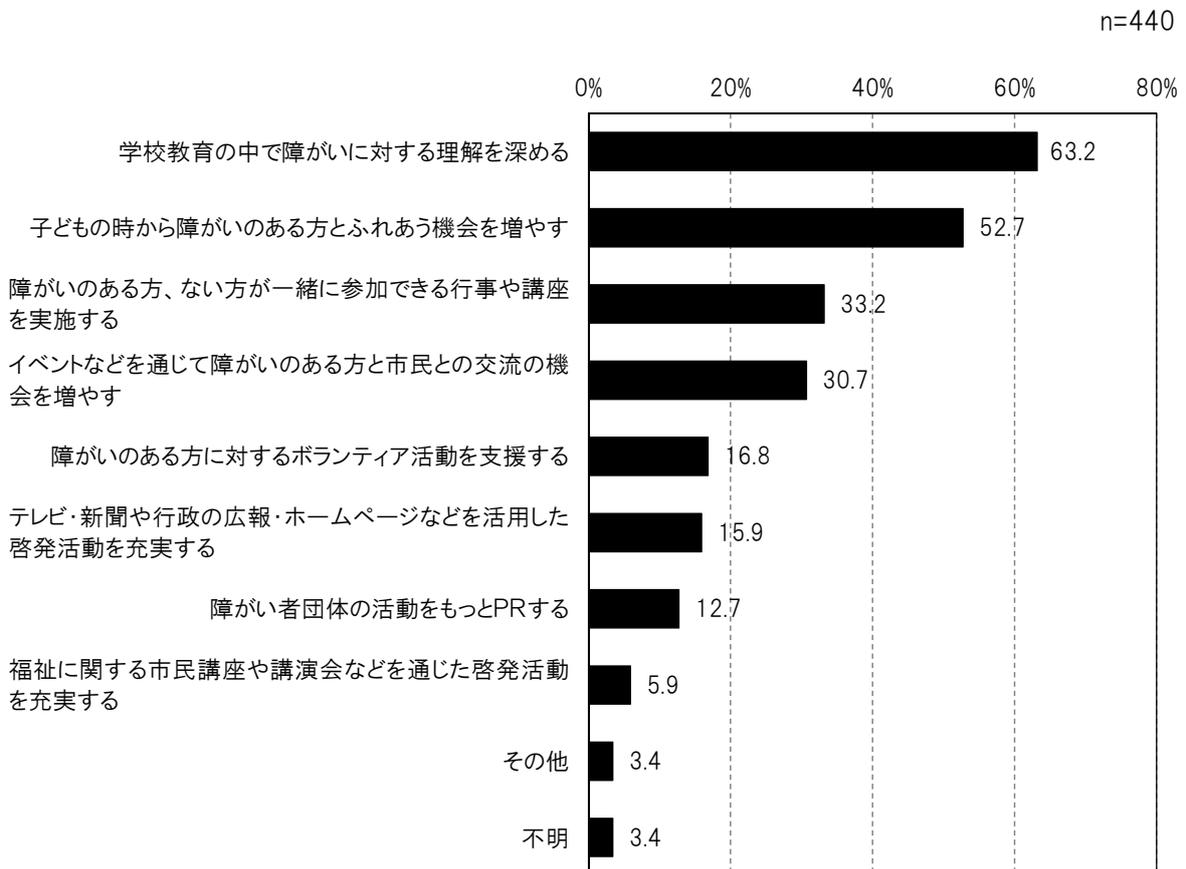
問 26 障がいのある方が地域で生活するとき、特に人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。(〇印は3つまで)

障がいのある方が地域で生活する時人権上問題があると思われることは、「就職・職場で不利な扱いを受けること」が43.9%と最も高く、次いで「差別的な発言や行動をすること」が37.5%、「障がいを理由とした『いじめ』があること」が32.3%と高くなっています。



問 27 障がいのある方に対する理解を深めるために、今後、どのような取り組みが必要だと思いますか。(〇印は3つまで)

障がいのある方に対する理解を深めるために必要な取り組みは、「学校教育の中で障がいに対する理解を深める」が 63.2%と最も高く、次いで「子どもの時から障がいのある方とふれあう機会を増やす」が 52.7%、「障がいのある方、ない方が一緒に参加できる行事や講座を実施する」が 33.2%となっています。

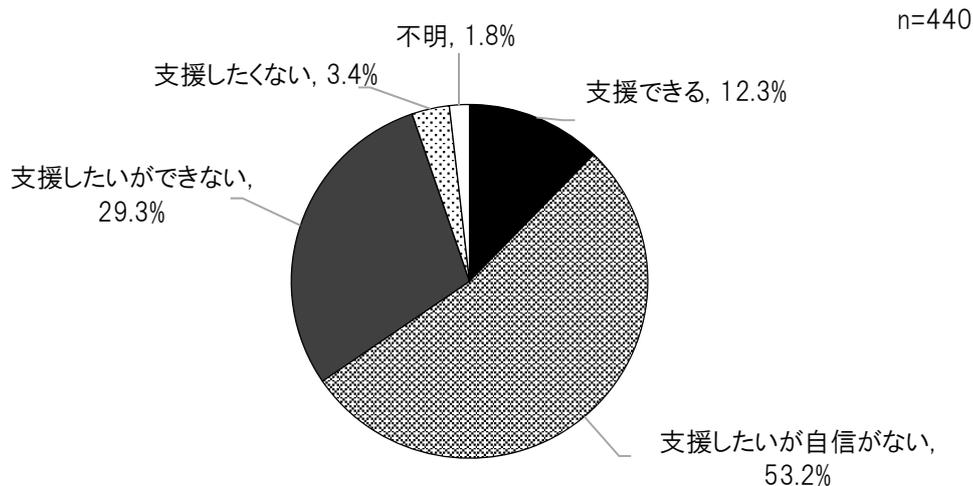


7 福祉のまちづくりについて

問 28 災害発生時や発生する恐れがある時に自分や家族だけの力で避難することが難しく、手助けを必要とする人を対象に、避難行動支援制度があります。この制度は、本人の個人情報を関係者に提供することに同意した方に個別避難計画を作り、その計画を支援者などと共有します。

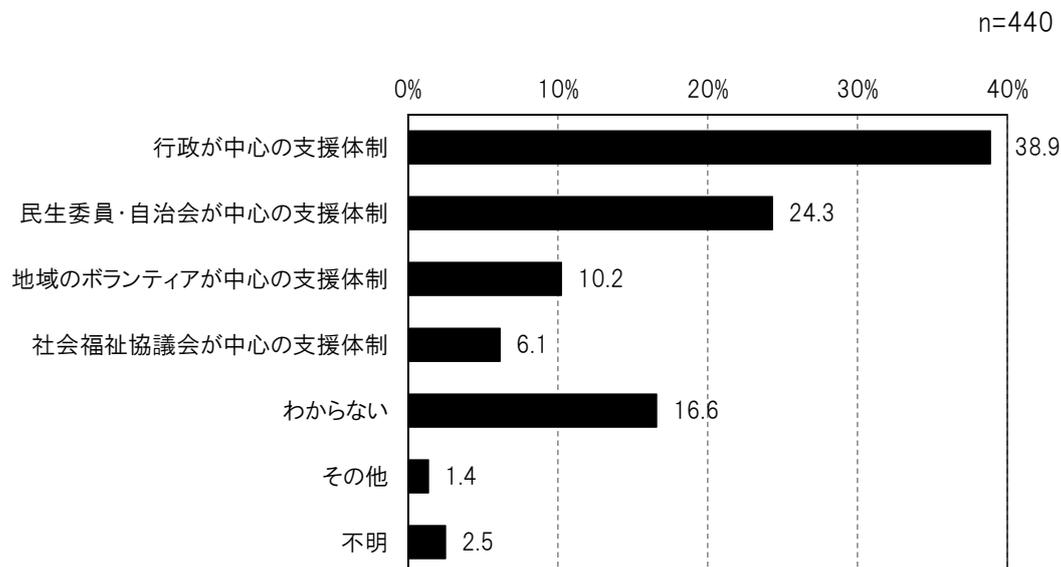
あなたは、災害発生時に要支援者の避難を支援できますか。(〇印は1つ)

災害発生時に要支援者の避難を支援できるかは、「支援したいが自信がない」が53.2%と最も高く、次いで「支援したいができない」が29.3%、「支援できる」が12.3%、「支援したくない」が3.4%となっています。



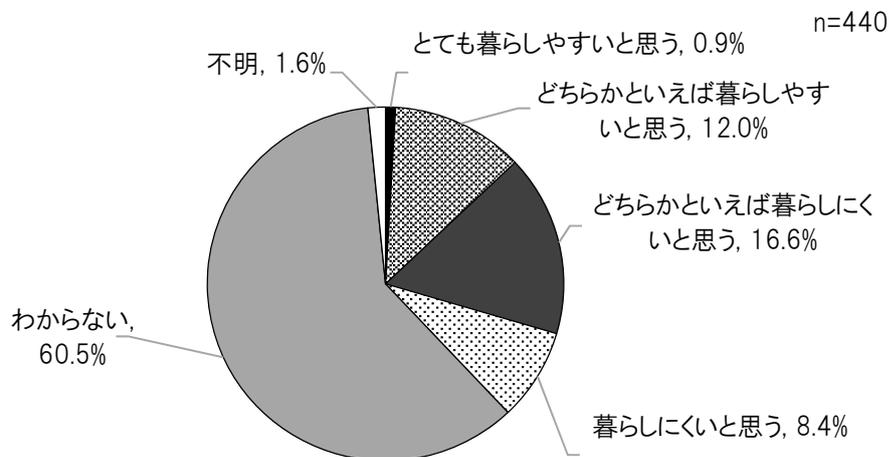
問 29 災害時や緊急時において、障がいのある方に対して避難支援や安否確認などの支援を行うためには、どのような体制をつくることがよいと思いますか。(〇印は1つ)

災害時や緊急時に障がいのある方に対して支援を行うためのつくるとよい体制は、「行政が中心の支援体制」が38.9%と最も高く、次いで「民生委員・自治会が中心の支援体制」が24.3%、「地域のボランティアが中心の支援体制」は10.2%となっています。



問 30 蓮田市は、障がいのある方にとって暮らしやすいと思いますか。(〇印は1つ)

障がいのある方にとって暮らしやすいと思うかは、「わからない」が60.5%と最も多くなっており、「暮らしやすいと思う(とても+どちらかといえば)」が12.9%、「暮らしにくいと思う(どちらかといえばを含む)」が25.0%となっています。

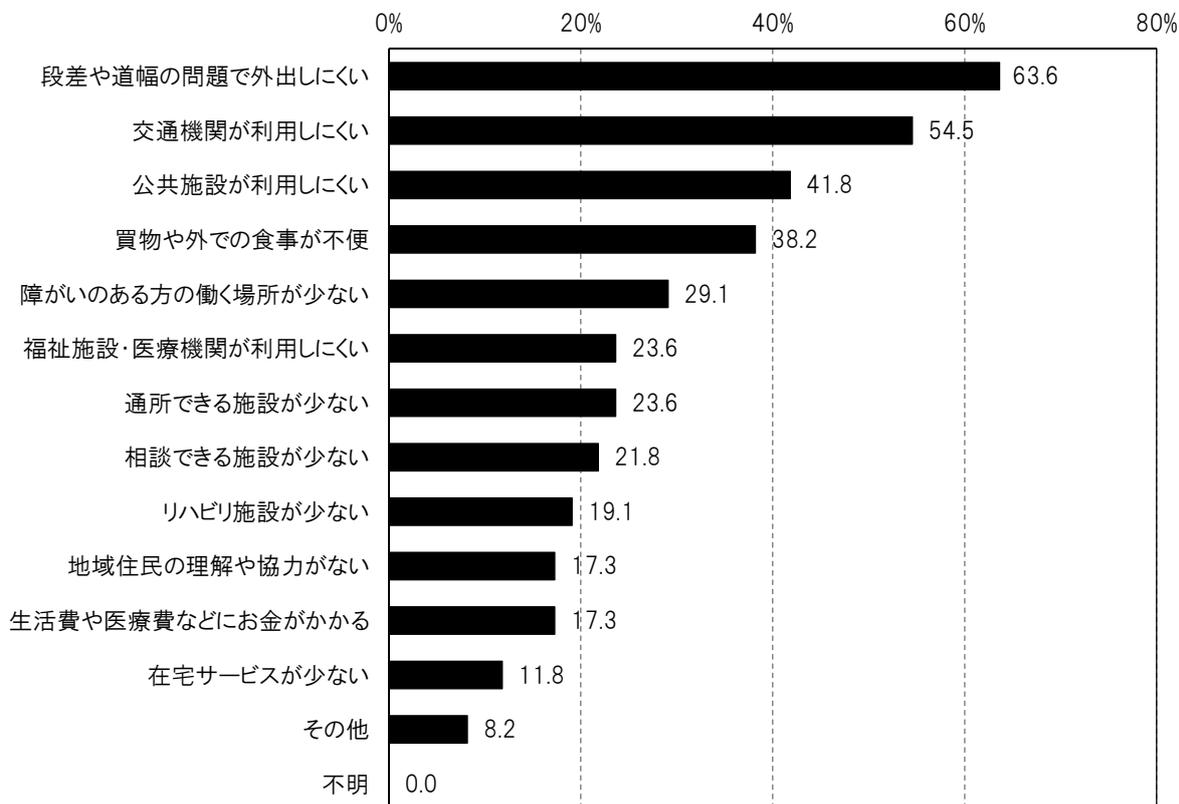


【問 30 で「3」または「4」と回答された方】

問 30-1 どういったところが暮らしにくいと思いますか。(あてはまるものすべてに〇印)

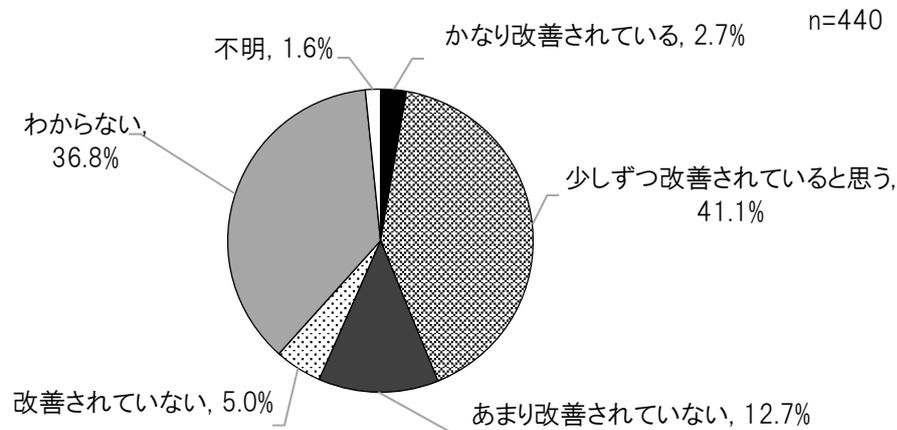
暮らしにくいと思う理由は、「段差や道幅の問題で外出しにくい」が63.6%と最も多く、次いで、「交通機関が利用しにくい」が54.5%、「公共施設が利用しにくい」が41.8%となっています。

n=110



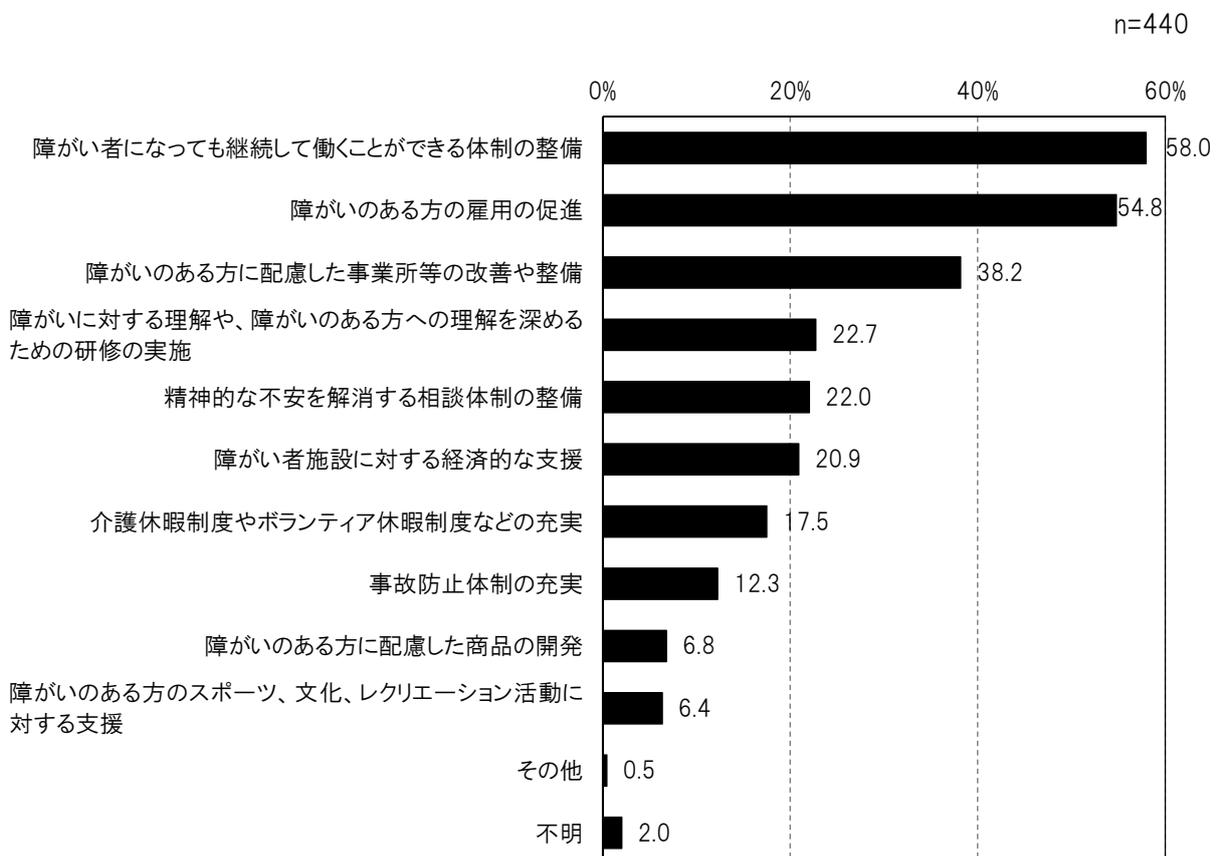
問 31 およそ5～10年前と比べて、福祉・教育・雇用・まちづくりなど、障がいのある方に対する行政の取り組みは進んでいると思いますか。（〇印は1つ）

障がいのある方に対する行政の取り組みが進んでいるかは、「わからない」が36.8%と最も多く、次いで「改善されている（かなり＋少しずつ）」が43.8%、「改善されていない（あまりを含む）」が17.7%となっています。



問 32 障がいのある方のために、企業など（会社や民間団体など）が行うべき活動について、どのようなことが必要だと思えますか。（〇印は3つまで）

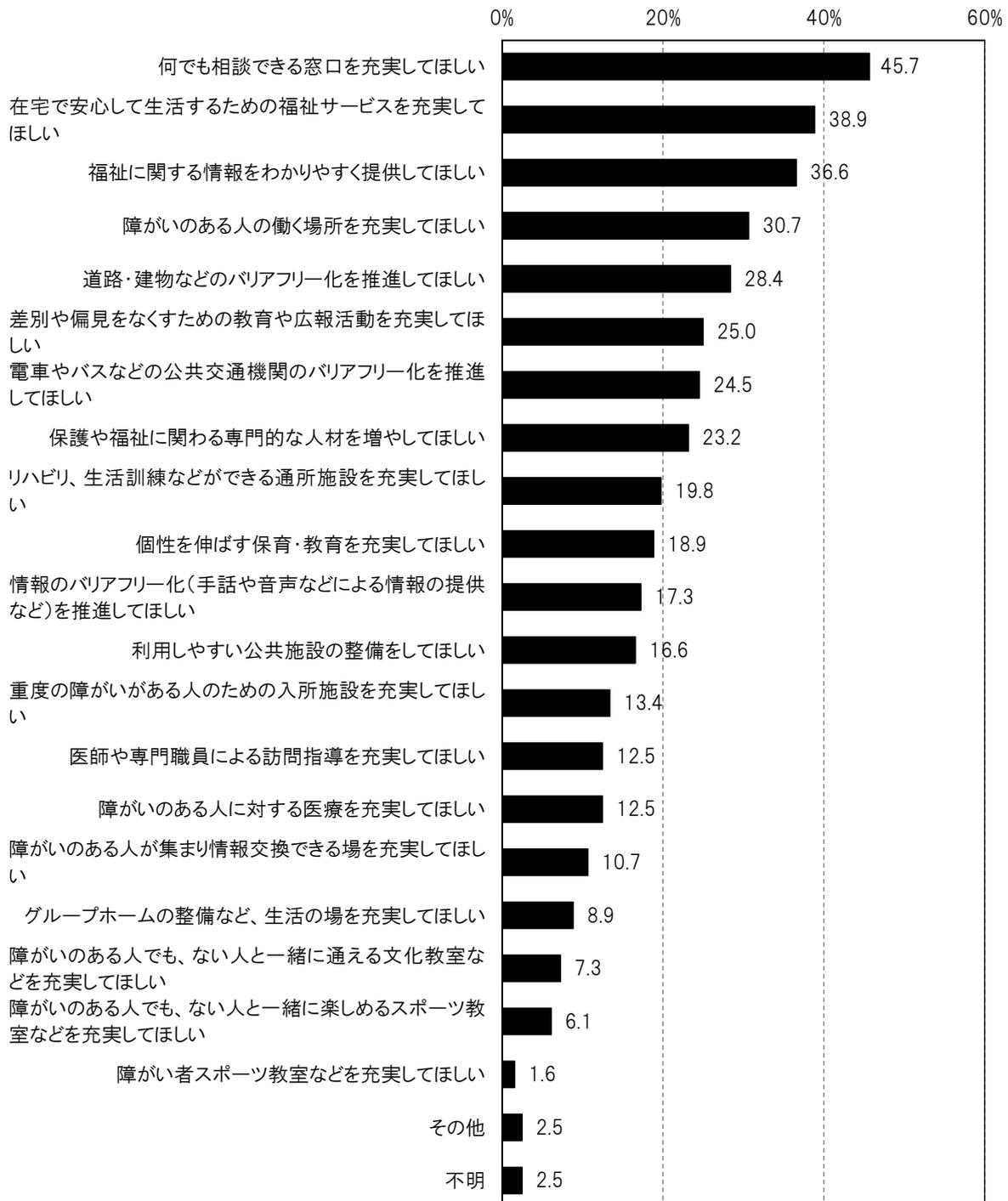
企業などが行うべき活動は、「障がい者になっても継続して働くことができる体制の整備」が58.0%と最も高く、次いで「障がいのある方の雇用の促進」が54.8%、「障がいのある方に配慮した事務所等の改善や整備」が38.2%となっています。



問33 障がいのある方にとって暮らしやすいまちづくりのために、行政はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（〇印は5つまで）

行政が力を入れるべきことは、「何でも相談できる窓口を充実してほしい」が45.7%と最も多く、次いで「在宅で安心して生活するための福祉サービスを充実してほしい」が38.9%、「福祉に関する情報をわかりやすく提供してほしい」が36.6%となっています。

n=440



蓮田市障がい者福祉に関する
アンケート調査報告書

発行／蓮田市
編集／蓮田市 健康福祉部福祉課

埼玉県蓮田市大字黒浜 2799 番地 1
電話：048-768-3111（代表）
発行年月／令和 5 年 8 月
